

Nitto Denko Corporation

# 2024 CDP コーポレート質問書 2024

Word バージョン

**重要:** このエクスポートには未回答の質問は含まれません

このドキュメントは、組織の CDP アンケート回答のエクスポートです。回答済みまたは進行中の質問のすべてのデータ ポイントが含まれています。提供を要求された質問またはデータ ポイントが、現在未回答のためこのドキュメントに含まれていない場合があります。提出前にアンケート回答が完了していることを確認するのはお客様の責任です。CDP は、回答が完了していない場合の責任を負いません。

[企業アンケート 2024 の開示条件 - CDP](#)

# 内容

<b>C1. イントロダクション</b> .....	<b>6</b>
(1.1) どの言語で回答を提出しますか。 .....	6
(1.2) 回答全体を通じて財務情報の開示に使用する通貨を選択してください。 .....	6
(1.3) 貴組織に関する概要と紹介情報を提供してください。 .....	6
(1.4) データの報告年の終了日を入力してください。排出量データについて、過去の報告年における排出量データを提供するか否かを明記してください。 .....	6
(1.4.1) What is your organization's annual revenue for the reporting period? .....	7
(1.5) 貴組織の報告バウンダリ（範囲）の詳細を回答してください。 .....	8
(1.6) 貴組織は ISIN コードまたは別の固有の市場識別 ID (例えば、ティッカー、CUSIP 等) をお持ちですか。 .....	8
(1.7) 貴組織が事業を運営する国/地域を選択してください。 .....	10
(1.8) 貴組織の施設についての地理位置情報を提供できますか。 .....	11
(1.24) 貴組織はバリューチェーンをマッピングしていますか。 .....	11
<b>C2. 依存、インパクト、リスク、機会の特定、評価、管理</b> .....	<b>13</b>
(2.1) 貴組織は、貴組織の環境上の依存、インパクト、リスク、機会の特定、評価、管理に関連した短期、中期、長期の時間軸をどのように定義していますか。 .....	13
(2.2) 貴組織には、環境への依存やインパクトを特定、評価、管理するプロセスがありますか。 .....	14
(2.2.1) 貴組織には、環境リスクや機会を特定、評価、管理するプロセスがありますか。 .....	14
(2.2.2) 環境への依存、インパクト、リスク、機会を特定、評価、管理する貴組織のプロセスの詳細を回答してください。 .....	15
(2.2.7) 環境への依存、インパクト、リスク、機会間の相互関係を評価していますか。 .....	22
(2.3) バリューチェーン内の優先地域を特定しましたか。 .....	22
(2.4) 貴組織は、組織に対する重大な影響をどのように定義していますか。 .....	24
(2.5) 貴組織では、事業活動に関連し、水の生態系や人間の健康に有害となりうる潜在的水質汚染物質を、どのように特定、分類していますか。 .....	26
(2.5.1) 水の生態系や人間の健康に悪影響を及ぼす、事業活動に伴う潜在的な水質汚染物質について、貴組織ではどのようにその影響を最小限に抑えているか説明してください。 .....	26
<b>C3. リスクおよび機会の開示</b> .....	<b>29</b>
(3.1) 報告年の間に貴組織に重大な影響を及ぼした、あるいは将来的に重大な影響を及ぼすと考えられる何らかの環境リスクを特定していますか。 .....	29
(3.1.1) 報告年の間に貴組織に重大な影響を及ぼした、あるいは将来的に重大な影響を及ぼすことが見込まれると特定された環境リスクの詳細を記載してください。 .....	30
(3.1.2) 報告年における環境リスクがもたらす重大な影響に脆弱な財務指標の額と割合を記入してください。 .....	34
(3.2) 各河川流域には、水関連リスクの重大な影響にさらされている施設はいくつありますか。これは施設総数のどれぐらいの割合を占めていますか。 .....	35
(3.3) 報告年の間に、貴組織は水関連の規制違反を理由として罰金、行政指導等、その他の処罰を科されましたか。 .....	35
(3.5) 貴組織の事業や活動はカーボンプライシング制度 (ETS、キャップ・アンド・トレード、炭素税) による規制を受けていますか。 .....	36
(3.5.1) 貴組織の事業活動に影響を及ぼすカーボンプライシング規制を選択してください。 .....	36

(3.5.2) 貴組織が規制を受けている各排出量取引制度 (ETS) の詳細を記載してください。 .....	36
(3.5.4) 規制を受けている、あるいは規制を受けることが見込まれる制度に準拠するための貴組織の戦略を回答してください。 .....	39
(3.6) 報告年の間に貴組織に大きな影響を与えた、あるいは将来的に貴組織に大きな影響を与えることが見込まれる何らかの環境上の機会を特定していますか。 .....	39
(3.6.1) 報告年の間に貴組織に大きな影響を与えた、あるいは将来的に貴組織に大きな影響を与えることが見込まれる特定された環境上の機会の詳細を記載してください。 .....	40
(3.6.2) 報告年の間の、環境上の機会がもたらす大きな影響と整合する財務指標の額と比率を記入してください。 .....	45

## **C4. ガバナンス .....** **47**

(4.1) 貴組織は取締役会もしくは同等の管理機関を有していますか。 .....	47
(4.1.1) 貴組織では、取締役会レベルで環境課題を監督していますか。 .....	48
(4.1.2) 環境課題に対する説明責任を負う取締役会のメンバーの役職 (ただし個人名は含めないこと) または委員会を特定し、環境課題を取締役会がどのように監督しているかについての詳細を記入してください。 .....	48
(4.2) 貴組織の取締役会は、環境課題に対する能力を有していますか。 .....	52
(4.3) 貴組織では、経営レベルで環境課題に責任を負っていますか。 .....	54
(4.3.1) 環境課題に責任を負う経営層で最上位の役職または委員会を記入してください (個人の名前は含めないでください)。 .....	54
(4.5) 目標達成を含め、環境課題の管理に対して金銭的インセンティブを提供していますか? .....	58
(4.5.1) 環境課題の管理に対して提供される金銭的インセンティブについて具体的にお答えください (ただし個人の名前は含めないでください)。 .....	59
(4.6) 貴組織は、環境課題に対処する環境方針を有していますか。 .....	61
(4.6.1) 貴組織の環境方針の詳細を記載してください。 .....	61
(4.10) 貴組織は、何らかの環境関連の協働的な枠組みまたはイニシアチブの署名者またはメンバーですか。 .....	63
(4.11) 報告年の間に、貴組織は、環境に (ポジティブにまたはネガティブに) 影響を与え得る政策、法律または規制に直接的または間接的に影響を及ぼす可能性のある活動を行いましたか。 .....	64
(4.11.2) 報告年の間に、業界団体またはその他の仲介団体/個人を通じた、環境に対して (ポジティブまたはネガティブな形で) 影響を与え得る政策、法律、規制に関する貴組織の間接的なエンゲージメントの詳細について記載してください。 .....	65
(4.12) 報告年の間に、CDP への回答以外で、貴組織の環境課題に対する対応に関する情報を公開していますか。 .....	66
(4.12.1) CDP への回答以外で報告年の間の環境課題に対する貴組織の対応に関する情報についての詳細を記載してください。当該文書を添付してください。 .....	67

## **C5. 事業戦略 .....** **70**

(5.1) 貴組織では、環境関連の結果を特定するためにシナリオ分析を用いていますか。 .....	70
(5.1.1) 貴組織のシナリオ分析で用いているシナリオの詳細を記載してください。 .....	71
(5.1.2) 貴組織のシナリオ分析の結果の詳細を記載してください。 .....	79
(5.2) 貴組織の戦略には気候移行計画が含まれていますか。 .....	80
(5.3) 環境上のリスクと機会は、貴組織の戦略および/または財務計画に影響を与えてきましたか。 .....	81
(5.3.1) 環境上のリスクと機会が貴組織の戦略のどのような領域に対し、またどのような形で影響を与えたかを記載してください。 .....	81
(5.3.2) 環境上のリスクと機会が貴組織の財務計画のどのような領域に対し、またどのような形で影響を与えたかを記載してください。 .....	84
(5.4) 貴組織の財務会計において、貴組織の気候移行計画と整合した支出/売上を特定していますか。 .....	85

(5.9) 報告年における貴組織の水関連の CAPEX と OPEX の傾向と、次報告年に予想される傾向はどのようなものですか。 .....	85
(5.10) 貴組織は環境外部性に対するインターナル・プライスを使用していますか。 .....	86
(5.10.1) 貴組織のインターナル・カーボンプライスについて詳細を記入してください。 .....	86
(5.11) 環境課題について、貴組織のバリューチェーンと協働していますか。 .....	89
(5.11.1) 貴組織は、サプライヤーを環境への依存および/またはインパクトによって評価および分類していますか。 [データがまだありません].....	90
(5.11.2) 貴組織は、環境課題について協働する上で、どのサプライヤーを優先していますか。 [データがまだありません].....	93
(5.11.5) 貴組織のサプライヤーは、貴組織の購買プロセスの一環として、環境関連の要求事項を満たす必要がありますか。 .....	95
(5.11.6) 貴組織の購買プロセスの一環としてサプライヤーが満たす必要がある環境関連の要求事項の詳細と、遵守のために実施する措置を具体的にお答えください。 ...	96
(5.11.7) 貴組織の環境課題に関するサプライヤーエンゲージメントの詳細を記入してください。 .....	100
(5.11.9) バリューチェーンのその他のステークホルダーとの環境エンゲージメント活動の詳細を記入してください。 [データがまだありません].....	105

## **C6. 環境パフォーマンス - 連結アプローチ ..... 108**

(6.1) 環境パフォーマンスデータの計算に関して、選択した連結アプローチを具体的にお答えください。 .....	108
--	-----

## **C7. 環境実績 - 気候変動..... 110**

(7.1) 今回が CDP に排出量データを報告する最初の年になりますか。 .....	110
(7.1.1) 貴組織は報告年に構造的変化を経験しましたか。あるいは過去の構造的変化がこの排出量データの情報開示に含まれていますか。 .....	110
(7.1.2) 貴組織の排出量算定方法、バウンダリ (境界)、および/または報告年の定義は報告年に変更されましたか。 .....	110
(7.2) 活動データの収集や排出量の計算に使用した基準、プロトコル、または方法の名称を選択してください。 .....	111
(7.3) スコープ 2 排出量を報告するための貴組織のアプローチを説明してください。 .....	111
(7.4) 選択した報告バウンダリ (境界) 内で、開示に含まれていないスコープ 1、スコープ 2、スコープ 3 の排出源 (例えば、施設、特定の温室効果ガス、活動、地理的場所等) はありますか。 .....	112
(7.4.1) 選択した報告バウンダリ (境界) 内にあるが、開示に含まれないスコープ 1、スコープ 2、またはスコープ 3 排出量の発生源の詳細を記入してください。 .....	112
(7.5) 基準年と基準年排出量を記入してください。 .....	114
(7.6) 貴組織のスコープ 1 全世界総排出量を教えてください (単位: CO2 換算トン)。 .....	123
(7.7) 貴組織のスコープ 2 全世界総排出量を教えてください (単位: CO2 換算トン)。 .....	124
(7.8) 貴組織のスコープ 3 全世界総排出量を示すとともに、除外項目について開示および説明してください。 .....	125
(7.8.1) 過去年の貴組織のスコープ 3 排出量データを開示するか、または再記入してください。 .....	135
(7.9) 報告した排出量に対する検証/保証の状況を回答してください。 .....	137
(7.9.1) スコープ 1 排出量に対して実施した検証/保証の詳細を記入し、関連する報告書を添付してください。 .....	138
(7.9.2) スコープ 2 排出量に対して実施した検証/保証の詳細を記入し、関連する報告書を添付してください。 .....	139
(7.9.3) スコープ 3 排出量に対して実施した検証/保証の詳細を記入し、関連する報告書を添付してください。 .....	140
(7.10) 報告年における排出量総量 (スコープ 1+2 合計) は前年と比較してどのように変化しましたか。 .....	142
(7.10.1) 世界総排出量 (スコープ 1 と 2 の合計) の変化の理由を特定し、理由ごとに前年と比較して排出量がどのように変化したかを示してください。 .....	142
(7.10.2) 7.10 および 7.10.1 の排出量実績計算は、ロケーション基準のスコープ 2 排出量値もしくはマーケット基準のスコープ 2 排出量値のどちらに基づいていますか。 .....	148

(7.12) 生物起源炭素由来の二酸化炭素排出は貴組織に関連しますか。 .....	149
(7.15) 貴組織では、スコープ 1 排出量の温室効果ガスの種類別の内訳を作成していますか。 .....	149
(7.15.1) スコープ 1 全世界総排出量の内訳を温室効果ガスの種類ごとに回答し、使用した地球温暖化係数 (GWP) それぞれの出典も記入してください。 .....	149
(7.16) スコープ 1 および 2 の排出量の内訳を国/地域別で回答してください。 .....	150
(7.17) スコープ 1 世界総排出量の内訳のうちのどれを記入できるか示してください。 .....	157
(7.17.1) 事業部門別にスコープ 1 全世界総排出量の内訳をお答えください。 .....	157
(7.20) スコープ 2 世界総排出量の内訳のうちのどれを記入できるか示してください。 .....	158
(7.20.1) 事業部門別にスコープ 2 全世界総排出量の内訳をお答えください。 .....	158
(7.22) 連結会計グループと回答に含まれる別の事業体の間のスコープ 1 およびスコープ 2 総排出量の内訳をお答えください。 .....	159
(7.23) 貴組織の CDP 回答に含まれる子会社の排出量データの内訳を示すことはできますか。 .....	160
(7.23.1) スコープ 1 およびスコープ 2 の総排出量の内訳を子会社別にお答えください。 .....	160
(7.26) 本報告対象期間に販売した商品またはサービス量に応じて、貴組織の排出量を以下に示す顧客に割り当ててください。 <b>エラー! ブックマークが定義されていません。</b>	
(7.29) 報告年の事業支出のうち何%がエネルギー使用によるものでしたか。 .....	192
(7.30) 貴組織がどのエネルギー関連活動を行ったか選択してください。 .....	192
(7.30.1) 貴組織のエネルギー消費量合計 (原料を除く) を MWh 単位で報告してください。 .....	193
(7.30.6) 貴組織の燃料消費の用途を選択してください。 .....	197
(7.30.7) 貴組織が消費した燃料の量 (原料を除く) を燃料の種類別に MWh 単位で示します。 .....	197
(7.30.9) 貴組織が報告年に生成、消費した電力、熱、蒸気および冷熱に関する詳細をお答えください。 .....	204
(7.30.14) 7.7 で報告したマーケット基準スコープ 2 の数値において、ゼロまたはゼロに近い排出係数を用いて計算された電力、熱、蒸気、冷熱量について、具体的にお答えください。 .....	207
(7.30.16) 報告年における電力/熱/蒸気/冷熱の消費量の国/地域別の内訳を示してください。 .....	248
(7.45) 報告年のスコープ 1 と 2 の全世界総排出量について、単位通貨総売上あたりの CO2 換算トン単位で詳細を説明し、貴組織の事業に当てはまる追加の原単位指標を記入します。 .....	259
(7.52) 貴組織の事業に関連がある、追加の気候関連指標を記入してください。 .....	261
(7.53) 報告年に有効な排出量目標はありましたか。 .....	262
(7.53.1) 排出の総量目標とその目標に対する進捗状況の詳細を記入してください。 .....	262
(7.54) 報告年に有効なその他の気候関連目標がありましたか。 .....	272
(7.54.2) メタン削減目標を含むその他の気候関連目標の詳細をお答えください。 .....	272
(7.55) 報告年内に有効であった排出量削減イニシアチブがありましたか。これには、計画段階及び実行段階のものを含みます。 .....	275
(7.55.1) 各段階のイニシアチブの総数を示し、実施段階のイニシアチブについては推定排出削減量 (CO2 換算) もお答えください。 .....	275
(7.55.2) 報告年に実施されたイニシアチブの詳細を以下の表に記入してください。 .....	276
(7.55.3) 排出削減活動への投資を促進するために貴社はどのような方法を使っていますか。 .....	281
(7.73) 貴組織では、自社製品またはサービスに関する製品レベルのデータを提供していますか。 .....	282
(7.74) 貴組織の製品やサービスを低炭素製品に分類していますか。 .....	283
(7.74.1) 低炭素製品に分類している貴組織の製品やサービスを具体的にお答えください。 .....	283
(7.79) 貴組織は報告年中にプロジェクト由来の炭素クレジットをキャンセル (償却) しましたか。 .....	285

<b>C9. 環境実績 - 水セキュリティ</b> .....	<b>286</b>
(9.1) 水関連データの中で開示対象から除外されるものはありますか。 .....	286
(9.1.1) 除外項目についての詳細を記載してください。 .....	286
(9.2) 貴組織の事業活動全体で、次の水アスペクトのどの程度の割合を定期的に測定・モニタリングしていますか。 .....	287
(9.2.2) 貴組織の事業全体で、取水、排水、消費した水の合計量と、前報告年比、また今後予測される変化についてご記載ください。 .....	294
(9.2.4) 水ストレス下にある地域から取水を行っていますか。また、その量、前報告年比、今後予測される変化はどのようなものですか。 .....	298
(9.2.7) 水源別の総取水量をお答えください。 .....	299
(9.2.8) 放流先別の総排水量をお答えください。 .....	302
(9.2.9) 貴組織の自社事業内でのどの程度まで排水処理を行うかをお答えください。 .....	305
(9.2.10) 報告年における硝酸塩、リン酸塩、殺虫剤、およびその他の優先有害物質の水域への貴組織の排出量について具体的にお答えください。 .....	308
(9.3) 自社事業およびバリューチェーン上流において、水に関連する重大な依存、影響、リスク、機会を特定した施設の数はいくつですか。 .....	309
(9.4) 設問 9.3.1 で報告した貴組織の施設のいずれかが回答を要請している CDP サプライチェーンメンバー企業に影響を及ぼす可能性がありますか。 <b>エラー! ブックマークが定義されていません。</b>	
(9.5) 貴組織の総取水効率の数値を記入してください。 .....	310
(9.13) 規制当局により有害と分類される物質を含んだ貴組織製品はありますか。 .....	310
(9.13.1) 規制当局により有害と分類される物質を含んだ貴組織製品が売上に占める割合を教えてください。 .....	311
(9.14) 貴組織が現在製造や提供をしている製品やサービスの中で、水の影響を少なく抑えているものはありますか。 .....	316
(9.15) 貴組織には水関連の定量的目標がありますか。 .....	317
(9.15.3) 貴組織に水関連の定量的目標がない理由と、今後策定する予定があるものがあればその内容をお答えください。 .....	317
<b>C13. 追加情報および最終承認</b> .....	<b>319</b>
(13.1) CDP への回答に含まれる環境情報 (質問 7.9.1/2/3、8.9.1/2/3/4、および 9.3.2 で報告されていないもの) が第三者によって検証または保証されているかどうかをお答えください。 .....	319
(13.1.1) CDP 質問書への回答のどのデータ・ポイントが第三者によって検証または保証されており、どの基準が使用されていますか。 .....	319
(13.3) CDP 質問書への回答を最終承認した人物に関する以下の情報を記入します。 .....	321
(13.4) [ウォーターアクションハブ]ウェブサイトのコンテンツをサポートするため、CDP がパシフィック・インスティテュートと連絡先情報を共有することに同意してください。 .....	322

## C1. イントロダクション

(1.1) どの言語で回答を提出しますか。

選択:

英語

(1.2) 回答全体を通じて財務情報の開示に使用する通貨を選択してください。

選択:

日本円(JPY)

(1.3) 貴組織に関する概要と紹介情報を提供してください。

### (1.3.2) 組織の種類

選択:

上場組織

### (1.3.3) 組織の詳細

*(As of April 1, 2024) Company Name: Nitto Denko Corporation Head Office: 33rd Floor, Grand Front Osaka, 4-20, Ofuka-cho, Kita-ku, Osaka 530-0011, Japan Board Member President & CEO: Hideo TAKASAKI Established: 1918/Oct/25 Capital: 26,783 million yen The Stock Exchange: Tokyo Stock Exchange, Prime Market Stock Ticker Number: 6988 Fiscal Year: March 31 Net Sales: 915 billion yen (Consolidated, FY2023) 519 billion yen ( Non-Consolidated, FY2023) Employees: 27,426 (Consolidated) 6,941 (non-Consolidated) Global Network: 93 companies.*

[固定行]

(1.4) データの報告年の終了日を入力してください。排出量データについて、過去の報告年における排出量データを提供するか否かを明記してください。

#### (1.4.1) 報告年の終了日

03/31/2024

#### (1.4.2) 本報告期間と財務情報の報告期間は一致していますか

選択:

はい

#### (1.4.3) 過去の報告年の排出量データを回答しますか

選択:

はい

#### (1.4.4) スコープ 1 排出量データについて回答する過去の報告年数

選択:

1 年

#### (1.4.5) スコープ 2 排出量データについて回答する過去の報告年数

選択:

1 年

#### (1.4.6) スコープ 3 排出量データについて回答する過去の報告年数

選択:

1 年

[固定行]

#### (1.4.1) What is your organization's annual revenue for the reporting period?

(1.5) 貴組織の報告バウンダリ（範囲）の詳細を回答してください。

	CDP 回答に使用する報告バウンダリは財務諸表で使用されているバウンダリと同じですか。
	選択: <input checked="" type="checkbox"/> はい

[固定行]

(1.6) 貴組織は ISIN コードまたは別の固有の市場識別 ID (例えば、ティッカー、CUSIP 等) をお持ちですか。

ISIN コード - 債券

(1.6.1) 貴組織はこの固有の市場識別 ID を使用していますか。

選択:

いいえ

ISIN コード - 株式

(1.6.1) 貴組織はこの固有の市場識別 ID を使用していますか。

選択:

はい

(1.6.2) 貴組織固有の市場識別 ID を提示します

## CUSIP 番号

(1.6.1) 貴組織はこの固有の市場識別 ID を使用していますか。

選択:

いいえ

ティッカーシンボル

(1.6.1) 貴組織はこの固有の市場識別 ID を使用していますか。

選択:

いいえ

SEDOL コード

(1.6.1) 貴組織はこの固有の市場識別 ID を使用していますか。

選択:

いいえ

LEI 番号

(1.6.1) 貴組織はこの固有の市場識別 ID を使用していますか。

選択:

いいえ

D-U-N-S 番号

### (1.6.1) 貴組織はこの固有の市場識別 ID を使用していますか。

選択:

はい

### (1.6.2) 貴組織固有の市場識別 ID を提示します

690538913

その他の固有の市場識別 ID

### (1.6.1) 貴組織はこの固有の市場識別 ID を使用していますか。

選択:

いいえ

[行を追加]

### (1.7) 貴組織が事業を運営する国/地域を選択してください。

該当するすべてを選択

- |   |  |
|---|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 中国    | <input checked="" type="checkbox"/> インド          |
| <input checked="" type="checkbox"/> 日本    | <input checked="" type="checkbox"/> トルコ          |
| <input checked="" type="checkbox"/> タイ    | <input checked="" type="checkbox"/> ベルギー         |
| <input checked="" type="checkbox"/> チェコ   | <input checked="" type="checkbox"/> ブラジル         |
| <input checked="" type="checkbox"/> ドイツ   | <input checked="" type="checkbox"/> メキシコ         |
| <input checked="" type="checkbox"/> 大韓民国  | <input checked="" type="checkbox"/> インドネシア       |
| <input checked="" type="checkbox"/> ベトナム  | <input checked="" type="checkbox"/> 台湾(中国)       |
| <input checked="" type="checkbox"/> ハンガリー | <input checked="" type="checkbox"/> アメリカ合衆国 (米国) |
| <input checked="" type="checkbox"/> マレーシア |  |
| <input checked="" type="checkbox"/> フィリピン |  |

## (1.8) 貴組織の施設についての地理位置情報を提供できますか。

	貴組織の施設についての地理位置情報を提供できますか。	コメント
	選択: <input checked="" type="checkbox"/> いいえ、このデータはなく、収集する予定はありません	-

[固定行]

## (1.24) 貴組織はバリューチェーンをマッピングしていますか。

### (1.24.1) バリューチェーンのマッピング

選択:

はい、バリューチェーンのマッピングが完了している、または現在マッピングしている最中です

### (1.24.2) マッピング対象となるバリューチェーン上の段階

該当するすべてを選択

バリューチェーン上流

バリューチェーン下流

### (1.24.3) マッピングされた最上位のサプライヤー層

選択:

2次サプライヤー

#### (1.24.4) 既知であるが、マッピングされていない最上位のサプライヤー層

選択:

4 次以上のサプライヤー

#### (1.24.7) マッピングプロセスと対象範囲の詳細

*The Nitto Group monitors and manages the upstream of the value chain, from primary suppliers to secondary suppliers connected through trading companies. The information that is monitored and managed includes the supplier's industry, name, the name of the raw materials in question, and the amount of the purchase. As for the downstream of the value chain, the Group monitors and manages its direct customers. The information that is monitored and managed includes the customer's industry, name, the name of the products in question, and the sales amount.*

[固定行]

## C2. 依存、インパクト、リスク、機会の特定、評価、管理

(2.1) 貴組織は、貴組織の環境上の依存、インパクト、リスク、機会の特定、評価、管理に関連した短期、中期、長期の時間軸をどのように定義していますか。

短期

(2.1.1) 開始(年)

0

(2.1.3) 終了(年)

2

(2.1.4) この時間軸が戦略計画や財務計画にどのように関連付けられていますか。

*As a short-term measure, the Nitto Group develops an annual budget each year.*

中期

(2.1.1) 開始(年)

3

(2.1.3) 終了(年)

5

(2.1.4) この時間軸が戦略計画や財務計画にどのように関連付けられていますか。

*As a mid-term, the Nitto Group develops a mid-term management plan every three years. The annual budget and the mid-term management plan include targets related*

to the environment, and measures are implemented to achieve these targets.

## 長期

### (2.1.1) 開始(年)

6

### (2.1.2) 期間の定めのない長期の時間軸を設けていますか

選択:

はい

### (2.1.4) この時間軸が戦略計画や財務計画にどのように関連付けられていますか。

As for the long term, the Nitto Group have set goals for 2030 and 2050.

[固定行]

## (2.2) 貴組織には、環境への依存やインパクトを特定、評価、管理するプロセスがありますか。

	プロセスの有無	このプロセスで評価された依存やインパクト
	選択: <input checked="" type="checkbox"/> はい	選択: <input checked="" type="checkbox"/> 依存とインパクトの両方

[固定行]

### (2.2.1) 貴組織には、環境リスクや機会を特定、評価、管理するプロセスがありますか。

	プロセスの有無	このプロセスで評価されたリスクや機会	このプロセスでは、依存やインパクトの評価プロセスの結果を考慮していますか
	選択: <input checked="" type="checkbox"/> はい	選択: <input checked="" type="checkbox"/> リスクと機会の両方	選択: <input checked="" type="checkbox"/> はい

[固定行]

(2.2.2) 環境への依存、インパクト、リスク、機会を特定、評価、管理する貴組織のプロセスの詳細を回答してください。

Row 1

### (2.2.2.1) 環境課題

該当するすべてを選択

水

### (2.2.2.2) この環境課題と関連したプロセスでは、依存、影響、リスク、機会のどれを対象としていますか

該当するすべてを選択

リスク

機会

### (2.2.2.3) 対象となるバリューチェーン上の段階

該当するすべてを選択

直接操作

バリューチェーン上流

#### (2.2.2.4) 対象範囲

選択:

- 一部

#### (2.2.2.5) 対象となるサプライヤー層

該当するすべてを選択

- 1次サプライヤー

#### (2.2.2.7) 評価の種類

選択:

- 定性、定量評価の両方

#### (2.2.2.8) 評価の頻度

選択:

- 年1回

#### (2.2.2.9) 対象となる時間軸

該当するすべてを選択

- 短期
- 中期
- 長期

#### (2.2.2.10) リスク管理プロセスの統合

選択:

- 特定の環境リスク管理プロセス

### (2.2.2.11) 使用した地域固有性

該当するすべてを選択

- 近隣地域

### (2.2.2.12) 使用したツールや手法

市販/公開されているツール

- WRI Aqueduct

データベース

- 地方自治体のデータベース

その他

- シナリオ分析

### (2.2.2.13) 考慮されたリスクの種類と基準

急性の物理的リスク

- 洪水 (沿岸、河川、多雨、地下水)

慢性の物理的リスク

- 海面上昇
- 水ストレス

### (2.2.2.14) 考慮されたパートナーやステークホルダー

該当するすべてを選択

- 顧客
- 従業員
- 規制当局
- 河川流域/集水地におけるその他の水利用者

- サプライヤー
- 地域コミュニティ

### (2.2.2.15) 報告年の前年以來、このプロセスに変更はありましたか。

選択:

- いいえ

### (2.2.2.16) プロセスに関する詳細情報

*Regarding key risks and opportunities related to water, the Group understands the impact on the Company in association with changes in the internal and external environment; evaluates and identifies (selects) relative importance based on the “magnitude of impact” on business in the case of an incident and the “possibility of occurrence,” which actually occurs; and determines the priority of the risks and opportunities. The key risks and opportunities related to water will be monitored by business execution departments and regional managers in collaboration, while the department responsible for environmental issues will assume responsibility for managing them. Information regarding monitored risks and opportunities, together with information managed by other special function departments, will be reported and deliberated monthly at the Corporate Strategy Meeting, which consists of Directors and Vice Presidents. The results of the deliberation will be instantly communicated to related departments, and countermeasures against risks and measures for opportunities will be promptly taken to strengthen controls. The progress of the implementation and improvement will be again reported to and monitored at the Corporate Strategy Meeting to increase the effectiveness of the Group management. At the end of the fiscal year, the department in charge of the environment, as the department responsible for management, conducts a self-evaluation on the major risks and opportunities associated with water that were reported and reviewed in the Corporate Strategy Meeting in accordance with evaluation criteria such as the implementation structure establishment, controls and preventative measures implementation, and the occurrence of incidents as well as the responses to them. The department in charge of risk management evaluates the results of the self-evaluation from an independent viewpoint. Once this is approved by the officer in charge of risk management, it is reported to the Corporate Strategy Meeting and the Board of Directors as an independent evaluation.*

## Row 3

### (2.2.2.1) 環境課題

該当するすべてを選択

- 気候変動

### (2.2.2.2) この環境課題と関連したプロセスでは、依存、影響、リスク、機会のどれを対象としていますか

該当するすべてを選択

- 依存
- 影響
- リスク
- 機会

### (2.2.2.3) 対象となるバリューチェーン上の段階

該当するすべてを選択

- 直接操業
- バリューチェーン上流
- バリューチェーン下流

### (2.2.2.4) 対象範囲

選択:

- 全部

### (2.2.2.5) 対象となるサプライヤー層

該当するすべてを選択

- 1次サプライヤー

### (2.2.2.7) 評価の種類

選択:

- 定性、定量評価の両方

### (2.2.2.8) 評価の頻度

選択:

- 年1回

### (2.2.2.9) 対象となる時間軸

該当するすべてを選択

- 短期
- 中期
- 長期

### (2.2.2.10) リスク管理プロセスの統合

選択:

- 部門横断的かつ全社的なリスク管理プロセスへの統合

### (2.2.2.11) 使用した地域固有性

該当するすべてを選択

- 拠点固有

### (2.2.2.12) 使用したツールや手法

データベース

- 地方自治体のデータベース

その他

- 社外コンサルタント
- シナリオ分析

### (2.2.2.13) 考慮されたリスクの種類と基準

急性の物理的リスク

- 干ばつ
- 洪水 (沿岸、河川、多雨、地下水)

#### 慢性の物理的リスク

- 海面上昇

#### 政策

- カーボンプライシングメカニズム

#### 市場リスク

- 原材料の可用性またはコスト増
- 顧客行動の変化

#### 評判リスク

- 環境に悪影響を及ぼすプロジェクトや活動（GHG 排出、森林伐採・転換、水ストレス等）の支援に関するネガティブな報道

#### 技術リスク

- 低排出技術および製品への移行

#### 法的責任リスク

- 訴訟問題
- 規制の不遵守

### (2.2.2.14) 考慮されたパートナーやステークホルダー

該当するすべてを選択

- 顧客
- サプライヤー

### (2.2.2.15) 報告年の前年以來、このプロセスに変更はありましたか。

選択:

- いいえ

## (2.2.2.16) プロセスに関する詳細情報

Regarding key risks and opportunities related to climate change, the Group understands the impact on the Company in association with changes in the internal and external environment; evaluates and identifies (selects) relative importance based on the “magnitude of impact” on business in the case of an incident and the “possibility of occurrence,” which actually occurs; and determines the priority of the risks and opportunities. To identify risks and opportunities, we utilize scenario analysis to identify the risks and opportunities associated with the shift to a low-carbon economy that are expected due to climate change, as well as the risks of physical damage posed by factors such as extreme weather, for not only Nitto but the entire value chain stretching from our suppliers to customers, and then make a qualitative and quantitative assessment of the possible financial impacts. The key risks and opportunities related to climate change will be monitored by business execution departments and regional managers in collaboration, while the department responsible for environmental issues will assume responsibility for managing them. Information regarding monitored risks and opportunities, together with information managed by other special function departments, will be reported and deliberated monthly at the Corporate Strategy Meeting, which consists of Directors and Vice Presidents. The results of the deliberation will be instantly communicated to related departments, and countermeasures against risks and measures for opportunities will be promptly taken to strengthen controls. The progress of the implementation and improvement will be again reported to and monitored at the Corporate Strategy Meeting to increase the effectiveness of the Group management. At the end of the fiscal year, the department in charge of the environment, as the department responsible for management, conducts a self-evaluation on the major risks and opportunities associated with climate change that were reported and reviewed in the Corporate Strategy Meeting in accordance with evaluation criteria such as the implementation structure establishment, controls and preventative measures implementation, and the occurrence of incidents as well as the responses to them. The department in charge of risk management evaluates the results of the self-evaluation from an independent viewpoint. Once this is approved by the officer in charge of risk management, it is reported to the Corporate Strategy Meeting and the Board of Directors as an independent evaluation.

[行を追加]

## (2.2.7) 環境への依存、インパクト、リスク、機会間の相互関係を評価していますか。

	環境への依存、インパクト、リスク、機会間の相互関係の評価の有無	相互関係の評価方法についての説明
	選択: <input checked="" type="checkbox"/> はい	The Nitto Group is currently investigating the interrelationship between dependence/impact and risk/opportunity using the LEAP approach.

[固定行]

## (2.3) バリューチェーン内の優先地域を特定しましたか。

### (2.3.1) 優先地域の特定

選択:

- はい、優先地域を特定しました

### (2.3.2) 優先地域が特定されたバリューチェーンの段階

該当するすべてを選択

- 直接操業

### (2.3.3) 特定された優先地域の種類

要注意地域

- 水の利用可能性が低い、洪水による影響が高い、または水質が劣悪な地域

### (2.3.4) 優先地域を特定したプロセスの説明

*A primary evaluation was conducted using an external tool with seven indicators such as drought, flooding, and water stress specific to the region where the company maintains business sites. In addition, priority areas were identified by surveying the occurrence of water-related disasters at the company's business sites and the actual water risk, and by analyzing the impact on the business.*

### (2.3.5) 優先地域のリスト/地図を開示しますか

選択:

- はい、優先地域のリストまたは地図を開示します

### (2.3.6) 優先地域のリストや地図を提供してください

2024.07.01 Nitto Gr. Water risk list.xlsx

[固定行]

(2.4) 貴組織は、組織に対する重大な影響をどのように定義していますか。

リスク

#### (2.4.1) 定義の種類

該当するすべてを選択

- 定性的
- 定量的

#### (2.4.2) 重大な影響を定義するための指標

選択:

- 売上

#### (2.4.3) 指標の変化

選択:

- 絶対値の減少

#### (2.4.5) 絶対値の増減数

10000000000

#### (2.4.6) 定義する際に考慮する尺度

該当するすべてを選択

- 影響の発生頻度
- 影響が発生する時間軸
- 影響が発生する可能性

#### (2.4.7) 定義の適用

We identify the risks and opportunities in the short term (less than three years), medium term (three to six years), and long term (six years or more) under the business environment assumed in the respective scenarios. The short-term and medium-term risks and opportunities are reflected in the mid-term management plan. For the long-term risks and opportunities, we conduct a financial quantitative analysis to identify the business impact (financial impact) in the event that the respective scenarios materialize.

## 機会

### (2.4.1) 定義の種類

該当するすべてを選択

- 定性的
- 定量的

### (2.4.2) 重大な影響を定義するための指標

選択:

- 売上

### (2.4.3) 指標の変化

選択:

- 絶対値の増加

### (2.4.5) 絶対値の増減数

10000000000

### (2.4.6) 定義する際に考慮する尺度

該当するすべてを選択

- 影響の発生頻度
- 影響が発生する時間軸
- 影響が発生する可能性

## (2.4.7) 定義の適用

*We identify the risks and opportunities in the short term (less than three years), medium term (three to six years), and long term (six years or more) under the business environment assumed in the respective scenarios. The short-term and medium-term risks and opportunities are reflected in the mid-term management plan. For the long-term risks and opportunities, we conduct a financial quantitative analysis to identify the business impact (financial impact) in the event that the respective scenarios materialize.*

[行を追加]

(2.5) 貴組織では、事業活動に関連し、水の生態系や人間の健康に有害となりうる潜在的水質汚染物質を、どのように特定、分類していますか。

### (2.5.1) 潜在的水質汚染物質の特定と分類

選択:

はい、潜在的水質汚染物質を特定・分類しています

### (2.5.2) 潜在的水質汚染物質をどのように特定・分類していますか

*The Nitto Group identifies substances designated by the Water Pollution Control Law, prefectural ordinances, and the effluent water quality laws of various countries, as water pollutants that may have a harmful impact on the ecosystem, in accordance with internal policies. We also manage these substances in accordance with our internal wastewater management standards. The Nitto Group complies with the Water Pollution Control Act, prefectural ordinances, and wastewater quality laws and regulations of each country, and each manufacturing site has established stricter standards for wastewater quality control than those required by law. For example, our Toyohashi Plant constantly monitors wastewater. Water quality is also analyzed regularly using instruments, and wastewater is analyzed using chemicals and precision equipment to confirm that it is within our voluntary standard values and that there are no abnormal values. As an example of voluntary standard values, the Toyohashi Plant strictly controls total phosphorus concentration by setting a standard of 6.4 mg/L for total phosphorus compared to the regulatory value of 16 mg/L under the Water Quality Prevention and Pollution Control Law.*

[固定行]

(2.5.1) 水の生態系や人間の健康に悪影響を及ぼす、事業活動に伴う潜在的水質汚染物質について、貴組織ではどのようにその影響を最小限に抑えているか説明してください。

## Row 1

### (2.5.1.1) 水質汚染物質カテゴリー

選択:

硝酸塩

### (2.5.1.2) 水質汚染物質と潜在的影響の説明

*The Nitto Group identifies and manages substances including nitrates designated by the Water Pollution Control Law, as water pollutants that may have a harmful effect on water ecosystems. We believe that the discharge of these substances may have harmful effects on water ecosystems around our business sites, such as eutrophication. Therefore, we have established voluntary standards that are stricter than the law to thoroughly control the water quality of wastewater.*

### (2.5.1.3) バリューチェーン上の段階

該当するすべてを選択

直接操業

### (2.5.1.4) 悪影響を最小限に抑えるための行動と手順

該当するすべてを選択

規制要件を超えるコンプライアンス

### (2.5.1.5) 説明してください

*The Nitto Group has established voluntary standards at each of its manufacturing sites that are stricter than legal requirements to thoroughly control the quality of wastewater. One example of a stricter standard is the Toyohashi Plant's standard of 80 mg/L for total nitrogen concentration, compared to the Water Quality Prevention and Pollution Control Law's regulation value of 100 mg/L. This is an indicator of success, and we consider it successful because the numbers are below our voluntary standards.*

## Row 3

### (2.5.1.1) 水質汚染物質カテゴリー

選択:

リン酸塩

### (2.5.1.2) 水質汚染物質と潜在的影響の説明

*The Nitto Group identifies and manages substances including phosphate designated by the Water Pollution Control Law, as water pollutants that may have a harmful effect on water ecosystems. We believe that the discharge of these substances may have harmful effects on water ecosystems around our business sites, such as eutrophication. Therefore, we have established voluntary standards that are stricter than the law to thoroughly control the water quality of wastewater.*

### (2.5.1.3) バリューチェーン上の段階

該当するすべてを選択

直接操業

### (2.5.1.4) 悪影響を最小限に抑えるための行動と手順

該当するすべてを選択

規制要件を超えるコンプライアンス

### (2.5.1.5) 説明してください

*The Nitto Group has established voluntary standards at each of its manufacturing sites that are stricter than legal requirements to thoroughly control the quality of wastewater. One example of a stricter standard is the Toyohashi Plant's standard of 6.4 mg/L for total phosphorus concentration, compared to the Water Quality Prevention and Pollution Control Law's regulation value of 16 mg/L. This is an indicator of success, and we consider it successful because the numbers are below our voluntary standards.*

[行を追加]

### C3. リスクおよび機会の開示

(3.1) 報告年の間に貴組織に重大な影響を及ぼした、あるいは将来的に重大な影響を及ぼすと考えられる何らかの環境リスクを特定していますか。

#### 気候変動

##### (3.1.1) 環境リスクの特定

選択:

はい、直接操業とバリューチェーン上流/下流の両方において特定

#### 水

##### (3.1.1) 環境リスクの特定

選択:

いいえ

##### (3.1.2) 貴組織が直接操業やバリューチェーン上流/下流に環境リスクがないと判断した主な理由

選択:

環境リスクは存在するが、事業に重大な影響を及ぼす可能性があるものはない

##### (3.1.3) 説明してください

*Risks include damage to the company's buildings, facilities, infrastructure, plant shutdowns due to flood or high tides, as well as plant shutdowns due to damage to major suppliers. In addition, revenues are expected to decline due to lost opportunities. However, the financial impact in 2030 is considered to be moderate, and while environmental risks exist, there are none with the potential to have a substantial effect on our organization.*

## プラスチック

### (3.1.1) 環境リスクの特定

選択:

いいえ

### (3.1.2) 貴組織が直接操業やバリューチェーン上流/下流に環境リスクがないと判断した主な理由

選択:

標準化された手順がない

### (3.1.3) 説明してください

*Risks include damage to the company's buildings, facilities, infrastructure, plant shutdowns due to flood or high tides, as well as plant shutdowns due to damage to major suppliers. In addition, revenues are expected to decline due to lost opportunities. However, the financial impact in 2030 is considered to be moderate, and while environmental risks exist, there are none with the potential to have a substantial effect on our organization.*

[固定行]

(3.1.1) 報告年の間に貴組織にを重大な影響を及ぼした、あるいは将来的に重大な影響を及ぼすことが見込まれると特定された環境リスクの詳細を記載してください。

## 気候変動

### (3.1.1.1) リスク識別 ID

選択:

Risk1

### (3.1.1.3) リスクの種類と主な環境リスク要因

## 政策

- カーボンプライシングメカニズム

### (3.1.1.4) リスクが発生するバリューチェーン上の段階

選択:

- 直接操業

### (3.1.1.6) リスクが発生する国/地域

該当するすべてを選択

- |   |  |
|---|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 中国    | <input checked="" type="checkbox"/> インド          |
| <input checked="" type="checkbox"/> 日本    | <input checked="" type="checkbox"/> トルコ          |
| <input checked="" type="checkbox"/> タイ    | <input checked="" type="checkbox"/> ベルギー         |
| <input checked="" type="checkbox"/> チェコ   | <input checked="" type="checkbox"/> ブラジル         |
| <input checked="" type="checkbox"/> ドイツ   | <input checked="" type="checkbox"/> メキシコ         |
| <input checked="" type="checkbox"/> 大韓民国  | <input checked="" type="checkbox"/> インドネシア       |
| <input checked="" type="checkbox"/> ベトナム  | <input checked="" type="checkbox"/> 台湾(中国)       |
| <input checked="" type="checkbox"/> ハンガリー | <input checked="" type="checkbox"/> アメリカ合衆国 (米国) |
| <input checked="" type="checkbox"/> マレーシア |  |
| <input checked="" type="checkbox"/> フィリピン |  |

### (3.1.1.9) リスクに関する組織固有の詳細

*An increase in taxation costs (operating costs) due to the increased introduction of carbon taxes and GHG emission levies.*

### (3.1.1.11) リスクの主な財務的影響

選択:

- 売上構成や収入源の変化

### (3.1.1.12) このリスクが組織に重大な影響を及ぼすと考えられる時間軸

該当するすべてを選択

長期

### (3.1.1.13) 想定される時間軸でこのリスクが影響を及ぼす可能性

選択:

可能性が非常に高い

### (3.1.1.14) 影響の程度

選択:

高い

### (3.1.1.16) 選択した将来的の時間軸において、当該リスクが組織の財務状況、業績およびキャッシュフローに及ぼすことが考えられる影響

*Under the 1.5C scenario, the major factors of profit decline are increase in taxation costs (operating costs) due to the increased introduction of carbon taxes and GHG emission levies.*

### (3.1.1.17) リスクの財務的影響を定量化することができますか。

選択:

はい

### (3.1.1.23) 長期的に見込まれる財務上の影響額一最小 (通貨)

2000000000

### (3.1.1.24) 長期的に見込まれる財務上の影響額一最大 (通貨)

### (3.1.1.25) 財務上の影響額の説明

The Nitto Group identify the risks and opportunities in the short term (less than three years), medium term (three to six years), and long term (six years or more) under the business environment. The short-term and medium-term risks and opportunities are reflected in the mid-term management plan. For the long-term risks and opportunities, we conduct a financial quantitative analysis to identify the business impact (financial impact) in the event that the respective scenarios materialize. Although this risk occurs annually, we calculated the financial impact after 8 years based on the year 2022. The business impacts in the long term is as follows. Under the 1.5C scenario, it is expected that low-carbon regulations will be tightened, and that carbon taxes and GHG emission levies will be introduced more widely in both developed and developing countries, resulting in an increase in operating costs due to higher tax levies and an estimated impact of up to 13.4 billion yen on profits. This 13.4 billion yen is the sum of projected CO2 emissions in developed countries for 2030 multiplied by carbon taxes in developed countries and CO2 emissions in developing countries multiplied by carbon taxes in developing countries, converted to yen. (CO2 emissions in developed countries (projected for 2030) x carbon taxes in developed countries (140 USD)) (CO2 emissions in developing countries (projected for 2030) x carbon taxes in developing countries (90 USD)) x yen conversion Conversely, under the 4C scenario, since it is assumed that decarbonization measures will not be strengthened and the introduction of carbon taxes and GHG emission levies will be limited to a few countries, the increase in operating costs due to higher tax levies is expected to result in only a 2 billion yen impact on profits. This 2 billion yen is the sum of CO2 emissions in Europe multiplied by European carbon taxes, CO2 emissions in China multiplied by Chinese carbon taxes, and CO2 emissions in Korea multiplied by Korean carbon taxes, converted to yen, under the assumption that only countries with policies currently in place will adopt carbon pricing. (European CO2 emissions (projected for 2030) x European carbon taxes (120 USD)) Chinese CO2 emissions (projected for 2030) x Chinese carbon taxes (28 USD)) (Korean CO2 emissions (projected for 2030) x Korean carbon taxes (42 USD)) x yen conversion

### (3.1.1.26) リスクへの主な対応

インフラ、テクノロジー、支出

インフラ整備の改善

### (3.1.1.27) リスク対応費用

56000000000

### (3.1.1.28) 費用計算の説明

The Nitto Group envisions 80 billion in decarbonization investments for the period 2021–2030. We have already completed 24 billion in investments for the period 2021–2023, and plan to invest 56 billion for the period 2024–2030. This 56 billion represents the cost of risk response, and consists of energy conservation, shifting away from the use of solvents, and improving the efficiency of infrastructure and utilities.

### (3.1.1.29) 対応の詳細

We will invest 56 billion to reduce CO2 emissions by promoting energy conservation, desolvation, and higher efficiency in infrastructure and utilities.

[行を追加]

**(3.1.2) 報告年における環境リスクがもたらす重大な影響に脆弱な財務指標の額と割合を記入してください。**

気候変動

### **(3.1.2.1) 財務的評価基準**

選択:

売上

**(3.1.2.2) この環境課題に対する移行リスクに脆弱な財務指標の額 (質問 1.2 で選択したものと同一通貨単位で)**

0

**(3.1.2.3) この環境課題に対する移行リスクに脆弱な財務指標の全体に対する割合 (%)**

選択:

1%未満

**(3.1.2.4) この環境課題に対する物理的リスクに脆弱な財務指標の額 (質問 1.2 で選択したものと同一通貨単位で)**

0

**(3.1.2.5) この環境課題に対する物理的リスクに脆弱な財務指標の全体に対する割合 (%)**

選択:

1%未満

**(3.1.2.7) 財務数値の説明**

We currently have no vulnerable risks as we are able to address them with respect to transition risk and physical risk.

[行を追加]

**(3.2)** 各河川流域には、水関連リスクの重大な影響にさらされている施設はいくつありますか。これは施設総数のどれぐらいの割合を占めていますか。

## Row 1

### (3.2.1) 国/地域および河川流域

タイ

チャオプラヤー/Chao Phraya

### (3.2.2) この河川流域でリスクにさらされている施設が特定されたバリューチェーンの段階

該当するすべてを選択

直接操業

### (3.2.10) 貴組織のグローバルな総売上のうち、影響を受ける可能性のある売上の割合 (%)

選択:

1~10%

### (3.2.11) 説明してください

One business site in Thailand has been identified as a facility with significant exposure to water-related risks. This site generates approximately 20 billion yen in sales revenue, accounting for about 2% of the company's overall 915 billion yen.

[行を追加]

**(3.3)** 報告年の間に、貴組織は水関連の規制違反を理由として罰金、行政指導等、その他の処罰を科されましたか。

	水関連規制に関する違反	コメント
	選択: <input checked="" type="checkbox"/> いいえ	<i>There were no regulatory violations during the reporting year.</i>

[固定行]

**(3.5) 貴組織の事業や活動はカーボンプライシング制度 (ETS、キャップ・アンド・トレード、炭素税) による規制を受けていますか。**

選択:

はい

**(3.5.1) 貴組織の事業活動に影響を及ぼすカーボンプライシング規制を選択してください。**

該当するすべてを選択

EU ETS

埼玉 ETS

**(3.5.2) 貴組織が規制を受けている各排出量取引制度 (ETS) の詳細を記載してください。**

## EU ETS

### (3.5.2.1) ETS の対象とされるスコープ 1 排出量の割合

5.8

### (3.5.2.2) ETS の対象とされるスコープ 2 排出量の割合

0

### (3.5.2.3) 期間開始日

1/1/2023

### (3.5.2.4) 期間終了日

12/31/2023

### (3.5.2.5) 割当量

2404

### (3.5.2.6) 購入した許可量

14331

### (3.5.2.7) CO2 換算トン単位の検証されたスコープ 1 排出量

16735

### (3.5.2.8) CO2 換算トン単位の検証されたスコープ 2 排出量

0

### (3.5.2.9) 所有権の詳細

選択:

私たちが所有して運用している施設

### (3.5.2.10) コメント

*Scope 1 emissions totaled 16,735 tons and Scope 2 emissions totaled 0 tons. The allowance is 2,404 tons, with 14,331 tons purchased.*

## 埼玉 ETS

### (3.5.2.1) ETS の対象とされるスコープ 1 排出量の割合

1.6

### (3.5.2.2) ETS の対象とされるスコープ 2 排出量の割合

0

### (3.5.2.3) 期間開始日

04/1/2023

### (3.5.2.4) 期間終了日

03/31/2024

### (3.5.2.5) 割当量

17037

### (3.5.2.6) 購入した許可量

0

### (3.5.2.7) CO2 換算トン単位の検証されたスコープ 1 排出量

4537

### (3.5.2.8) CO2 換算トン単位の検証されたスコープ 2 排出量

0

### (3.5.2.9) 所有権の詳細

選択:

私たちが所有して運用している施設

### (3.5.2.10) コメント

Scope 1 emissions totaled 4,537 tons and Scope 2 emissions totaled 0 tons. The allowance is 17,037 tons, with emissions falling short of the quota.

[固定行]

**(3.5.4)** 規制を受けている、あるいは規制を受けることが見込まれる制度に準拠するための貴組織の戦略を回答してください。

*For this reporting year, the Nitto Group is regulated by the EU ETS and the Saitama ETS. In order to comply with these systems, the relevant regions are implementing measures for Scope 1, focusing on energy conservation in equipment and devices. For Scope 2, active efforts have been made to make use of renewable energy sources that can feasibly be introduced. As a result, there were zero Scope 2 emissions in the reporting year for our sites regulated by the EU ETS and Saitama ETS. In the future, we are considering further reduction of CO2 emissions through switching of fuels, electrification of facilities, and development of technologies to directly remove CO2 from the atmosphere.*

**(3.6)** 報告年の間に貴組織に大きな影響を与えた、あるいは将来的に貴組織に大きな影響を与えることが見込まれる何らかの環境上の機会を特定していますか。

	特定された環境上の機会
気候変動	選択: <input checked="" type="checkbox"/> はい、機会を特定しており、その一部/すべてが実現されつつあります
水	選択: <input checked="" type="checkbox"/> はい、機会を特定しており、その一部/すべてが実現されつつあります

[固定行]

(3.6.1) 報告年の間に貴組織に大きな影響を与えた、あるいは将来的に貴組織に大きな影響を与えることが見込まれる特定された環境上の機会の詳細を記載してください。

## 気候変動

### (3.6.1.1) 機会 ID

選択:

Opp1

### (3.6.1.3) 機会の種類と主な環境機会要因

製品およびサービス

R&D 及び技術革新を通じた新製品やサービスの開発

### (3.6.1.4) 機会が発現するバリューチェーン上の段階

選択:

直接操業

### (3.6.1.5) 機会が発現する国/エリア

該当するすべてを選択

中国

日本

大韓民国

台湾(中国)

アメリカ合衆国 (米国)

### (3.6.1.8) 組織固有の詳細

Placing ESG at the core of our management, the Nitto Group secures an “essential” position for all of its products, with the assumption that they all have something to offer to the global environment and human society. We showcase the positive contributions that our products and services make for planet and recognize those with a particularly high level of contributions by attaching “PlanetFlags”. Products certified under this system are manufactured in Japan, China, Taiwan, South Korea, and the United States, and sold in each of these regions. As such, we believe that these regions will present opportunities in this regard.

### (3.6.1.9) 当該機会の主な財務的影響

選択:

- 商品とサービスに対する需要増加に起因する売上増加

### (3.6.1.10) 当該機会が組織に大きな影響を与えると見込まれる時間軸

該当するすべてを選択

- 長期

### (3.6.1.11) 想定される時間軸の間に当該機会が影響を与える可能性

選択:

- 可能性が非常に高い (90~100%)

### (3.6.1.12) 影響の程度

選択:

- 高い

### (3.6.1.14) 選択した将来的な時間軸において、当該機会が組織の財務状況、業績およびキャッシュフローに与えることが見込まれる影響

Under the 1.5C scenario, we will take the following measures, within the product life cycle, to maximize opportunity: conserve the global and extraterrestrial environment and expand our lineup of products contributing to the environment that offer value to environment conservation (PlanetFlags products). We expect revenue from products contributing to the environment to increase due to increased demand for low-carbon products such as recycled products.

### (3.6.1.15) 当該機会の財務上の影響を定量化することができますか。

選択:

はい

### (3.6.1.23) 財務上の影響額の説明

*The Nitto Group identify the risks and opportunities in the short term (less than three years), medium term (three to six years), and long term (six years or more) under the business environment. The short-term and medium-term risks and opportunities are reflected in the mid-term management plan. For the long-term risks and opportunities, we conduct a financial quantitative analysis to identify the business impact (financial impact) in the event that the respective scenarios materialize. The business impacts in the long term is as follows. Relative to the base year of 2023, profits on sales of eco-friendly products are expected to increase by 2030(long-term). Currently, our eco-friendly products include biomass adhesive tape and low VOC double-coated adhesive tape, and sub-gasket materials for fuel cells used in commercial vehicles, and six other products that contribute to the reduction of CO2 emissions over their lifecycles.*

### (3.6.1.25) 費用計算の説明

*We showcase the positive contributions that our products and services make for environment including climate change and water. We recognize those with a particularly high level of contributions by attaching “PlanetFlags”. The Nitto Group will prioritize the allocation of development resources to areas that are expected to receive PlanetFlags and HumanFlags accreditation, and forecasts R&D expenditures of 42 billion for FY2024.*

### (3.6.1.26) 機会を実現するための戦略

*We showcase the positive contributions that our products and services make for planet and recognize those with a particularly high level of contributions by attaching “PlanetFlags”. By allocating our R&D resources preferentially to products that are expected to receive recognition as PlanetFlags/HumanFlags, we will advance our efforts to simultaneously solve social issues and create economic value through business.*

水

### (3.6.1.1) 機会 ID

選択:

Opp1

### (3.6.1.3) 機会の種類と主な環境機会要因

製品およびサービス

R&D 及び技術革新を通じた新製品やサービスの開発

#### (3.6.1.4) 機会が発現するバリューチェーン上の段階

選択:

- 直接操業

#### (3.6.1.5) 機会が発現する国/エリア

該当するすべてを選択

- 中国
- 日本
- アメリカ合衆国（米国）

#### (3.6.1.6) 機会が発現する河川流域

該当するすべてを選択

- 淀川

#### (3.6.1.8) 組織固有の詳細

*Placing ESG at the core of our management, the Nitto Group secures an “essential” position for all of its products, with the assumption that they all have something to offer to the global environment and human society. We showcase the positive contributions that our products and services make for planet and recognize those with a particularly high level of contributions by attaching “PlanetFlags”. Products certified under this system are manufactured in Japan, China, Taiwan, South Korea, and the United States, and sold in each of these regions. As such, we believe that these regions will present opportunities in this regard.*

#### (3.6.1.9) 当該機会の主な財務的影響

選択:

- 商品とサービスに対する需要増加に起因する売上増加

#### (3.6.1.10) 当該機会が組織に大きな影響を与えると見込まれる時間軸

該当するすべてを選択

長期

### (3.6.1.11) 想定される時間軸の間に当該機会が影響を与える可能性

選択:

可能性が非常に高い (90~100%)

### (3.6.1.12) 影響の程度

選択:

高い

### (3.6.1.14) 選択した将来的な時間軸において、当該機会が組織の財務状況、業績およびキャッシュフローに与えることが見込まれる影響

*Under the 1.5C scenario, we will take the following measures, within the product life cycle, to maximize opportunity: conserve the global and extraterrestrial environment and expand our lineup of products contributing to the environment that offer value to environment conservation (PlanetFlags products). We expect revenue from products contributing to the environment to increase due to increased demand for low-carbon products such as recycled products.*

### (3.6.1.15) 当該機会の財務上の影響を定量化することができますか。

選択:

はい

### (3.6.1.23) 財務上の影響額の説明

*The Nitto Group identify the risks and opportunities in the short term (less than three years), medium term (three to six years), and long term (six years or more) under the business environment. The short-term and medium-term risks and opportunities are reflected in the mid-term management plan. For the long-term risks and opportunities, we conduct a financial quantitative analysis to identify the business impact (financial impact) in the event that the respective scenarios materialize. The business impacts in the long term is as follows. Relative to the base year of 2023, profits on sales of eco-friendly products are expected to increase by 2030 (long-term) . Currently, our eco-friendly products include RO membranes for ZLD (Zero Liquid Discharge) applications, energy-saving wastewater treatment RO membranes, and long-life NF membranes, all of which contribute to the reduction of wastewater volume.*

### (3.6.1.25) 費用計算の説明

We showcase the positive contributions that our products and services make for environment including climate change and water. We recognize those with a particularly high level of contributions by attaching “PlanetFlags”. The Nitto Group will prioritize the allocation of development resources to areas that are expected to receive PlanetFlags and HumanFlags accreditation, and forecasts R&D expenditures of 42 billion for FY2024.

### (3.6.1.26) 機会を実現するための戦略

We showcase the positive contributions that our products and services make for planet and recognize those with a particularly high level of contributions by attaching “PlanetFlags”. By allocating our R&D resources preferentially to products that are expected to receive recognition as PlanetFlags/HumanFlags, we will advance our efforts to simultaneously solve social issues and create economic value through business.

[行を追加]

**(3.6.2) 報告年の間の、環境上の機会がもたらす大きな影響と整合する財務指標の額と比率を記入してください。**

## 気候変動

### (3.6.2.1) 財務的評価基準

選択:

売上

### (3.6.2.2) この環境課題に対する機会と整合する財務指標の額 (1.2 で選択したものと同一通貨単位で)

329400000000

### (3.6.2.3) この環境課題に対する機会と整合する財務指標の全体に対する割合 (%)

選択:

31～40%

### (3.6.2.4) 財務数値の説明

Our sales in 2023 were 915 billion. Of that amount, products contributing to the environment and human life accounted for 36% of our sales in the reporting year, or 329.4 billion yen.

水

### (3.6.2.1) 財務的評価基準

選択:

売上

### (3.6.2.2) この環境課題に対する機会と整合する財務指標の額 (1.2 で選択したものと同一通貨単位で)

329400000000

### (3.6.2.3) この環境課題に対する機会と整合する財務指標の全体に対する割合 (%)

選択:

31～40%

### (3.6.2.4) 財務数値の説明

Our sales in 2023 were 915 billion. Of that amount, products contributing to the environment and human life accounted for 36% of our sales in the reporting year, or 329.4 billion yen.

[行を追加]

## C4. ガバナンス

(4.1) 貴組織は取締役会もしくは同等の管理機関を有していますか。

### (4.1.1) 取締役会または同等の管理機関

選択:

はい

### (4.1.2) 取締役会または同等の機関が開催される頻度

選択:

四半期に1回以上の頻度で

### (4.1.3) 取締役会または同等の機関の構成メンバー (取締役) の種類

該当するすべてを選択

- 常勤取締役またはそれに準ずる者
- 非常勤取締役またはそれに準ずる者
- 独立社外取締役またはそれに準ずる者

### (4.1.4) 取締役会の多様性とインクルージョンに関する方針

選択:

はい、公開された方針があります。

### (4.1.5) 当該方針の対象範囲を簡潔に記載してください。

*The following is an overview of diversity of the Board of Directors and the Board of Corporate Auditors to consolidate multifaced opinions. Comprehensively taking into account diversity including elements such as the balanced allocation of specializations (e.g., skill, specialty, and length of tenure) to be fully acquired, gender, age, work*

experience, race, ethnicity, or cultural background, Nitto appoints members of the Board of Directors and the Board of Corporate Auditors, who can practice The Nitto Way or a set of values that expresses what the Nitto Group should cherish and its standard for judgment.

#### (4.1.6) 方針を添付してください (任意)

cgreport.pdf

[固定行]

#### (4.1.1) 貴組織では、取締役会レベルで環境課題を監督していますか。

	この環境課題に対する取締役会レベルの監督
気候変動	選択: <input checked="" type="checkbox"/> はい
水	選択: <input checked="" type="checkbox"/> はい
生物多様性	選択: <input checked="" type="checkbox"/> はい

[固定行]

(4.1.2) 環境課題に対する説明責任を負う取締役会のメンバーの役職 (ただし個人名は含めないこと) または委員会を特定し、環境課題を取締役会がどのように監督しているかについての詳細を記入してください。

#### 気候変動

##### (4.1.2.1) この環境課題に説明責任を負う個人の役職または委員会

該当するすべてを選択

- 最高経営責任者(CEO)

#### (4.1.2.2) この環境課題に対する各役職の説明責任は取締役会を対象とする方針の中で規定されています

選択:

- はい

#### (4.1.2.3) この環境課題に対する当該役職の説明責任を規定する方針類

該当するすべてを選択

- 取締役会を対象とするその他の方針、具体的にお答えください :Governance structure regarding ESG in CG report

#### (4.1.2.4) この環境課題が議題に予定されている頻度

選択:

- 一部の取締役会で予定される議題 - 少なくとも年に一度

#### (4.1.2.5) この環境課題が組み込まれたガバナンスメカニズム

該当するすべてを選択

- 企業目標設定の監督
- 年間予算の審議と指導
- シナリオ分析の監督と指導
- 事業戦略策定の監督と指導
- 事業戦略実行のモニタリング
- 政策エンゲージメントの監督と指導
- 政策エンゲージメントの監督と指導
- 買収/合併/事業売却の監督と指導
- 企業目標に向けての進捗状況のモニタリング
- 技術革新/研究開発の優先事項の審議と指導
- 気候移行計画策定の監督と指導
- 開示、監査、検証プロセスの監督
- 全社方針やコミットメントの承認
- 気候移行計画実行のモニタリング
- 大規模な資本的支出の監督と指導
- 依存、インパクト、リスク、機会の評価プロセスの審議と指導
- 全社的な方針やコミットメントに対する遵守状況のモニタリング
- 組織の定める要件に対するサプライヤーの遵守状況のモニタリング

#### (4.1.2.7) 説明してください

*The Board of Directors is responsible for decision-making regarding climate change management policies as well as material matters related to climate change management indicators and targets, such as the mid-term management plan and support for initiatives. Each quarter, it provides periodic directions, and conducts supervision, concerning the climate change targets (future-financial targets) of the mid-term management plan as well as the status of progress toward target achievement, and, as necessary, takes additional steps if a material matter arises.*

水

#### (4.1.2.1) この環境課題に説明責任を負う個人の役職または委員会

*該当するすべてを選択*

最高経営責任者(CEO)

#### (4.1.2.2) この環境課題に対する各役職の説明責任は取締役会を対象とする方針の中で規定されています

*選択:*

はい

#### (4.1.2.3) この環境課題に対する当該役職の説明責任を規定する方針類

*該当するすべてを選択*

取締役会を対象とするその他の方針、具体的にお答えください :Governance structure regarding ESG in CG report

#### (4.1.2.4) この環境課題が議題に予定されている頻度

*選択:*

一部の取締役会で予定される議題 - 少なくとも年に一度

#### (4.1.2.5) この環境課題が組み込まれたガバナンスメカニズム

*該当するすべてを選択*

- 企業目標設定の監督
- 年間予算の審議と指導
- シナリオ分析の監督と指導
- 事業戦略策定の監督と指導
- 事業戦略実行のモニタリング
- 政策エンゲージメントの監督と指導
- 政策エンゲージメントの監督と指導
- 買収/合併/事業売却の監督と指導
- 企業目標に向けての進捗状況のモニタリング
- 技術革新/研究開発の優先事項の審議と指導

- 気候移行計画策定の監督と指導
- 開示、監査、検証プロセスの監督
- 全社方針やコミットメントの承認
- 気候移行計画実行のモニタリング
- 大規模な資本的支出の監督と指導
- 依存、インパクト、リスク、機会の評価プロセスの審議と指導
- 全社的な方針やコミットメントに対する遵守状況のモニタリング
- 組織の定める要件に対するサプライヤーの遵守状況のモニタリング

#### (4.1.2.7) 説明してください

*The Group recognizes that promoting ESG (Environment, Society and Governance) management is a significant issue in achieving a sustainable society. We place ESG at the core of our management, aiming to simultaneously solve social issues and create economic value. The Group is working to establish a governance system to ensure that ESG management works, aiming to increase its corporate value over the medium to long term. To solve sustainability issues including water/biodiversity, the Group is working to establish and promote short- to mid-term and long-term strategies by establishing a governance system where President-Director & CEO is appointed as the superintendent, and the Corporate Strategy Meeting body plays the central role under the direction and supervision of the Board of Directors. The Group has integrated a sustainability committee, ESG committee, and other general functions into the management strategy meeting body and ensures that the President-Director & CEO is responsible for executing operations on significant climate change issues. This enables us to incorporate ESG into management in a swift and appropriate manner, and to achieve governance that ensures higher feasibility by integrating the company's sustainability and growth strategy.*

## 生物多様性

#### (4.1.2.1) この環境課題に説明責任を負う個人の役職または委員会

該当するすべてを選択

- 最高経営責任者(CEO)

#### (4.1.2.2) この環境課題に対する各役職の説明責任は取締役会を対象とする方針の中で規定されています

選択:

- はい

### (4.1.2.3) この環境課題に対する当該役職の説明責任を規定する方針類

該当するすべてを選択

- 取締役会を対象とするその他の方針、具体的にお答えください :Governance structure regarding ESG in CG report

### (4.1.2.4) この環境課題が議題に予定されている頻度

選択:

- 一部の取締役会で予定される議題 - 少なくとも年に一度

### (4.1.2.5) この環境課題が組み込まれたガバナンスメカニズム

該当するすべてを選択

- その他、具体的にお答えください :The Nitto Group has identified biodiversity, including water, as one of its materialities. Materiality is a matter of approval by the Board of Directors.

### (4.1.2.7) 説明してください

*The Group recognizes that promoting ESG (Environment, Society and Governance) management is a significant issue in achieving a sustainable society. We place ESG at the core of our management, aiming to simultaneously solve social issues and create economic value. The Group is working to establish a governance system to ensure that ESG management works, aiming to increase its corporate value over the medium to long term. To solve sustainability issues including water/biodiversity, the Group is working to establish and promote short- to mid-term and long-term strategies by establishing a governance system where President-Director & CEO is appointed as the superintendent, and the Corporate Strategy Meeting body plays the central role under the direction and supervision of the Board of Directors. The Group has integrated a sustainability committee, ESG committee, and other general functions into the management strategy meeting body and ensures that the President-Director & CEO is responsible for executing operations on significant climate change issues. This enables us to incorporate ESG into management in a swift and appropriate manner, and to achieve governance that ensures higher feasibility by integrating the company's sustainability and growth strategy.*

[固定行]

## (4.2) 貴組織の取締役会は、環境課題に対する能力を有していますか。

気候変動

### (4.2.1) この環境課題に対する取締役会レベルの能力

選択:

- はい

### (4.2.2) 取締役会が環境課題に関する能力を維持するためのメカニズム

該当するすべてを選択

- 社内の専門家による常設ワーキンググループに定期的に助言を求めています。
- 環境課題に関する知識を、取締役の指名プロセスに組み込んでいます。
- この環境課題に関して専門的知見を有する取締役会メンバーが少なくとも1人います。

### (4.2.3) 取締役会メンバーの環境関連の専門知識

経験

- 環境課題にさらされ、サステナビリティの転換期を迎えている組織での経験

水

### (4.2.1) この環境課題に対する取締役会レベルの能力

選択:

- はい

### (4.2.2) 取締役会が環境課題に関する能力を維持するためのメカニズム

該当するすべてを選択

- 社内の専門家による常設ワーキンググループに定期的に助言を求めています。
- 環境課題に関する知識を、取締役の指名プロセスに組み込んでいます。
- この環境課題に関して専門的知見を有する取締役会メンバーが少なくとも1人います。

### (4.2.3) 取締役会メンバーの環境関連の専門知識

#### 経験

環境課題にさらされ、サステナビリティの転換期を迎えている組織での経験

[固定行]

(4.3) 貴組織では、経営レベルで環境課題に責任を負っていますか。

	この環境課題に対する経営レベルの責任
気候変動	選択: <input checked="" type="checkbox"/> はい
水	選択: <input checked="" type="checkbox"/> はい
生物多様性	選択: <input checked="" type="checkbox"/> はい

[固定行]

(4.3.1) 環境課題に責任を負う経営層で最上位の役職または委員会を記入してください (個人の名前は含めないでください)。

#### 気候変動

##### (4.3.1.1) 責任を有する個人の役職/委員会

## 役員レベル

- 最高経営責任者(CEO)

### (4.3.1.2) この役職が負う環境関連の責任

#### 依存、インパクト、リスクおよび機会

- 環境への依存、インパクト、リスクおよび機会の評価
- 環境への依存、インパクト、リスクおよび機会の管理

#### 方針、コミットメントおよび目標

- 全社の環境方針および/またはコミットメントに対する遵守状況のモニタリング
- 全社的な環境目標に向けた進捗の測定
- 環境関連の科学に基づく目標に向けた進捗の測定
- 全社的な環境方針および/またはコミットメントの策定
- 全社的な環境目標の設定

### (4.3.1.4) 報告系統（レポーティングライン）

#### 選択:

- 取締役会に直接報告

### (4.3.1.5) 環境課題に関して取締役会に報告が行われる頻度

#### 選択:

- 四半期に1回

### (4.3.1.6) 説明してください

*The Corporate Strategy Meeting, chaired by the President and CEO, is responsible for deliberation and decision-making regarding specific policies and measures for action based on climate change/water/biodiversity management policies and indicators, as well as managing risks and opportunities and monitoring initiative progress on a monthly basis. It provides periodic reports—on a quarterly basis—to the Board of Directors about the content of its deliberations and decisions and the progress*

of initiatives, and, as necessary, provides additional reports if a material matter arises. Additionally, to ensure that the matters deliberated and decided are promptly disseminated throughout the company, the Corporate Strategy Meeting comprises all Vice Presidents who are in charge of business execution departments, special function departments, and regional management.

水

#### (4.3.1.1) 責任を有する個人の役職/委員会

役員レベル

- 最高経営責任者(CEO)

#### (4.3.1.2) この役職が負う環境関連の責任

依存、インパクト、リスクおよび機会

- 環境への依存、インパクト、リスクおよび機会の評価
- 環境への依存、インパクト、リスクおよび機会の管理

方針、コミットメントおよび目標

- 全社の環境方針および/またはコミットメントに対する遵守状況のモニタリング
- 全社的な環境目標に向けた進捗の測定
- 環境関連の科学に基づく目標に向けた進捗の測定
- 全社的な環境方針および/またはコミットメントの策定
- 全社的な環境目標の設定

#### (4.3.1.4) 報告系統（レポーティングライン）

選択:

- 取締役会に直接報告

#### (4.3.1.5) 環境課題に関して取締役会に報告が行われる頻度

選択:

- 四半期に1回

#### (4.3.1.6) 説明してください

*The Corporate Strategy Meeting, chaired by the President and CEO, is responsible for deliberation and decision-making regarding specific policies and measures for action based on climate change/water/biodiversity management policies and indicators, as well as managing risks and opportunities and monitoring initiative progress on a monthly basis. It provides periodic reports—on a quarterly basis—to the Board of Directors about the content of its deliberations and decisions and the progress of initiatives, and, as necessary, provides additional reports if a material matter arises. Additionally, to ensure that the matters deliberated and decided are promptly disseminated throughout the company, the Corporate Strategy Meeting comprises all Vice Presidents who are in charge of business execution departments, special function departments, and regional management.*

### 生物多様性

#### (4.3.1.1) 責任を有する個人の役職/委員会

役員レベル

- 最高経営責任者(CEO)

#### (4.3.1.2) この役職が負う環境関連の責任

依存、インパクト、リスクおよび機会

- 環境への依存、インパクト、リスクおよび機会の評価
- 環境への依存、インパクト、リスクおよび機会の管理

方針、コミットメントおよび目標

- 全社の環境方針および/またはコミットメントに対する遵守状況のモニタリング
- 全社的な環境目標に向けた進捗の測定
- 環境関連の科学に基づく目標に向けた進捗の測定
- 全社的な環境方針および/またはコミットメントの策定
- 全社的な環境目標の設定

#### (4.3.1.4) 報告系統（レポーティングライン）

選択:

- 取締役会に直接報告

#### (4.3.1.5) 環境課題に関して取締役会に報告が行われる頻度

選択:

- 四半期に1回

#### (4.3.1.6) 説明してください

*The Corporate Strategy Meeting, chaired by the President and CEO, is responsible for deliberation and decision-making regarding specific policies and measures for action based on climate change/water/biodiversity management policies and indicators, as well as managing risks and opportunities and monitoring initiative progress on a monthly basis. It provides periodic reports—on a quarterly basis—to the Board of Directors about the content of its deliberations and decisions and the progress of initiatives, and, as necessary, provides additional reports if a material matter arises. Additionally, to ensure that the matters deliberated and decided are promptly disseminated throughout the company, the Corporate Strategy Meeting comprises all Vice Presidents who are in charge of business execution departments, special function departments, and regional management.*

[行を追加]

#### (4.5) 目標達成を含め、環境課題の管理に対して金銭的インセンティブを提供していますか?

気候変動

#### (4.5.1) この環境課題に関連した金銭的インセンティブの提供

選択:

- はい

#### (4.5.2) この環境課題の管理に関連した役員および取締役会レベルの金銭的インセンティブが全体に占める比率 (%)

0.58

### (4.5.3) 説明してください

*This additional remuneration is designed to incentivize Directors to improve business performance over the mid-term, and share-based remuneration is granted once every three consecutive business terms. The number of shares to be granted ranges from 0% to 150% and depends on the progress made toward achieving the key performance indicators of consolidated operating income, consolidated ROE, and ESG-related items (future-financial targets that the Company deems important). Among the future-financial targets, there is an item related to CO2 emissions, and the incentive is determined by the achievement of this item.*

水

### (4.5.1) この環境課題に関連した金銭的インセンティブの提供

選択:

いいえ、今後2年以内に導入予定です。

### (4.5.3) 説明してください

*Future-financial targets will also be set for water. Accordingly, they will be considered as part of performance-linked share-based remuneration, whereby remuneration will be determined according to the extent that the future-financial targets have been achieved.*

[固定行]

**(4.5.1) 環境課題の管理に対して提供される金銭的インセンティブについて具体的にお答えください (ただし個人の名前は含めないでください)。**

気候変動

### (4.5.1.1) 金銭的インセンティブの対象となる役職

取締役会または役員レベル

最高経営責任者(CEO)

### (4.5.1.2) インセンティブ

該当するすべてを選択

株式

### (4.5.1.3) 実績指標

目標

環境目標の達成

ネットゼロ目標に則った排出量総量の削減

排出量削減

総量削減

### (4.5.1.4) 当該インセンティブが紐づけられているインセンティブプラン

選択:

長期インセンティブプランまたは同等のもののみ (契約による複数年ボーナス等)

### (4.5.1.5) インセンティブに関する追加情報

*This additional remuneration is designed to incentivize Directors to improve business performance over the mid-term, and share-based remuneration is granted once every three consecutive business terms. The number of shares to be granted ranges from 0% to 150% and depends on the progress made toward achieving the key performance indicators of consolidated operating income, consolidated ROE, and ESG-related items (future-financial targets that the Company deems important).*

**(4.5.1.6) 当該の役職に対するインセンティブは、どのような形で貴組織の環境関連のコミットメントおよび/または気候関連の移行計画達成に寄与していますか。**

*This additional remuneration is designed to incentivize Directors to improve business performance over the mid-term, and share-based remuneration is granted once every three consecutive business terms. The number of shares to be granted ranges from 0% to 150% and depends on the progress made toward achieving the key performance indicators of consolidated operating income, consolidated ROE, and ESG-related items (future-financial targets that the Company deems important). Among the future-financial targets, there is an item related to CO2 emissions, and the incentive is determined by the achievement of this item.*

[行を追加]

(4.6) 貴組織は、環境課題に対処する環境方針を有していますか。

	貴組織は環境方針を有していますか。
	選択: <input checked="" type="checkbox"/> はい

[固定行]

(4.6.1) 貴組織の環境方針の詳細を記載してください。

Row 1

#### (4.6.1.1) 対象となる環境課題

該当するすべてを選択

- 気候変動
- 水
- 生物多様性

#### (4.6.1.2) 対象範囲のレベル

選択:

- 組織全体

#### (4.6.1.3) 対象となるバリューチェーン上の段階

該当するすべてを選択

- 直接操業
- バリューチェーン上流
- バリューチェーン下流
- ポートフォリオ

#### (4.6.1.4) 対象範囲について説明してください。

*Nitto Group laid out in the Basic Policy on Environment its intention to aim at zero environmental impact by expanding the scope of its activities from within the Group to cover the entire supply chain and contribute to the realization of a sustainable society as it taps into its proprietary technologies and knowledge thus far accumulated.*

#### (4.6.1.5) 環境方針の内容

##### 環境に関するコミットメント

- 循環経済に向けた戦略に対するコミットメント
- 規制および遵守が必須な基準の遵守に対するコミットメント
- 規制遵守を超えた環境関連の対策を講じることに対するコミットメント
- ランドスケープ復元と自然生態系の長期的保全をサポートする自然に根ざした解決策の実施に対するコミットメント

##### 水に特化したコミットメント

- 水質汚染の管理/削減/根絶に対するコミットメント
- 取水量削減に対するコミットメント
- 地元コミュニティにおける安全に管理された水衛生 (WASH) に対するコミットメント

#### (4.6.1.6) 貴組織の環境方針がグローバルな環境関連条約または政策目標に整合したものであるかどうかを記載してください。

該当するすべてを選択

- はい、パリ協定に整合しています。

#### (4.6.1.7) 公開の有無

選択:

公開されている

#### (4.6.1.8) 方針を添付してください。

[行を追加]

(4.10) 貴組織は、何らかの環境関連の協働的な枠組みまたはイニシアチブの署名者またはメンバーですか。

#### (4.10.1) 貴組織は、何らかの環境関連の協働的な枠組みまたはイニシアチブの署名者またはメンバーですか。

選択:

はい

#### (4.10.2) 協働的な枠組みまたはイニシアチブ

該当するすべてを選択

気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)

国連グローバル・コンパクト

#### (4.10.3) 各枠組みまたはイニシアチブにおける貴組織の役割をお答えください。

1) TCFD Recognizing that responding to climate change is an important management issue, the Nitto Group has strategically included such responses in its management agenda and announced its support for the recommendations by the Task Force on Climate-related Financial Disclosures (TCFD) in May 2022. After announcing our support, every year, we assess the impact that climate-change-related risks and opportunities may have on our business and make revisions as necessary. In fiscal 2024, we are refining our governance and risk management systems related to climate change, carefully considering the impacts on our business as we develop our responses. 2) UN Global Compact In February 2020, we became a signatory to the United Nations Global Compact in support of its Ten Principles on human rights, labour, environment, and anti-corruption. In compliance with these universal principles, we will engage in manufacturing in a responsible manner to realize a sustainable society.

[固定行]

**(4.11)** 報告年の間に、貴組織は、環境に (ポジティブにまたはネガティブに) 影響を与え得る政策、法律または規制に直接的または間接的に影響を及ぼす可能性のある活動を行いましたか。

**(4.11.1)** 環境に影響を与え得る政策、法律、規制に直接的または間接的に影響を及ぼす可能性のある外部とのエンゲージメント活動

該当するすべてを選択

はい、当組織は、その活動が政策、法律または規制に影響を与え得る業界団体または仲介組織を通じて、および/またはそれらの団体に資金提供または現物支援を行うことで、間接的にエンゲージメントを行っています。

**(4.11.2)** 貴組織が、グローバルな環境関連の条約または政策目標に整合してエンゲージメント活動を行うという公開されたコミットメントまたはポジションステートメントを有しているかどうかを回答してください。

選択:

はい、私たちには世界環境条約や政策目標に沿った公開のコミットメントや立場表明があります

**(4.11.3)** 公開のコミットメントや立場表明に沿った地球環境条約や政策目標

該当するすべてを選択

パリ協定

**(4.11.4)** コミットメントまたはポジションステートメントを添付してください。

kigyo.pdf

**(4.11.5)** 貴組織が透明性登録簿に登録しているかどうかを回答してください。

選択:

不明

**(4.11.8)** 外部とのエンゲージメント活動が貴組織の環境関連のコミットメントおよび/または移行計画と矛盾しないように

貴組織で講じているプロセスを説明してください。

*We consider the position statement of trade association when we set a climate change strategy. Our position on climate change issues is consistent with theirs. If their directions are not consistent with us, we will discuss with them to reach an agreement.*

[固定行]

**(4.11.2)** 報告年の間に、業界団体またはその他の仲介団体/個人を通じた、環境に対して(ポジティブまたはネガティブな形で)影響を与え得る政策、法律、規制に関する貴組織の間接的なエンゲージメントの詳細について記載してください。

## Row 1

### (4.11.2.1) 間接的なエンゲージメントの種類

選択:

業界団体を通じた間接的なエンゲージメント

### (4.11.2.4) 業界団体

アジア太平洋

日本経済団体連合会(経団連)

### (4.11.2.5) 当該組織または個人がある考え方に立つ政策、法律、規制に関連する環境課題

該当するすべてを選択

気候変動

**(4.11.2.6)** 貴組織の考え方は、貴組織がエンゲージメントを行う組織または個人の考え方と一致しているかどうかを回答してください。

選択:

一貫性を有している

**(4.11.2.7) 報告年の間に、貴組織が当該組織または個人の考え方に影響を与えようとしたかどうかを回答してください。**

選択:

いいえ、業界団体の立場に影響を及ぼそうとしたことはありません

**(4.11.2.8) 貴組織の考え方は当該組織または個人の考え方とどのような形で一致しているのか、それとも異なっているのか、そして当該組織または個人の考え方に影響を及ぼすための行動を取ったかについて記載してください。**

*We consider the position statement of trade association when we set a climate change strategy. Our position on climate change issues is consistent with theirs. Accordingly, we do not currently conduct engagement with trade associations. If their directions are not consistent with us, we will discuss with them to reach an agreement.*

**(4.11.2.11) 貴組織のエンゲージメントが、グローバルな環境関連の条約または政策目標と整合しているかどうかについて評価を行っているかを回答してください。**

選択:

はい、評価しました。整合しています

**(4.11.2.12) 組織の方針や政策、法律、規制への取り組みと一致する世界的な環境条約または政策目標**

該当するすべてを選択

パリ協定

[行を追加]

**(4.12) 報告年の間に、CDP への回答以外で、貴組織の環境課題に対する対応に関する情報を公開していますか。**

選択:

はい

(4.12.1) CDP への回答以外で報告年間の環境課題に対する貴組織の対応に関する情報についての詳細を記載してください。当該文書を添付してください。

## Row 1

### (4.12.1.1) 出版物

選択:

環境関連情報開示基準や枠組みに整合し、メインストリームの報告書で

### (4.12.1.2) 報告書が整合している基準または枠組み

該当するすべてを選択

TCFD

### (4.12.1.3) 文書中で対象となっている環境課題

該当するすべてを選択

気候変動

### (4.12.1.4) 作成状況

選択:

完成

### (4.12.1.5) 内容

該当するすべてを選択

ガバナンス

リスクおよび機会

戦略

排出量数値

排出量目標

#### (4.12.1.6) ページ/章

p. 19,25,26

#### (4.12.1.7) 関連する文書を添付してください。

ckfk.pdf

#### (4.12.1.8) コメント

*The Annual Securities Report is attached as the mainstream report.*

### Row 2

#### (4.12.1.1) 出版物

選択:

メインストリームレポート

#### (4.12.1.3) 文書中で対象となっている環境課題

該当するすべてを選択

水

#### (4.12.1.4) 作成状況

選択:

完成

#### (4.12.1.5) 内容

該当するすべてを選択

リスクおよび機会

#### (4.12.1.6) ページ/章

p.22,25,34,36

#### (4.12.1.7) 関連する文書を添付してください。

*ckfk.pdf*

#### (4.12.1.8) コメント

*The Annual Securities Report is attached as the mainstream report.*

*[行を追加]*

## C5. 事業戦略

(5.1) 貴組織では、環境関連の結果を特定するためにシナリオ分析を用いていますか。

### 気候変動

#### (5.1.1) シナリオ分析の使用

選択:

はい

#### (5.1.2) 分析の頻度

選択:

年1回

### 水

#### (5.1.1) シナリオ分析の使用

選択:

はい

#### (5.1.2) 分析の頻度

選択:

年1回

[固定行]

(5.1.1) 貴組織のシナリオ分析で用いているシナリオの詳細を記載してください。

## 気候変動

### (5.1.1.1) 用いたシナリオ

気候移行シナリオ

- IEA NZE 2050

### (5.1.1.3) シナリオに対するアプローチ

選択:

- 定性的かつ定量的

### (5.1.1.4) シナリオの対象範囲

選択:

- 組織全体

### (5.1.1.5) シナリオで検討したリスクの種類

該当するすべてを選択

- 政策
- 市場リスク
- 評判リスク
- 技術リスク
- 法的責任リスク

### (5.1.1.6) シナリオの気温アライメント

選択:

1.5°C 以下

### (5.1.1.7) 基準年

2022

### (5.1.1.8) 対象となる時間軸

該当するすべてを選択

2025 年

2030 年

### (5.1.1.9) シナリオにおけるドライビング・フォース

ステークホルダーや顧客の要求

自然への負荷がレピュテーションに与える影響

規制機関、法的政治的体制

グローバルな規制

科学に基づく目標の手法と科学に基づく目標に対する期待

### (5.1.1.10) シナリオ中の前提、不確実性および制約

*It is expected that tighter environmental regulations will lead to the realization of a decarbonized society. Specifically, we believe that strengthening of low-carbon regulations will occur in relation to the elimination of high-GHG emitting products, the widespread adoption of carbon taxes and GHG emission levies in both developed and developing countries, and the shift to renewable energy sources. We also anticipate a shift to a low-carbon society due to increased sales of low-carbon products and other factors, increasing severity of extreme weather events and natural disasters, such as floods and typhoons.*

### (5.1.1.11) シナリオ選択の根拠

*We forecast the impact that changes in the business environment caused by climate change may have on our businesses and management, and then create scenarios based on this. We consider the “1.5C scenario,” under which the average global temperature does not exceed that of preindustrial times by more than 1.5C by 2050,*

and the “4C scenario,” under which the average global temperature is likely to exceed that of preindustrial times by 3.2 to 5.4C by 2050.

水

#### (5.1.1.1) 用いたシナリオ

物理気候シナリオ

RCP 8.5

#### (5.1.1.2) 用いたシナリオ/シナリオと共に用いた SSP

選択:

SSP は用いていない

#### (5.1.1.3) シナリオに対するアプローチ

選択:

定性的かつ定量的

#### (5.1.1.4) シナリオの対象範囲

選択:

組織全体

#### (5.1.1.5) シナリオで検討したリスクの種類

該当するすべてを選択

急性の物理的リスク

慢性の物理的リスク

#### (5.1.1.6) シナリオの気温アライメント

選択:

- 4.0°C 以上

### (5.1.1.7) 基準年

2022

### (5.1.1.8) 対象となる時間軸

該当するすべてを選択

- 2025 年
- 2030 年
- 2040 年
- 2050 年

### (5.1.1.9) シナリオにおけるドライビング・フォース

地域の生態系資産の相互作用、依存、インパクト

- 自然の状態の変化
- 気候変動 (自然の変化の 5 つの要員のうちの 1 つ)

### (5.1.1.10) シナリオ中の前提、不確実性および制約

*We anticipate a shift to a low-carbon society due to increased sales of low-carbon products and other factors, increasing severity of extreme weather events and natural disasters, such as floods and typhoons.*

### (5.1.1.11) シナリオ選択の根拠

*We forecast the impact that changes in the business environment caused by climate change may have on our businesses and management, and then create scenarios based on this. We consider the “1.5C scenario,” under which the average global temperature does not exceed that of preindustrial times by more than 1.5C by 2050, and the “4C scenario,” under which the average global temperature is likely to exceed that of preindustrial times by 3.2 to 5.4C by 2050.*

## 気候変動

### (5.1.1.1) 用いたシナリオ

物理気候シナリオ

RCP 8.5

### (5.1.1.2) 用いたシナリオ/シナリオと共に用いた SSP

選択:

SSP は用いていない

### (5.1.1.3) シナリオに対するアプローチ

選択:

定性的かつ定量的

### (5.1.1.4) シナリオの対象範囲

選択:

組織全体

### (5.1.1.5) シナリオで検討したリスクの種類

該当するすべてを選択

急性の物理的リスク

慢性の物理的リスク

### (5.1.1.6) シナリオの気温アライメント

選択:

- 4.0°C 以上

#### (5.1.1.7) 基準年

2022

#### (5.1.1.8) 対象となる時間軸

該当するすべてを選択

- 2025 年
- 2030 年
- 2040 年
- 2050 年

#### (5.1.1.9) シナリオにおけるドライビング・フォース

地域の生態系資産の相互作用、依存、インパクト

- 自然の状態の変化
- 気候変動 (自然の変化の 5 つの要員のうちの 1 つ)

#### (5.1.1.10) シナリオ中の前提、不確実性および制約

*It is expected that tighter environmental regulations will lead to the realization of a decarbonized society. Specifically, we believe that strengthening of low-carbon regulations will occur in relation to the elimination of high-GHG emitting products, the widespread adoption of carbon taxes and GHG emission levies in both developed and developing countries, and the shift to renewable energy sources. We also anticipate a shift to a low-carbon society due to increased sales of low-carbon products and other factors, increasing severity of extreme weather events and natural disasters, such as floods and typhoons.*

#### (5.1.1.11) シナリオ選択の根拠

*We forecast the impact that changes in the business environment caused by climate change may have on our businesses and management, and then create scenarios based on this. We consider the “1.5C scenario,” under which the average global temperature does not exceed that of preindustrial times by more than 1.5C by 2050, and the “4C scenario,” under which the average global temperature is likely to exceed that of preindustrial times by 3.2 to 5.4C by 2050.*

## 水

### (5.1.1.1) 用いたシナリオ

#### 物理気候シナリオ

- 代表濃度経路シナリオ (RCP) 2.6

### (5.1.1.2) 用いたシナリオ/シナリオと共に用いた SSP

#### 選択:

- SSP は用いていない

### (5.1.1.3) シナリオに対するアプローチ

#### 選択:

- 定性的かつ定量的

### (5.1.1.4) シナリオの対象範囲

#### 選択:

- 組織全体

### (5.1.1.5) シナリオで検討したリスクの種類

#### 該当するすべてを選択

- 急性の物理的リスク
- 慢性の物理的リスク

### (5.1.1.6) シナリオの気温アライメント

#### 選択:

- 1.5°C 以下

#### (5.1.1.7) 基準年

2022

#### (5.1.1.8) 対象となる時間軸

該当するすべてを選択

- 2025 年
- 2030 年
- 2040 年
- 2050 年

#### (5.1.1.9) シナリオにおけるドライビング・フォース

地域の生態系資産の相互作用、依存、インパクト

- 自然の状態の変化
- 気候変動 (自然の変化の 5 つの要員のうちの 1 つ)

#### (5.1.1.10) シナリオ中の前提、不確実性および制約

*We anticipate a shift to a low-carbon society due to increased sales of low-carbon products and other factors, increasing severity of extreme weather events and natural disasters, such as floods and typhoons.*

#### (5.1.1.11) シナリオ選択の根拠

*We forecast the impact that changes in the business environment caused by climate change may have on our businesses and management, and then create scenarios based on this. We consider the “1.5C scenario,” under which the average global temperature does not exceed that of preindustrial times by more than 1.5C by 2050, and the “4C scenario,” under which the average global temperature is likely to exceed that of preindustrial times by 3.2 to 5.4C by 2050.*

[行を追加]

## (5.1.2) 貴組織のシナリオ分析の結果の詳細を記載してください。

### 気候変動

#### (5.1.2.1) 報告されたシナリオの分析結果により影響を受けたビジネスプロセス

該当するすべてを選択

- リスクと機会の特定・評価・管理
- 戦略と財務計画
- ビジネスモデルと戦略のレジリエンス
- 目標策定と移行計画

#### (5.1.2.2) 分析の対象範囲

選択:

- 組織全体

#### (5.1.2.3) シナリオ分析の結果およびその他の環境課題に対してそれが示唆するものを簡潔に記してください。

*In the reporting year, the Nitto Group conducted a re-scenario analysis to identify the following new risks and assess their business impact. For transition risk, we newly identified increased capital investment costs due to the spread of renewable energy, and assessed the amount of increase in capital investment costs due to the introduction of renewable energy equipment. In addition, we identified as a risk the increase in energy prices due to soaring fossil fuel prices and assessed the amount of increase in energy costs due to fossil fuel prices. For physical risk, we identified the shutdown of our own plants due to damage to our own and our suppliers caused by flooding or storm surge as a risk of lost opportunity, and assessed the amount of lost opportunity due to damage or shutdown of equipment and infrastructure. Accordingly, we revised the emission targets for Scope 12 and set the emission targets for Scope 3.*

### 水

#### (5.1.2.1) 報告されたシナリオの分析結果により影響を受けたビジネスプロセス

該当するすべてを選択

- リスクと機会の特定・評価・管理

- 戦略と財務計画
- ビジネスモデルと戦略のレジリエンス
- 目標策定と移行計画

### (5.1.2.2) 分析の対象範囲

選択:

- 組織全体

### (5.1.2.3) シナリオ分析の結果およびその他の環境課題に対してそれが示唆するものを簡潔に記してください。

*In the reporting year, the Nitto Group conducted a re-scenario analysis and assess following business impact. We identified the shutdown of our own plants due to damage to our own and our suppliers caused by flooding or storm surge as a risk of lost opportunity, and assessed the amount of lost opportunity due to damage or shutdown of equipment and infrastructure. In addition, we have begun assessing risks and opportunities related to natural capital and biodiversity based on the TNFD to identify detailed risks and opportunities related to water.*

[固定行]

## (5.2) 貴組織の戦略には気候移行計画が含まれていますか。

### (5.2.1) 移行計画

選択:

- いいえ、しかし、今後2年以内に気候移行計画を策定する予定です。

### (5.2.15) 1.5°Cの世界と整合する気候移行計画を有していない主な理由

選択:

- 内部リソース、能力、または専門知識の欠如 (例: 組織の規模が原因)

### (5.2.16) 1.5°Cの世界に整合した気候移行計画を貴組織が有していない理由を説明してください。

A scenario analysis was conducted again in 2023 to re-identify risks and opportunities. Measures to address the newly identified risks and opportunities are currently under consideration. Once these have been made clear, we plan to proceed with the development of a transition plan.

[固定行]

**(5.3) 環境上のリスクと機会は、貴組織の戦略および/または財務計画に影響を与えてきましたか。**

**(5.3.1) 環境上のリスクと機会は、貴組織の戦略および/または財務計画に影響を与えました。**

選択:

はい、戦略と財務計画の両方に対して。

**(5.3.2) 環境上のリスクおよび/または機会が貴組織の戦略に影響を及ぼしてきた事業領域**

該当するすべてを選択

製品およびサービス

バリューチェーン上流/下流

研究開発への投資

操業

[固定行]

**(5.3.1) 環境上のリスクと機会が貴組織の戦略のどのような領域に対し、またどのような形で影響を与えたかを記載してください。**

製品およびサービス

**(5.3.1.1) 影響の種類**

該当するすべてを選択

機会

### (5.3.1.2) この領域において、貴組織の戦略に影響を与えてきたリスクおよび/または機会に関連する環境課題

該当するすべてを選択

気候変動

(5.3.1.3) この領域において、環境上のリスクおよび/または機会が貴組織の戦略にどのように影響を及ぼしてきたかを記載してください。

*Under the 1.5C scenario, we will take the following measures, within the product life cycle, to maximize opportunity: conserve the global and extraterrestrial environment and expand our lineup of products contributing to the environment that offer value to environment conservation (PlanetFlags products). We expect revenue from products contributing to the environment to increase due to increased demand for low-carbon products such as recycled products.*

バリューチェーン上流/下流

### (5.3.1.1) 影響の種類

該当するすべてを選択

リスク

### (5.3.1.2) この領域において、貴組織の戦略に影響を与えてきたリスクおよび/または機会に関連する環境課題

該当するすべてを選択

気候変動

(5.3.1.3) この領域において、環境上のリスクおよび/または機会が貴組織の戦略にどのように影響を及ぼしてきたかを記載してください。

*Under the 1.5C scenario, we promote the development of recycled materials in cooperation with our suppliers. These measures will enable the reduction of CO2 emissions, which will in turn enable us to mitigate the increased taxation costs by approximately 50% due to the increased introduction of carbon taxes and GHG emission levies by 2030. Since we expect to have achieved net zero CO2 emissions (Scope12) by 2050, we do not believe our costs will increase.*

研究開発への投資

### (5.3.1.1) 影響の種類

該当するすべてを選択

リスク

### (5.3.1.2) この領域において、貴組織の戦略に影響を与えてきたリスクおよび/または機会に関連する環境課題

該当するすべてを選択

気候変動

(5.3.1.3) この領域において、環境上のリスクおよび/または機会が貴組織の戦略にどのように影響を及ぼしてきたかを記載してください。

*Under the 1.5C scenario, we will take the following measures to minimize risk: promote energy saving in the manufacturing process by shifting to solvent-free processes, achieve energy saving by improving infrastructure and utility efficiency, and strive to utilize fully renewable energy. These measures will enable the reduction of CO2 emissions, which will in turn enable us to mitigate the increased taxation costs by approximately 50% due to the increased introduction of carbon taxes and GHG emission levies by 2030. Since we expect to have achieved net zero CO2 emissions (Scope12) by 2050, we do not believe our costs will increase.*

## 操業

### (5.3.1.1) 影響の種類

該当するすべてを選択

リスク

### (5.3.1.2) この領域において、貴組織の戦略に影響を与えてきたリスクおよび/または機会に関連する環境課題

該当するすべてを選択

気候変動

(5.3.1.3) この領域において、環境上のリスクおよび/または機会が貴組織の戦略にどのように影響を及ぼしてきたかを記載してください。

*Under the 1.5C scenario, we are working to reduction of raw material usage through the effective utilization of resources. These measures will enable the reduction of CO2 emissions, which will in turn enable us to mitigate the increased taxation costs by approximately 50% due to the increased introduction of carbon taxes and GHG emission levies by 2030. Since we expect to have achieved net zero CO2 emissions (Scope12) by 2050, we do not believe our costs will increase.*

[行を追加]

**(5.3.2) 環境上のリスクと機会が貴組織の財務計画のどのような領域に対し、またどのような形で影響を与えたかを記載してください。**

## Row 1

### (5.3.2.1) 影響を受けた財務計画の項目

*該当するすべてを選択*

売上

### (5.3.2.2) 影響の種類

*該当するすべてを選択*

リスク

### (5.3.2.3) これらの財務計画の項目に影響を与えてきたリスクおよび/または機会に関連する環境課題

*該当するすべてを選択*

気候変動

**(5.3.2.4) 環境上のリスクおよび/または機会が、これらの財務計画の項目にどのように影響を与えてきたかを記載してください。**

*Our 80-billion-yen investment for decarbonization over the ten-year period from 2021 to 2030 is being directed primarily to minimize the risks assumed in the 1.5C scenario: shifting to solvent-free processes, improving infrastructure and utility efficiency, and using renewable energy. Scenario analysis has shown that these measures will enable us to save more than 10 billion yen in costs in 2030 on a single-year basis. Therefore, we believe the expected benefits make it a reasonable investment. We consider this as validation of the resilience of our strategies for both the 1.5C scenario and 4C scenario, and will aim to minimize risks and maximize*

opportunities even further moving forward.

[行を追加]

(5.4) 貴組織の財務会計において、貴組織の気候移行計画と整合した支出/売上を特定していますか。

	組織の気候移行計画と整合している支出/売上項目の明確化
	選択: <input checked="" type="checkbox"/> いいえ、しかし今後2年以内に行う予定です

[固定行]

(5.9) 報告年における貴組織の水関連の CAPEX と OPEX の傾向と、次報告年に予想される傾向はどのようなものですか。

(5.9.1) 水関連の CAPEX (+/- %)

100

(5.9.2) 次報告年の CAPEX 予想 (+/- %変化)

0

(5.9.3) 水関連の OPEX(+/-の変化率)

100

(5.9.4) 次報告年の OPEX 予想 (+/- %変化)

**(5.9.5) 説明してください**

*Investments were made in equipment related to water use, including repairs to pumps used for industrial water use at business sites. This had not been monitored until last year, and so the rate of change was stated as 100.*

[固定行]

**(5.10) 貴組織は環境外部性に対するインターナル・プライスを使用していますか。**

	環境外部性のインターナル・プライスの使用	価格付けされた環境外部性
	選択: <input checked="" type="checkbox"/> はい	該当するすべてを選択 <input checked="" type="checkbox"/> カーボン

[固定行]

**(5.10.1) 貴組織のインターナル・カーボンプライスについて詳細を記入してください。****Row 1****(5.10.1.1) 価格付けスキームの種類**

選択:

シャドウプライス(潜在価格)

**(5.10.1.2) インターナル・プライスを導入する目的**

該当するすべてを選択

- 低炭素投資の推進

### (5.10.1.3) 価格を決定する際に考慮される要素

該当するすべてを選択

- 排出量取引制度に基づく価格枠との整合性

### (5.10.1.4) 価格決定における計算方法と前提条件

*The Nitto Group has implemented environmental investment based on internal carbon pricing (ICP) in order to ensure achievement of the 2030 Management Targets (CO2 emissions) committed in Nitto Group Carbon Neutral 2050. We are promoting investment, primarily in new environmental technology and facilities, at an assumed internal carbon price of 10,000 yen/t-CO2, based on consideration of EU-ETS and other external trends.*

### (5.10.1.5) 対象となるスコープ

該当するすべてを選択

- スコープ 1
- スコープ 2

### (5.10.1.6) 使用した価格設定アプローチ - 空間的変動

選択:

- 同一

### (5.10.1.8) 使用した価格設定アプローチ - 経時的変動

選択:

- 固定型(時間軸上)

### (5.10.1.10) 使用される実際の最低価格(通貨、CO2 換算トン)

10000

#### (5.10.1.11) 用いられる実際の最高価格(通貨、CO2 換算トンあたり)

50000

#### (5.10.1.12) 本インターナル・プライスが適用される事業意思決定プロセス

該当するすべてを選択

- 資本支出
- リスク管理:

#### (5.10.1.13) インターナル・プライスは事業の意思決定プロセスにおいて適用必須

選択:

- はい、いくつかの意思決定プロセスにおいて(具体的にお答えください) :Essential for environment-related investments

#### (5.10.1.14) 報告年における選択されたスコープの総排出量のうち、本インターナル・プライスの対象となる排出量の割合 (%)

17

#### (5.10.1.15) 価格設定アプローチは目標を達成するためにモニタリングおよび評価されている

選択:

- はい

#### (5.10.1.16) 目的を達成するための価格設定アプローチのモニタリングおよび評価方法の詳細

*To achieve our 2030 CO2 emissions target of 400,000 tons, we plan to invest 80 billion yen between 2021 and 2030. ICP is used as part of the decision-making process to determine if an investment is effective in addressing climate change. The ICP price is set at 10,000 yen/t-CO2, taking into account external trends such as the EU-ETS, and suitability is determined by conducting an evaluation in terms of the CO2 reduction effect for the investment.*

[行を追加]

(5.11) 環境課題について、貴組織のバリューチェーンと協働していますか。

サプライヤー

(5.11.1) 環境課題について、このステークホルダーと協働している

選択:

はい

(5.11.2) 対象となる環境課題

該当するすべてを選択

気候変動

水

プラスチック

顧客

(5.11.1) 環境課題について、このステークホルダーと協働している

選択:

はい

(5.11.2) 対象となる環境課題

該当するすべてを選択

気候変動

プラスチック

投資家と株主

### (5.11.1) 環境課題について、このステークホルダーと協働している

選択:

いいえ、しかし今後2年以内に行う予定です

### (5.11.3) 環境課題について、このステークホルダーと協働していない主な理由

選択:

内部リソース、能力、または専門知識の欠如 (例: 組織の規模が原因)

### (5.11.4) 環境課題について、このステークホルダーと協働していない理由を説明してください

*We prioritize working with our suppliers and customers, both upstream and downstream of SCOPE 3, and our engagement with investors and shareholders is centered on dialogue.*

その他のバリューチェーンのステークホルダー

### (5.11.1) 環境課題について、このステークホルダーと協働している

選択:

はい

### (5.11.2) 対象となる環境課題

該当するすべてを選択

水

[固定行]

(5.11.1) 貴組織は、サプライヤーを環境への依存および/またはインパクトによって評価および分類していますか。【データがありません】

## 気候変動

### (5.11.1.1) サプライヤーの環境への依存および/またはインパクトの評価

選択:

はい、サプライヤーの依存および/またはインパクトの評価を行っています

### (5.11.1.2) サプライヤーの環境への依存および/またはインパクトを評価するための基準

該当するすべてを選択

サプライヤー関連スコープ 3 排出量への貢献

### (5.11.1.3) 評価した 1 次サプライヤーの割合(%)

選択:

51～75%

### (5.11.1.4) 環境への重大な依存および/またはインパクトがあるサプライヤーとして分類する閾値の定義

*Interviews were conducted with suppliers to determine whether they routinely monitor air pollutant emissions, including CO2, and those suppliers who responded that they did not were identified as suppliers with critical issues.*

### (5.11.1.5) 環境への重大な依存および/またはインパクトの閾値に達している 1 次サプライヤーの割合(%)

選択:

1～25%

### (5.11.1.6) 環境への重大な依存および/またはインパクトの閾値を達している 1 次サプライヤーの数

70

水

### (5.11.1.1) サプライヤーの環境への依存および/またはインパクトの評価

選択:

- はい、サプライヤーの依存および/またはインパクトの評価を行っています

### (5.11.1.2) サプライヤーの環境への依存および/またはインパクトを評価するための基準

該当するすべてを選択

- 流域/ランドスケープの状況  
 汚染レベルへのインパクト

### (5.11.1.3) 評価した 1 次サプライヤーの割合(%)

選択:

- 51～75%

### (5.11.1.4) 環境への重大な依存および/またはインパクトがあるサプライヤーとして分類する閾値の定義

*Interviews were conducted with suppliers regarding their status with respect to wastewater treatment systems, and those suppliers who responded that they had problems were identified as suppliers with critical issues.*

### (5.11.1.5) 環境への重大な依存および/またはインパクトの閾値に達している 1 次サプライヤーの割合(%)

選択:

- 1～25%

### (5.11.1.6) 環境への重大な依存および/またはインパクトの閾値を達している 1 次サプライヤーの数

5

プラスチック

### (5.11.1.1) サプライヤーの環境への依存および/またはインパクトの評価

選択:

はい、サプライヤーの依存および/またはインパクトの評価を行っています

### (5.11.1.2) サプライヤーの環境への依存および/またはインパクトを評価するための基準

該当するすべてを選択

プラスチック廃棄物と汚染へのインパクト

### (5.11.1.3) 評価した 1 次サプライヤーの割合(%)

選択:

51～75%

### (5.11.1.4) 環境への重大な依存および/またはインパクトがあるサプライヤーとして分類する閾値の定義

*Interviews were conducted with suppliers regarding waste disposal methods, and if the disposal methods were not in compliance with regulations, said suppliers were identified as suppliers with critical issues.*

### (5.11.1.5) 環境への重大な依存および/またはインパクトの閾値に達している 1 次サプライヤーの割合(%)

選択:

なし

[固定行]

(5.11.2) 貴組織は、環境課題について協働する上で、どのサプライヤーを優先していますか。【データがまだありません】

気候変動

### (5.11.2.1) この環境課題に関するサプライヤーエンゲージメントの優先順位付け

選択:

はい、この環境課題について協働するサプライヤーの優先順位をつけています

#### (5.11.2.2) この環境課題についてどのサプライヤーとのエンゲージメントを優先するかの判断基準

該当するすべてを選択

気候変動に関連した重大な依存および/またはインパクトがあるサプライヤーとして分類するために使用される基準に従って

調達コスト

規制遵守

#### (5.11.2.4) 説明してください

*When engaging with suppliers on environmental issues, we use criteria to classify suppliers as having significant dependencies and impacts related to climate change, water, and plastics, and assign a priority ranking accordingly. In the area of climate change, we prioritize engagement with suppliers whose legal compliance and procurement costs are high and whose CO2 emissions exceed a certain threshold. In terms of water, we prioritize engagement with suppliers whose legal compliance and procurement costs are high and whose water risks exceed a certain threshold. For plastics, as with climate change and water, we also prioritize engagement using certain criteria.*

水

#### (5.11.2.1) この環境課題に関するサプライヤーエンゲージメントの優先順位付け

選択:

はい、この環境課題について協働するサプライヤーの優先順位をつけています

#### (5.11.2.2) この環境課題についてどのサプライヤーとのエンゲージメントを優先するかの判断基準

該当するすべてを選択

ウォーターに関連した重大な依存および/またはインパクトがあるサプライヤーとして分類するために使用される基準に従って

#### (5.11.2.4) 説明してください

*When engaging with suppliers on environmental issues, we use criteria to classify suppliers as having significant dependencies and impacts related to climate change,*

water, and plastics, and assign a priority ranking accordingly. In the area of climate change, we prioritize engagement with suppliers whose legal compliance and procurement costs are high and whose CO2 emissions exceed a certain threshold. In terms of water, we prioritize engagement with suppliers whose legal compliance and procurement costs are high and whose water risks exceed a certain threshold. For plastics, as with climate change and water, we also prioritize engagement using certain criteria.

## プラスチック

### (5.11.2.1) この環境課題に関するサプライヤーエンゲージメントの優先順位付け

選択:

はい、この環境課題について協働するサプライヤーの優先順位をつけています

### (5.11.2.2) この環境課題についてどのサプライヤーとのエンゲージメントを優先するかの判断基準

該当するすべてを選択

プラスチックに関連した重大な依存および/またはインパクトがあるサプライヤーとして分類するために使用される基準に従って

調達コスト

規制遵守

### (5.11.2.4) 説明してください

*When engaging with suppliers on environmental issues, we use criteria to classify suppliers as having significant dependencies and impacts related to climate change, water, and plastics, and assign a priority ranking accordingly. In the area of climate change, we prioritize engagement with suppliers whose legal compliance and procurement costs are high and whose CO2 emissions exceed a certain threshold. In terms of water, we prioritize engagement with suppliers whose legal compliance and procurement costs are high and whose water risks exceed a certain threshold. For plastics, as with climate change and water, we also prioritize engagement using certain criteria.*

[固定行]

(5.11.5) 貴組織のサプライヤーは、貴組織の購買プロセスの一環として、環境関連の要求事項を満たす必要がありますか。

	サプライヤーは、購買プロセスの一環として、この環境課題に関連する特定の環境関連の要求事項を満たす必要があります	サプライヤーの不遵守に対処するための方針	コメント
気候変動	<p>選択:</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> はい、この環境課題に関連する環境関連の要求事項はサプライヤー契約に含まれています</p>	<p>選択:</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> はい、不遵守に対処するための方針があります</p>	<p><i>We have a policy in place to address noncompliance. In addition, we are in the process of obtaining written consent to our CSR procurement guidelines.</i></p>
水	<p>選択:</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> はい、この環境課題に関連する環境関連の要求事項はサプライヤー契約に含まれています</p>	<p>選択:</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> はい、不遵守に対処するための方針があります</p>	<p><i>We have a policy in place to address noncompliance. In addition, we are in the process of obtaining written consent to our CSR procurement guidelines.</i></p>

[固定行]

**(5.11.6) 貴組織の購買プロセスの一環としてサプライヤーが満たす必要がある環境関連の要求事項の詳細と、遵守のために実施する措置を具体的にお答えください。**

## 気候変動

### (5.11.6.1) 環境関連の要求事項

選択:

- 排出削減イニシアチブの実施

### (5.11.6.2) この環境関連の要求事項の遵守をモニタリングするための仕組み

該当するすべてを選択

- サプライヤースコアカードまたは格付け

サプライヤーの自己評価

**(5.11.6.3) この環境関連の要求事項を遵守することが求められている 1 次サプライヤーの調達支出における割合(%)**

選択:

100%

**(5.11.6.4) この環境関連の要求事項を遵守している 1 次サプライヤーの調達支出における割合(%)**

選択:

51～75%

**(5.11.6.7) この環境関連の要求事項を遵守することが求められているサプライヤーに起因する、1 次サプライヤー関連スコープ 3 排出量の割合(%)**

選択:

100%

**(5.11.6.8) この環境関連の要求事項を遵守しているサプライヤーに起因する、1 次サプライヤー関連スコープ 3 排出量の割合(%)**

選択:

26～50%

**(5.11.6.9) この環境関連の要求事項に遵守していないサプライヤーへの対応**

選択:

維持して協働する

**(5.11.6.10) エンゲージメントした不遵守サプライヤーの割合(%)**

選択:

- 1～25%

#### (5.11.6.11) 不遵守であるサプライヤーに対してエンゲージメントする手順

該当するすべてを選択

- 一貫した数値的な尺度を通じた不遵守サプライヤーの措置の有効性と取り組みの評価
- サプライヤーを遵守状態に戻すための、定量化できる期限付き目標とマイルストーンの作成
- 不遵守に対処するために講じることができる適切な措置に関する情報の提供

#### (5.11.6.12) コメント

*The Nitto Group is committed to CSR procurement under its Basic Policy on Procurement and the Nitto Business Conduct Guidelines to be a company trusted and willingly chosen by all its stakeholders. We ask our partners to follow the Supplier Code of Conduct, and to ensure that they do so, we ask them to sign and submit a Code of Conduct Agreement Confirmation Form. The Nitto Group will give priority to doing business with partners that comply with the Supplier Code of Conduct. Through CSR assessment activities (self-assessment by partners, on-site surveys by the Nitto Group, etc.), we will proactively support our partners in realizing initiatives that reflect this Code of Conduct.*

水

#### (5.11.6.1) 環境関連の要求事項

選択:

- 水質汚染関連目標の策定・モニタリング

#### (5.11.6.2) この環境関連の要求事項の遵守をモニタリングするための仕組み

該当するすべてを選択

- サプライヤースコアカードまたは格付け
- サプライヤーの自己評価

#### (5.11.6.3) この環境関連の要求事項を遵守することが求められている1次サプライヤーの調達支出における割合(%)

選択:

100%

**(5.11.6.4) この環境関連の要求事項を遵守している 1 次サプライヤーの調達支出における割合(%)**

選択:

51～75%

**(5.11.6.5) この環境課題に関連した環境への重大な依存および/またはインパクトがあり、この環境関連の要求事項を遵守することが求められている 1 次サプライヤーの割合(%)**

選択:

100%

**(5.11.6.6) この環境課題に関連した環境への重大な依存および/またはインパクトがあり、この環境関連の要求事項を遵守している 1 次サプライヤーの割合(%)**

選択:

100%

**(5.11.6.9) この環境関連の要求事項に遵守していないサプライヤーへの対応**

選択:

維持して協働する

**(5.11.6.10) エンゲージメントした不遵守サプライヤーの割合(%)**

選択:

26～50%

**(5.11.6.11) 不遵守であるサプライヤーに対してエンゲージメントする手順**

該当するすべてを選択

- 一貫した数値的な尺度を通じた不遵守サプライヤーの措置の有効性と取り組みの評価
- サプライヤーを遵守状態に戻すための、定量化できる期限付き目標とマイルストーンの作成
- 不遵守に対処するために講じることができる適切な措置に関する情報の提供

#### (5.11.6.12) コメント

*The Nitto Group is committed to CSR procurement under its Basic Policy on Procurement and the Nitto Business Conduct Guidelines to be a company trusted and willingly chosen by all its stakeholders. We ask our partners to follow the Supplier Code of Conduct, and to ensure that they do so, we ask them to sign and submit a Code of Conduct Agreement Confirmation Form. The Nitto Group will give priority to doing business with partners that comply with the Supplier Code of Conduct. Through CSR assessment activities (self-assessment by partners, on-site surveys by the Nitto Group, etc.), we will proactively support our partners in realizing initiatives that reflect this Code of Conduct.*

[行を追加]

(5.11.7) 貴組織の環境課題に関するサプライヤーエンゲージメントの詳細を記入してください。

### 気候変動

#### (5.11.7.2) サプライヤーエンゲージメントによって推進される行動

選択:

- 排出量削減

#### (5.11.7.3) エンゲージメントの種類と詳細

##### キャパシティビルディング

- GHG 排出量の測定方法に関するトレーニング、支援、ベストプラクティスを提供する
- 環境影響の緩和方法に関するトレーニング、支援、ベストプラクティスを提供する

#### (5.11.7.4) バリューチェーン上流の対象

該当するすべてを選択

1次サプライヤー

2次サプライヤー

#### (5.11.7.5) エンゲージメント対象 1次サプライヤーからの調達額の割合 (%)

選択:

51～75%

#### (5.11.7.6) エンゲージメントの対象となる 1次サプライヤー関連スコープ 3 排出量の割合 (%)

選択:

26～50%

#### (5.11.7.8) 協働している 2次以上のサプライヤーの数

34

#### (5.11.7.9) エンゲージメントについて説明し、選択した環境行動に対するエンゲージメントの効果を説明してください

*Our company is actively working to reduce CO2 emissions, using data from our suppliers to calculate the CO2 emissions of our products. To facilitate this, we provide detailed explanations of CO2 calculation methods through partnership meetings and request the submission of CO2 emission data from our suppliers. For suppliers who find it challenging to calculate CO2 emissions on their own, we host specialized workshops and provide support through discussions to help them with the calculations. We have collaborated with many partners to advance the calculation of CO2 emissions from raw materials. Furthermore, we are proactively promoting the procurement of sustainable raw materials that contribute to carbon reduction. We explain the significance and specific methods of this initiative during partnership meetings and request suppliers to provide new materials. The success target for the partnership meetings was set at achieving over 80% understanding of efforts across the entire supply chain. This year, the survey results after the meetings showed that we achieved a 95% understanding rate, exceeding our goal. Additionally, 97% of our suppliers indicated their willingness to cooperate with our climate change initiatives, demonstrating the effectiveness of the partnership meetings. The reporting year's engagement activities have significantly promoted efforts to reduce CO2 emissions across the supply chain, greatly contributing to the reduction of environmental impact. Notably, we began using primary data provided by suppliers to calculate Scope 3 CO2 emissions, which has greatly improved the reliability of our calculations. Moreover, the reporting year, the proposals from suppliers for new sustainable raw materials led to the initiation of a recycling project in which we collect and refurbish products after shipment, then use them as recycled materials for production. These proposals have been extremely beneficial in advancing decarbonization and have made a significant contribution to our efforts to achieve our environmental goals.*

#### (5.11.7.10) エンゲージメントは 1次サプライヤーがこの環境課題に関連する環境要件を満たすのに役立ちます

選択:

はい、環境要件を具体的にお答えください :This will enable suppliers to more accurately assess their environmental impact and take effective reduction measures.

**(5.11.7.11) エンゲージメントは、選択した行動について、貴組織の 1 次サプライヤーがさらにそのサプライヤーと協働することを促します**

選択:

はい

水

**(5.11.7.2) サプライヤーエンゲージメントによって推進される行動**

選択:

その他、具体的にお答えください :Reduction of the total amount of pollutants in wastewater

**(5.11.7.3) エンゲージメントの種類と詳細**

情報収集

少なくとも年 1 回、サプライヤーから水質に関する情報を収集する(例：排水の品質、汚染事故、有害物質)

**(5.11.7.4) バリューチェーン上流の対象**

該当するすべてを選択

1 次サプライヤー

**(5.11.7.5) エンゲージメント対象 1 次サプライヤーからの調達額の割合 (%)**

選択:

51～75%

### (5.11.7.7) エンゲージメントの対象となる環境課題に関して実質的な影響および/または依存度を持つ 1 次サプライヤーの割合 (%)

選択:

1%未満

### (5.11.7.9) エンゲージメントについて説明し、選択した環境行動に対するエンゲージメントの効果を説明してください

*To strengthen our supplier engagement regarding water management, we conduct an annual survey focused on water quality. Through this survey, we collect information from suppliers about water quality, ensuring data transparency. We request suppliers to provide water quality data, which allows us to understand the water management status across the entire supply chain. The success of this engagement is measured by the response rate to the survey. Our goal was to achieve a response rate of over 90% from our suppliers, and we successfully met this target this year, achieving a response rate of over 90%. Effects of Successful Engagement. The effects of these engagement activities are significant. Firstly, the collected data allows us to assess the risks of water pollution and implement appropriate measures to reduce environmental impact. Secondly, through this initiative, we support our suppliers in complying with legal requirements related to water quality. By regularly collecting and analyzing water quality information, we promote compliance with regional and national environmental regulations among our suppliers. This ensures legal compliance and reduces environmental risks. Furthermore, the data gathered through these surveys enable us to identify areas where water conservation practices can be improved, leading to more efficient water use throughout the supply chain. This proactive approach not only mitigates risks but also fosters a culture of sustainability and environmental responsibility among our suppliers. By reinforcing our commitment to water management and ensuring our suppliers adhere to stringent water quality standards, we contribute to the preservation of vital water resources, enhance our environmental stewardship, and strengthen our overall sustainability efforts.*

### (5.11.7.10) エンゲージメントは 1 次サプライヤーがこの環境課題に関連する環境要件を満たすのに役立ちます

選択:

はい、環境要件を具体的にお答えください :This process allows suppliers to review their water quality management systems and identify areas for improvement.

### (5.11.7.11) エンゲージメントは、選択した行動について、貴組織の 1 次サプライヤーがさらにそのサプライヤーと協働することを促します

選択:

はい

プラスチック

### (5.11.7.2) サプライヤーエンゲージメントによって推進される行動

選択:

- プラスチックの環境からの除去

### (5.11.7.3) エンゲージメントの種類と詳細

技術革新と協業

- 製品やサービスで環境影響を軽減するための技術革新に関してサプライヤーと協力する

### (5.11.7.4) バリューチェーン上流の対象

該当するすべてを選択

- 1次サプライヤー

### (5.11.7.5) エンゲージメント対象 1次サプライヤーからの調達額の割合 (%)

選択:

- 51～75%

### (5.11.7.9) エンゲージメントについて説明し、選択した環境行動に対するエンゲージメントの効果を説明してください

*In our engagement with suppliers, we collaborate on innovations to reduce the environmental impact of our products and services. For example, we are working with our suppliers to collect discarded plastic after our products are consumed and return it to them for use as recycled raw materials. This engagement promotes the reduction of plastic waste and the recycling of resources. The impact of these engagement activities is a reduction in plastic waste and an increase in recycling rates. Through cooperation with suppliers, the process of waste collection and reuse is streamlined, contributing significantly to environmental protection. In addition, sustainable resource use is promoted throughout the supply chain, improving the company's overall environmental performance.*

### (5.11.7.11) エンゲージメントは、選択した行動について、貴組織の 1 次サプライヤーがさらにそのサプライヤーと協働することを促します

選択:

はい

[行を追加]

**(5.11.9) バリューチェーンのその他のステークホルダーとの環境エンゲージメント活動の詳細を記入してください。[データがまだありません]**

## 気候変動

### (5.11.9.1) ステークホルダーの種類

選択:

顧客

### (5.11.9.2) エンゲージメントの種類と詳細

#### 教育/情報の共有

- 貴組織の製品、商品、および/またはサービスによる環境インパクトについて、ステークホルダーに周知するエンゲージメントキャンペーンを実施
- 貴社製品および関連する認証制度についての情報を共有
- 環境イニシアチブ、その進捗および達成状況に関する情報を共有

### (5.11.9.3) エンゲージメントをしたステークホルダーの種類割合(%)

選択:

1%未満

### (5.11.9.4) ステークホルダー関連スコープ 3 排出量の割合(%)

選択:

1%未満

#### (5.11.9.5) これらのステークホルダーと協働する根拠、およびエンゲージメントの範囲

*Achieving carbon neutrality for society as a whole requires the management and reduction not only of the company's own CO2 emissions, but also those of the entire supply chain, from raw material procurement to transportation, and even to the use and disposal of products by customers. We are engaging with our customers to this end. In terms of eco-friendly products, the Nitto Group handles PlanetFlags products and shares information about them with its customers. In addition, for some of these PlanetFlags products, we are actively engaged in a dialogue with our customers to help them reduce CO2 emissions during use. As a result, we are reducing CO2 emissions throughout the supply chain.*

#### (5.11.9.6) エンゲージメントの効果と成功を測る指標

*We measure our success by the year-over-year increase in sales of PlanetFlags products, which emit less CO2 when used, through engagement with our customers. We believe that increased sales of these products will result in reduced electricity consumption by our customers, thereby reducing Scope2 of customers. Customer use of PlanetFlags product, RO membranes for ZLD applications, reduced CO2 emissions by 126 tons per year in the reporting year.*

水

#### (5.11.9.1) ステークホルダーの種類

選択:

- その他のバリューチェーン上のステークホルダー、具体的にお答えください :地域住民

#### (5.11.9.2) エンゲージメントの種類と詳細

教育/情報の共有

- 環境イニシアチブ、その進捗および達成状況に関する情報を共有

#### (5.11.9.3) エンゲージメントをしたステークホルダーの種類割合(%)

選択:

- 1%未満

#### (5.11.9.5) これらのステークホルダーと協働する根拠、およびエンゲージメントの範囲

*Effective use of water is vital if we are to pass on a bountiful planet to future generations. With the introduction of water recycling facilities, the Nitto Group is able to use water resources more efficiently. These facilities are also BCP compliant, ensuring that even if external water supply is cut off due to abnormal weather conditions, the impact will be minimized. This means that during emergencies, the water needed for production can be supplied in-house, ensuring that the disruption felt by local communities is reduced as much as possible. The water recycling facilities at the Onomichi Plant, which has this kind of equipment in place, have achieved the goal of zero water discharge into rivers.*

#### **(5.11.9.6) エンゲージメントの効果と成功を測る指標**

*We have established a water recycling rate of 90% at our sites as a measure of success. We have been successful with a recycling rate of over 90% for the reporting year. The positive impact of successful engagement is that as the recycling rate increases, the amount of water taken from outside sources can be reduced. Furthermore, in the event of an emergency or extreme weather event, the plant can operate with minimal impact on local community.*

*[行を追加]*

## C6. 環境パフォーマンス - 連結アプローチ

(6.1) 環境パフォーマンスデータの計算に関して、選択した連結アプローチを具体的にお答えください。

### 気候変動

#### (6.1.1) 使用した連結アプローチ

選択:

業務管理

#### (6.1.2) 連結アプローチを選択した根拠を具体的にお答えください

*We consider our manufacturing and processing sites to be the main source of our environmental impact (climate change, water, plastics, biodiversity), and as such, all manufacturing and processing sites that involve production are subject to management. Operations management has been selected for this reason.*

### 水

#### (6.1.1) 使用した連結アプローチ

選択:

業務管理

#### (6.1.2) 連結アプローチを選択した根拠を具体的にお答えください

*We consider our manufacturing and processing sites to be the main source of our environmental impact (climate change, water, plastics, biodiversity), and as such, all manufacturing and processing sites that involve production are subject to management. Operations management has been selected for this reason.*

### プラスチック

#### (6.1.1) 使用した連結アプローチ

選択:

業務管理

### (6.1.2) 連結アプローチを選択した根拠を具体的にお答えください

*We consider our manufacturing and processing sites to be the main source of our environmental impact (climate change, water, plastics, biodiversity), and as such, all manufacturing and processing sites that involve production are subject to management. Operations management has been selected for this reason.*

生物多様性

### (6.1.1) 使用した連結アプローチ

選択:

業務管理

### (6.1.2) 連結アプローチを選択した根拠を具体的にお答えください

*We consider our manufacturing and processing sites to be the main source of our environmental impact (climate change, water, plastics, biodiversity), and as such, all manufacturing and processing sites that involve production are subject to management. Operations management has been selected for this reason.*

[固定行]

## C7. 環境実績 - 気候変動

(7.1) 今回が CDP に排出量データを報告する最初の年になりますか。

選択:

いいえ

(7.1.1) 貴組織は報告年に構造的変化を経験しましたか。あるいは過去の構造的変化がこの排出量データの情報開示に含まれていますか。

	構造的変化がありましたか。
	該当するすべてを選択 <input checked="" type="checkbox"/> いいえ

[固定行]

(7.1.2) 貴組織の排出量算定方法、バウンダリ (境界)、および/または報告年の定義は報告年に変更されましたか。

	評価方法、バウンダリ (境界) や報告年の定義に変更点はありますか。
	該当するすべてを選択

	評価方法、バウンダリ(境界)や報告年の定義に変更点はありますか。
	<input checked="" type="checkbox"/> いいえ

[固定行]

**(7.2) 活動データの収集や排出量の計算に使用した基準、プロトコル、または方法の名称を選択してください。**

該当するすべてを選択

- IEA 燃料燃焼による CO2 排出量
- 地球温暖化対策推進法（2005 年改訂、日本）
- US EPA 排出・発電情報統合データベース(eGRID)

**(7.3) スコープ 2 排出量を報告するための貴組織のアプローチを説明してください。**

### (7.3.1) スコープ 2、ロケーション基準

選択:

- スコープ 2、ロケーション基準を報告しています

### (7.3.2) スコープ 2、マーケット基準

選択:

- スコープ 2、マーケット基準の値を報告しています

### (7.3.3) コメント

The calculation method is based on emission coefficient of "A corporate Accounting and Reporting Standard Revised Edition" issued by The Greenhouse Gas Protocol. The emission factor is shown as below. (Location) Figures of Japan indicates Japan domestic average, figures of U.S. calculated by the United States EPA eGRID, and other areas are calculated by regional coefficients provided by IEA. The calculation method is based on emission coefficient of "A corporate Accounting and Reporting Standard Revised Edition" issued by The Greenhouse Gas Protocol. The emission factor is shown as below. (market) Figures of Japan, Germany and part of U.S. indicates emission coefficients by electric power companies. And figures of Vietnam and Taiwan indicates emission coefficients by government. Other areas are calculated by regional coefficients provided by the International Energy Agency's (IEA) CO2 Emissions from Fuel Combustion, and the United States Environmental Protection Agency's (EPA) Emissions & Generation Resource Integrated Database

[固定行]

**(7.4) 選択した報告バウンダリ (境界) 内で、開示に含まれていないスコープ 1、スコープ 2、スコープ 3 の排出源 (例えば、施設、特定の温室効果ガス、活動、地理的場所等) はありますか。**

選択:

はい

**(7.4.1) 選択した報告バウンダリ (境界) 内にあるが、開示に含まれないスコープ 1、スコープ 2、またはスコープ 3 排出量の発生源の詳細を記入してください。**

## Row 1

### (7.4.1.1) 除外する排出源

*Sales offices of domestic and overseas group companies that do not involve manufacturing are excluded.*

### (7.4.1.2) スコープまたはスコープ 3 カテゴリー

該当するすべてを選択

スコープ 1

スコープ 3:投資

スコープ 3:出張

スコープ 3:資本財

スコープ 3:雇用者の通勤

スコープ 3:その他(上流)

スコープ 3:その他(下流)

スコープ 2(マーケット基準)

スコープ 3:販売製品の加工

スコープ 3:販売製品の使用

- スコープ 3:フランチャイズ
- スコープ 2(ロケーション基準)
- スコープ 3:上流のリース資産
- スコープ 3:下流のリース資産
- スコープ 3:上流の輸送および物流

- スコープ 3:操業で発生した廃棄物
- スコープ 3:下流の輸送および物流
- スコープ 3:販売製品の生産終了処理
- スコープ 3:購入した商品およびサービス
- スコープ 3:燃料およびエネルギー関連活動(スコープ 1 または 2 に含まれない)

#### (7.4.1.3) 除外する排出源のスコープ 1 との関連性について

選択:

- 排出量に関連性はない

#### (7.4.1.4) 除外する排出源のスコープ 2(ロケーション基準)との関連性について

選択:

- 排出量に関連性はない

#### (7.4.1.5) 除外する排出源の市場基準スコープ 2 排出量の関連性

選択:

- 排出量に関連性はない

#### (7.4.1.6) この排出源からのスコープ 3 排出量の関連性

選択:

- 排出量に関連性はない

#### (7.4.1.8) 除外された排出源に相当するスコープ 1+2 の総排出量の推定割合

0.4

#### (7.4.1.9) 除外された排出源に相当するスコープ 3 の総排出量の推定割合

#### (7.4.1.10) この発生源が除外される理由を説明します

*Regarding business and sales offices that do not involve manufacturing belonging to domestic and overseas group companies, Scope 1, Scope 2, and categories 1–7 and 9–12 of Scope 3 are considered of no relevance, since the figures for these categories are close to zero. Similarly, Scope 3 Category 8 (Upstream leased assets) is already accounted for in Scope 1 and 2, and Scope 3 Category 13 (Downstream leased assets), Category 14 (Franchises), and Category 15 (Investments) do not apply.*

#### (7.4.1.11) 除外された排出源に相当する排出量の割合をどのように推定したかを説明ください

*Electricity consumption was calculated for business and sales offices that do not involve manufacturing belonging to domestic and overseas group companies, and it accounted for 0.4% of the Group's total consumption. Scope 3 emissions are negligible, so are estimated as 0%.*

[行を追加]

### (7.5) 基準年と基準年排出量を記入してください。

#### スコープ 1

##### (7.5.1) 基準年終了

03/31/2021

##### (7.5.2) 基準年排出量(CO2 換算トン)

363488

##### (7.5.3) 方法論の詳細

*The calculation method is based on emission coefficient of "A corporate Accounting and Reporting Standard Revised Edition" issued by The Greenhouse Gas Protocol. The emission factor is shown as below. Energy (fuel): Coefficient stipulated in "Act on Promotion of Global Warming Countermeasures". Materials burned by Nitto Gr. (solvent): Coefficient decided by Nitto assuming combustion reaction of solvent.*

#### スコープ 2(ロケーション基準)

### (7.5.1) 基準年終了

03/31/2021

### (7.5.2) 基準年排出量(CO2 換算トン)

404125

### (7.5.3) 方法論の詳細

*The calculation method is based on emission coefficient of "A corporate Accounting and Reporting Standard Revised Edition" issued by The Greenhouse Gas Protocol. The emission factor is shown as below. (Location) Figures of Japan indicates Japan domestic average, figures of U.S. calculated by the United States EPA eGRID, and other areas are calculated by regional coefficients provided by IEA.*

### スコープ 2(マーケット基準)

### (7.5.1) 基準年終了

03/31/2021

### (7.5.2) 基準年排出量(CO2 換算トン)

382241

### (7.5.3) 方法論の詳細

*The calculation method is based on emission coefficient of "A corporate Accounting and Reporting Standard Revised Edition" issued by The Greenhouse Gas Protocol. The emission factor is shown as below.(market) Figures of Japan, Germany and part of U.S. indicates emission coefficients by electric power companies.And figures of Vietnam and Taiwan indicates emission coefficients by government. Other areas are calculated by regional coefficients provided by the International Energy Agency's (IEA) CO2 Emissions from Fuel Combustion, and the United States Environmental Protection Agency's (EPA) Emissions & Generation Resource Integrated Database.*

### スコープ 3 カテゴリー1:購入した商品およびサービス

### (7.5.1) 基準年終了

03/31/2023

## (7.5.2) 基準年排出量(CO2 換算トン)

1562000

## (7.5.3) 方法論の詳細

*The calculation method is based on The Basic Guidelines on Accounting for Greenhouse Gas Emissions throughout the Supply Chain ver.2.5 (Ministry of the Environment and Ministry of Economy, Trade and Industry in Japan). Emission coefficients are based on them following databases: a) The Emissions per Unit Database for the Purpose of Calculating the Greenhouse Gas and other Emissions of Organizations throughout the Supply Chain ver.3.3 b) AIST IDEA ver. 3.3*

スコープ 3 カテゴリー2:資本財

## (7.5.1) 基準年終了

03/31/2023

## (7.5.2) 基準年排出量(CO2 換算トン)

127000

## (7.5.3) 方法論の詳細

*The calculation method is based on The Basic Guidelines on Accounting for Greenhouse Gas Emissions throughout the Supply Chain ver.2.5 (Ministry of the Environment and Ministry of Economy, Trade and Industry in Japan). Emission coefficients are based on them following databases: a) The Emissions per Unit Database for the Purpose of Calculating the Greenhouse Gas and other Emissions of Organizations throughout the Supply Chain ver.3.3 b) AIST IDEA ver. 3.3*

スコープ 3 カテゴリー3:燃料およびエネルギー関連活動(スコープ 1 または 2 に含まれない)

## (7.5.1) 基準年終了

03/31/2023

## (7.5.2) 基準年排出量(CO2 換算トン)

**(7.5.3) 方法論の詳細**

*The calculation method is based on The Basic Guidelines on Accounting for Greenhouse Gas Emissions throughout the Supply Chain ver.2.5 (Ministry of the Environment and Ministry of Economy, Trade and Industry in Japan). Emission coefficients are based on them following databases: a) The Emissions per Unit Database for the Purpose of Calculating the Greenhouse Gas and other Emissions of Organizations throughout the Supply Chain ver.3.3 b) AIST IDEA ver. 3.3*

**スコープ 3 カテゴリー4:上流の輸送および物流**

**(7.5.1) 基準年終了**

03/31/2023

**(7.5.2) 基準年排出量(CO2 換算トン)**

74000

**(7.5.3) 方法論の詳細**

*The calculation method is based on The Basic Guidelines on Accounting for Greenhouse Gas Emissions throughout the Supply Chain ver.2.5 (Ministry of the Environment and Ministry of Economy, Trade and Industry in Japan). Emission coefficients are based on them following databases: a) The Emissions per Unit Database for the Purpose of Calculating the Greenhouse Gas and other Emissions of Organizations throughout the Supply Chain ver.3.3 b) AIST IDEA ver. 3.3*

**スコープ 3 カテゴリー5:操業で発生した廃棄物**

**(7.5.1) 基準年終了**

03/31/2023

**(7.5.2) 基準年排出量(CO2 換算トン)**

152000

**(7.5.3) 方法論の詳細**

The calculation method is based on The Basic Guidelines on Accounting for Greenhouse Gas Emissions throughout the Supply Chain ver.2.5 (Ministry of the Environment and Ministry of Economy, Trade and Industry in Japan). Emission coefficients are based on them following databases: a) The Emissions per Unit Database for the Purpose of Calculating the Greenhouse Gas and other Emissions of Organizations throughout the Supply Chain ver.3.3 b) AIST IDEA ver. 3.3

### スコープ 3 カテゴリー6:出張

#### (7.5.1) 基準年終了

03/31/2023

#### (7.5.2) 基準年排出量(CO2 換算トン)

4000

#### (7.5.3) 方法論の詳細

The calculation method is based on The Basic Guidelines on Accounting for Greenhouse Gas Emissions throughout the Supply Chain ver.2.5 (Ministry of the Environment and Ministry of Economy, Trade and Industry in Japan). Emission coefficients are based on them following databases: a) The Emissions per Unit Database for the Purpose of Calculating the Greenhouse Gas and other Emissions of Organizations throughout the Supply Chain ver.3.3 b) AIST IDEA ver. 3.3

### スコープ 3 カテゴリー7:雇用者の通勤

#### (7.5.1) 基準年終了

03/31/2023

#### (7.5.2) 基準年排出量(CO2 換算トン)

12000

#### (7.5.3) 方法論の詳細

The calculation method is based on The Basic Guidelines on Accounting for Greenhouse Gas Emissions throughout the Supply Chain ver.2.5 (Ministry of the Environment and Ministry of Economy, Trade and Industry in Japan). Emission coefficients are based on them following databases: a) The Emissions per Unit Database for the Purpose of Calculating the Greenhouse Gas and other Emissions of Organizations throughout the Supply Chain ver.3.3 b) AIST IDEA ver. 3.3

### スコープ 3 カテゴリー8:上流のリース資産

#### (7.5.1) 基準年終了

03/31/2023

#### (7.5.2) 基準年排出量(CO2 換算トン)

0

#### (7.5.3) 方法論の詳細

N/A

### スコープ 3 カテゴリー9:下流の輸送および物流

#### (7.5.1) 基準年終了

03/31/2023

#### (7.5.2) 基準年排出量(CO2 換算トン)

29000

#### (7.5.3) 方法論の詳細

*The calculation method is based on The Basic Guidelines on Accounting for Greenhouse Gas Emissions throughout the Supply Chain ver.2.5 (Ministry of the Environment and Ministry of Economy, Trade and Industry in Japan). Emission coefficients are based on them following databases: a) The Emissions per Unit Database for the Purpose of Calculating the Greenhouse Gas and other Emissions of Organizations throughout the Supply Chain ver.3.3 b) AIST IDEA ver. 3.3*

### スコープ 3 カテゴリー10:販売製品の加工

#### (7.5.1) 基準年終了

03/31/2023

## (7.5.2) 基準年排出量(CO2 換算トン)

76000

## (7.5.3) 方法論の詳細

*The calculation method is based on The Basic Guidelines on Accounting for Greenhouse Gas Emissions throughout the Supply Chain ver.2.5 (Ministry of the Environment and Ministry of Economy, Trade and Industry in Japan). Emission coefficients are based on them following databases: a) The Emissions per Unit Database for the Purpose of Calculating the Greenhouse Gas and other Emissions of Organizations throughout the Supply Chain ver.3.3 b) AIST IDEA ver. 3.3*

スコープ 3 カテゴリー11:販売製品の使用

## (7.5.1) 基準年終了

03/31/2023

## (7.5.2) 基準年排出量(CO2 換算トン)

0

## (7.5.3) 方法論の詳細

*The calculation method is based on The Basic Guidelines on Accounting for Greenhouse Gas Emissions throughout the Supply Chain ver.2.5 (Ministry of the Environment and Ministry of Economy, Trade and Industry in Japan). Emission coefficients are based on them following databases: a) The Emissions per Unit Database for the Purpose of Calculating the Greenhouse Gas and other Emissions of Organizations throughout the Supply Chain ver.3.3 b) AIST IDEA ver. 3.3*

スコープ 3 カテゴリー12:販売製品の生産終了処理

## (7.5.1) 基準年終了

03/31/2023

## (7.5.2) 基準年排出量(CO2 換算トン)

510000

### (7.5.3) 方法論の詳細

The calculation method is based on The Basic Guidelines on Accounting for Greenhouse Gas Emissions throughout the Supply Chain ver.2.5 (Ministry of the Environment and Ministry of Economy, Trade and Industry in Japan). Emission coefficients are based on them following databases: a) The Emissions per Unit Database for the Purpose of Calculating the Greenhouse Gas and other Emissions of Organizations throughout the Supply Chain ver.3.3 b) AIST IDEA ver. 3.3

スコープ 3 カテゴリー13:下流のリース資産

### (7.5.1) 基準年終了

03/31/2023

### (7.5.2) 基準年排出量(CO2 換算トン)

0

### (7.5.3) 方法論の詳細

N/A

スコープ 3 カテゴリー14:フランチャイズ

### (7.5.1) 基準年終了

03/31/2023

### (7.5.2) 基準年排出量(CO2 換算トン)

0

### (7.5.3) 方法論の詳細

N/A

スコープ 3 カテゴリー15:投資

### (7.5.1) 基準年終了

03/31/2023

### (7.5.2) 基準年排出量(CO2 換算トン)

0

### (7.5.3) 方法論の詳細

N/A

スコープ 3:その他(上流)

### (7.5.1) 基準年終了

03/31/2023

### (7.5.2) 基準年排出量(CO2 換算トン)

0

### (7.5.3) 方法論の詳細

N/A

スコープ 3:その他(下流)

### (7.5.1) 基準年終了

03/31/2023

### (7.5.2) 基準年排出量(CO2 換算トン)

0

### (7.5.3) 方法論の詳細

N/A

[固定行]

(7.6) 貴組織のスコープ 1 全世界総排出量を教えてください (単位: CO2 換算トン)。

報告年

### (7.6.1) スコープ 1 世界合計総排出量(CO2 換算トン)

289000

### (7.6.3) 方法論の詳細

*Energy (fuel): Coefficient stipulated in "Act on Promotion of Global Warming Countermeasures". Materials burned by Nitto Gr. (solvent): Coefficient decided by Nitto assuming combustion reaction of solvent.*

過年度 1 年目

### (7.6.1) スコープ 1 世界合計総排出量(CO2 換算トン)

299000

### (7.6.2) 終了日

03/31/2023

### (7.6.3) 方法論の詳細

*Energy (fuel): Coefficient stipulated in "Act on Promotion of Global Warming Countermeasures". Materials burned by Nitto Gr. (solvent): Coefficient decided by Nitto assuming combustion reaction of solvent.*

[固定行]

(7.7) 貴組織のスコープ 2 全世界総排出量を教えてください (単位: CO2 換算トン)。

報告年

(7.7.1) スコープ 2、ロケーション基準全世界総排出量 (CO2 換算トン)

377000

(7.7.2) スコープ 2、マーケット基準全世界総排出量 (CO2 換算トン) (該当する場合)

236000

(7.7.4) 方法論の詳細

*The calculation method is based on emission coefficient of "A corporate Accounting and Reporting Standard Revised Edition" issued by The Greenhouse Gas Protocol. The emission factor is shown as below. (Location) Figures of Japan indicates Japan domestic average, figures of U.S. calculated by the United States EPA eGRID, and other areas are calculated by regional coefficients provided by IEA. The calculation method is based on emission coefficient of "A corporate Accounting and Reporting Standard Revised Edition" issued by The Greenhouse Gas Protocol. The emission factor is shown as below. (market) Figures of Japan, Germany and part of U.S. indicates emission coefficients by electric power companies. And figures of Vietnam and Taiwan indicates emission coefficients by government. Other areas are calculated by regional coefficients provided by the International Energy Agency's (IEA) CO2 Emissions from Fuel Combustion, and the United States Environmental Protection Agency's (EPA) Emissions & Generation Resource Integrated Database.*

過年度 1 年目

(7.7.1) スコープ 2、ロケーション基準全世界総排出量 (CO2 換算トン)

402000

(7.7.2) スコープ 2、マーケット基準全世界総排出量 (CO2 換算トン) (該当する場合)

271000

(7.7.3) 終了日

#### (7.7.4) 方法論の詳細

*Electricity, Steam and Hot water that purchased from outside. Energy (electric power): Figures of Japan (market) indicates emission coefficients by electric power companies, figures of Japan (location) indicates an alternative value of emission coefficients by electric power companies, and figures of overseas plants (market and location) are calculated by regional coefficients provided by the International Energy Agency's (IEA) CO2 emissions from Fuel Combustion, and the United States Environmental Protection Agency's (EPA) Emissions & Generation Resource Integrated Database or Ministry of Natural Resources and Environment of Vietnam.*  
[固定行]

**(7.8) 貴組織のスコープ 3 全世界総排出量を示すとともに、除外項目について開示および説明してください。**

購入した商品およびサービス

#### (7.8.1) 評価状況

選択:

関連性あり、算定済み

#### (7.8.2) 報告年の排出量(CO2 換算トン)

1510000

#### (7.8.3) 排出量計算方法

該当するすべてを選択

ハイブリッド（複合）手法

支出額に基づいた手法

その他、具体的にお答えください :Calculated on the basis of weight of purchased raw materials

#### (7.8.4) サプライヤーまたはバリューチェーン・パートナーから得たデータを用いて計算された排出量の割合

0

### (7.8.5) 説明してください

*Direct purchase:  $\Sigma\{\text{Weight of purchased raw materials by type} \times \text{CO}_2 \text{ emissions per unit}\}$*

資本財

### (7.8.1) 評価状況

選択:

関連性あり、算定済み

### (7.8.2) 報告年の排出量(CO<sub>2</sub> 換算トン)

209000

### (7.8.3) 排出量計算方法

該当するすべてを選択

支出額に基づいた手法

### (7.8.4) サプライヤーまたはバリューチェーン・パートナーから得たデータを用いて計算された排出量の割合

0

### (7.8.5) 説明してください

*Equipment investment amount  $\times$  CO<sub>2</sub> emissions per unit*

燃料およびエネルギー関連活動(スコープ 1 または 2 に含まれない)

### (7.8.1) 評価状況

選択:

関連性あり、算定済み

### (7.8.2) 報告年の排出量(CO2 換算トン)

78000

### (7.8.3) 排出量計算方法

該当するすべてを選択

燃料に基づいた手法

### (7.8.4) サプライヤーまたはバリューチェーン・パートナーから得たデータを用いて計算された排出量の割合

0

### (7.8.5) 説明してください

$\Sigma\{\text{Amount of purchased energy by type} \times \text{CO2 emissions per unit}\}$

上流の輸送および物流

### (7.8.1) 評価状況

選択:

関連性あり、算定済み

### (7.8.2) 報告年の排出量(CO2 換算トン)

101000

### (7.8.3) 排出量計算方法

該当するすべてを選択

距離に基づいた手法

#### (7.8.4) サプライヤーまたはバリューチェーン・パートナーから得たデータを用いて計算された排出量の割合

0

#### (7.8.5) 説明してください

Raw materials:  $\Sigma\{\text{ton-km} \times \text{CO}_2 \text{ emissions per unit}\}$ . Products and intermediate products (domestic) : Based on the Act on the Rationalizing Energy Use. Products and intermediate products (export) :  $\Sigma\{\text{ton-km} \times \text{CO}_2 \text{ emissions per unit}\}$

#### 操業で発生した廃棄物

#### (7.8.1) 評価状況

選択:

関連性あり、算定済み

#### (7.8.2) 報告年の排出量(CO2 換算トン)

130000

#### (7.8.3) 排出量計算方法

該当するすべてを選択

廃棄物の種類特有の手法

#### (7.8.4) サプライヤーまたはバリューチェーン・パートナーから得たデータを用いて計算された排出量の割合

0

#### (7.8.5) 説明してください

$\Sigma\{\text{Amount of industrial waste discharged by type and treatment method} \times \text{CO}_2 \text{ emissions per unit}\}$

出張

### (7.8.1) 評価状況

選択:

関連性あり、算定済み

### (7.8.2) 報告年の排出量(CO<sub>2</sub> 換算トン)

4000

### (7.8.3) 排出量計算方法

該当するすべてを選択

その他、具体的にお答えください :Methodology based on number of employees

### (7.8.4) サプライヤーまたはバリューチェーン・パートナーから得たデータを用いて計算された排出量の割合

0

### (7.8.5) 説明してください

$\text{Number of employees by site} \times \text{CO}_2 \text{ emissions per unit}$

雇用者の通勤

### (7.8.1) 評価状況

選択:

関連性あり、算定済み

## (7.8.2) 報告年の排出量(CO2 換算トン)

11000

## (7.8.3) 排出量計算方法

該当するすべてを選択

その他、具体的にお答えください :Methodology based on number of employees

## (7.8.4) サプライヤーまたはバリューチェーン・パートナーから得たデータを用いて計算された排出量の割合

0

## (7.8.5) 説明してください

$\Sigma\{\text{Number of employees by site} \times \text{CO2 emissions per unit} \times \text{Annual operating days}\}$

上流のリース資産

## (7.8.1) 評価状況

選択:

関連性がない、理由の説明

## (7.8.5) 説明してください

*Because all the energy used, etc., by upstream leased assets are included in Scope 1 and Scope 2 of the company when being calculated, there are no emissions to be reported in this category.*

下流の輸送および物流

## (7.8.1) 評価状況

選択:

関連性あり、算定済み

### (7.8.2) 報告年の排出量(CO2 換算トン)

35000

### (7.8.3) 排出量計算方法

該当するすべてを選択

距離に基づいた手法

### (7.8.4) サプライヤーまたはバリューチェーン・パートナーから得たデータを用いて計算された排出量の割合

0

### (7.8.5) 説明してください

$\Sigma\{\text{ton-km} \times \text{CO}_2 \text{ emissions per unit}\}$ (based on scenarios)

販売製品の加工

### (7.8.1) 評価状況

選択:

関連性あり、算定済み

### (7.8.2) 報告年の排出量(CO2 換算トン)

89000

### (7.8.3) 排出量計算方法

該当するすべてを選択

平均的製品手法

**(7.8.4) サプライヤーまたはバリューチェーン・パートナーから得たデータを用いて計算された排出量の割合**

0

**(7.8.5) 説明してください**

*Product shipping weight\*1 CO2 emissions per unit*

販売製品の使用

**(7.8.1) 評価状況**

選択:

関連性あり、算定済み

**(7.8.2) 報告年の排出量(CO2 換算トン)**

0

**(7.8.3) 排出量計算方法**

該当するすべてを選択

平均的製品手法

**(7.8.4) サプライヤーまたはバリューチェーン・パートナーから得たデータを用いて計算された排出量の割合**

0

**(7.8.5) 説明してください**

*Sales volume\*2 x Annual power consumption x Useful life x CO2 emissions per unit*

## 販売製品の生産終了処理

### (7.8.1) 評価状況

選択:

関連性あり、算定済み

### (7.8.2) 報告年の排出量(CO2 換算トン)

527000

### (7.8.3) 排出量計算方法

該当するすべてを選択

平均的製品手法

### (7.8.4) サプライヤーまたはバリューチェーン・パートナーから得たデータを用いて計算された排出量の割合

0

### (7.8.5) 説明してください

*Product shipping weight\*1 CO2 emissions per unit*

## 下流のリース資産

### (7.8.1) 評価状況

選択:

関連性がない、理由の説明

### (7.8.5) 説明してください

*Not applicable as there are no downstream leased assets.*

フランチャイズ

### (7.8.1) 評価状況

選択:

関連性がない、理由の説明

### (7.8.5) 説明してください

*There are no franchises in existence and therefore no emissions applicable.*

投資

### (7.8.1) 評価状況

選択:

関連性がない、理由の説明

### (7.8.5) 説明してください

*No emissions are applicable since no financial or investment business is conducted.*

その他(上流)

### (7.8.1) 評価状況

選択:

関連性がない、理由の説明

### (7.8.5) 説明してください

*There are no relevant emissions.*

その他(下流)

### (7.8.1) 評価状況

選択:

関連性がない、理由の説明

### (7.8.5) 説明してください

*There are no relevant emissions.*

[固定行]

**(7.8.1) 過去年の貴組織のスコープ 3 排出量データを開示するか、または再記入してください。**

過年度 1 年目

#### (7.8.1.1) 終了日

03/31/2023

#### (7.8.1.2) スコープ 3:購入した商品・サービス(CO2 換算トン)

1510000

#### (7.8.1.3) スコープ 3:資本財(CO2 換算トン)

209000

#### (7.8.1.4) スコープ 3:燃料およびエネルギー関連活動(スコープ 1, 2 に含まれない)(CO2 換算トン)

78000

**(7.8.1.5) スコープ 3:上流の物流(CO2 換算トン)**

101000

**(7.8.1.6) スコープ 3:操業で発生した廃棄物(CO2 換算トン)**

130000

**(7.8.1.7) スコープ 3:出張(CO2 換算トン)**

4000

**(7.8.1.8) スコープ 3:従業員の通勤(CO2 換算トン)**

11000

**(7.8.1.9) スコープ 3:上流のリース資産(CO2 換算トン)**

0

**(7.8.1.10) スコープ 3:下流の物流(CO2 換算トン)**

35000

**(7.8.1.11) スコープ 3:販売製品の加工(CO2 換算トン)**

89000

**(7.8.1.12) スコープ 3:販売製品の使用(CO2 換算トン)**

0

**(7.8.1.13) スコープ 3:販売製品の廃棄(CO2 換算トン)**

**(7.8.1.14) スコープ 3:下流のリース資産(CO2 換算トン)**

0

**(7.8.1.15) スコープ 3:フランチャイズ(CO2 換算トン)**

0

**(7.8.1.16) スコープ 3:投資(CO2 換算トン)**

0

**(7.8.1.17) スコープ 3:その他(上流)(CO2 換算トン)**

0

**(7.8.1.18) スコープ 3:その他(下流)(CO2 換算トン)**

0

**(7.8.1.19) コメント**

*The calculation method is based on The Basic Guidelines on Accounting for Greenhouse Gas Emissions throughout the Supply Chain ver.2.5 (Ministry of the Environment and Ministry of Economy, Trade and Industry in Japan). Emission coefficients are based on them following databases: a) The Emissions per Unit Database for the Purpose of Calculating the Greenhouse Gas and other Emissions of Organizations throughout the Supply Chain ver.3.3 b) AIST IDEA ver. 3.3*

[固定行]

**(7.9) 報告した排出量に対する検証/保証の状況を回答してください。**

	検証/保証状況
スコープ 1	選択: <input checked="" type="checkbox"/> 第三者検証/保証を実施中
スコープ 2(ロケーション基準またはマーケット基準)	選択: <input checked="" type="checkbox"/> 第三者検証/保証を実施中
スコープ 3	選択: <input checked="" type="checkbox"/> 第三者検証/保証を実施中

[固定行]

(7.9.1) スコープ 1 排出量に対して実施した検証/保証の詳細を記入し、関連する報告書を添付してください。

## Row 1

### (7.9.1.1) 検証/保証の実施サイクル

選択:

年 1 回のプロセス

### (7.9.1.2) 報告年における検証/保証取得状況

選択:

完成

### (7.9.1.3) 検証/保証の種別

選択:

限定的保証

#### (7.9.1.4) 声明書を添付

CDP Letter.pdf

#### (7.9.1.5) ページ/章

P.2

#### (7.9.1.6) 関連する規格

選択:

ISAE 3410

#### (7.9.1.7) 検証された報告排出量の割合(%)

100

[行を追加]

**(7.9.2) スコープ 2 排出量**に対して実施した検証/保証の詳細を記入し、関連する報告書を添付してください。

### Row 1

#### (7.9.2.1) スコープ 2 の手法

選択:

スコープ 2 マーケット基準

#### (7.9.2.2) 検証/保証の実施サイクル

選択:

年1回のプロセス

### (7.9.2.3) 報告年における検証/保証取得状況

選択:

完成

### (7.9.2.4) 検証/保証の種別

選択:

限定的保証

### (7.9.2.5) 声明書を添付

*CDP Letter.pdf*

### (7.9.2.6) ページ/章

*P.2*

### (7.9.2.7) 関連する規格

選択:

ISAE 3410

### (7.9.2.8) 検証された報告排出量の割合(%)

100

[行を追加]

**(7.9.3) スコープ 3 排出量**に対して実施した検証/保証の詳細を記入し、関連する報告書を添付してください。

## Row 1

### (7.9.3.1) スコープ 3 カテゴリー

該当するすべてを選択

- スコープ 3:購入した商品およびサービス
- スコープ 3:燃料およびエネルギー関連活動(スコープ 1 または 2 に含まれない)
- スコープ 3:操業で発生した廃棄物
- スコープ 3:販売製品の生産終了処理

### (7.9.3.2) 検証/保証の実施サイクル

選択:

- 年 1 回のプロセス

### (7.9.3.3) 報告年における検証/保証取得状況

選択:

- 完成

### (7.9.3.4) 検証/保証の種別

選択:

- 限定的保証

### (7.9.3.5) 声明書を添付

*CDP Letter.pdf*

### (7.9.3.6) ページ/章

*P.2*

### (7.9.3.7) 関連する規格

選択:

ISAE 3410

### (7.9.3.8) 検証された報告排出量の割合(%)

35

[行を追加]

(7.10) 報告年における排出量総量 (スコープ 1+2 合計) は前年と比較してどのように変化しましたか。

選択:

減少

(7.10.1) 世界総排出量 (スコープ 1 と 2 の合計) の変化の理由を特定し、理由ごとに前年と比較して排出量がどのように変化したかを示してください。

再生可能エネルギー消費の変化

#### (7.10.1.1) 排出量の変化(CO2 換算トン)

35000

#### (7.10.1.2) 排出量変化の増減

選択:

減少

#### (7.10.1.3) 排出量 (割合)

#### (7.10.1.4) 計算を説明してください

The “change in renewable energy consumption” has reduced CO2 emissions by 35,000 tons since last year. Total emissions for Scope 1 and Scope 2 in the previous year were 571,000 tons, resulting in an emissions rate of  $(-35,000/571,000) * 100 = -6\%$ . This represents a 6% reduction.

#### その他の排出量削減活動

#### (7.10.1.1) 排出量の変化(CO2 換算トン)

11000

#### (7.10.1.2) 排出量変化の増減

選択:

減少

#### (7.10.1.3) 排出量（割合）

2

#### (7.10.1.4) 計算を説明してください

In terms of “other emission reduction activities,” CO2 emissions were reduced by 11000 tons relative to the previous year through reductions achieved through shifting away from solvents, energy conservation, and other measures. Total emissions for Scope 1 and Scope 2 in the previous year were 571,000 tons, resulting in an emissions rate of  $(-11,000/571,000) * 100 = -2\%$ . This represents a 2% reduction.

#### 投資引き上げ

#### (7.10.1.1) 排出量の変化(CO2 換算トン)

0

#### (7.10.1.2) 排出量変化の増減

選択:

変更なし

### (7.10.1.3) 排出量 (割合)

0

### (7.10.1.4) 計算を説明してください

*There are no relevant emission changes.*

買収

### (7.10.1.1) 排出量の変化(CO2 換算トン)

0

### (7.10.1.2) 排出量変化の増減

選択:

変更なし

### (7.10.1.3) 排出量 (割合)

0

### (7.10.1.4) 計算を説明してください

*There are no relevant emission changes.*

合併

### (7.10.1.1) 排出量の変化(CO2 換算トン)

0

#### (7.10.1.2) 排出量変化の増減

選択:

変更なし

#### (7.10.1.3) 排出量（割合）

0

#### (7.10.1.4) 計算を説明してください

*There are no relevant emission changes.*

生産量の変化

#### (7.10.1.1) 排出量の変化(CO2 換算トン)

0

#### (7.10.1.2) 排出量変化の増減

選択:

変更なし

#### (7.10.1.3) 排出量（割合）

0

#### (7.10.1.4) 計算を説明してください

*There are no relevant emission changes.*

## 方法論の変更

### (7.10.1.1) 排出量の変化(CO2 換算トン)

0

### (7.10.1.2) 排出量変化の増減

選択:

変更なし

### (7.10.1.3) 排出量 (割合)

0

### (7.10.1.4) 計算を説明してください

*There are no relevant emission changes.*

## バウンダリ(境界)の変更

### (7.10.1.1) 排出量の変化(CO2 換算トン)

0

### (7.10.1.2) 排出量変化の増減

選択:

変更なし

### (7.10.1.3) 排出量 (割合)

0

#### (7.10.1.4) 計算を説明してください

*There are no relevant emission changes.*

物理的操業条件の変化

#### (7.10.1.1) 排出量の変化(CO2 換算トン)

0

#### (7.10.1.2) 排出量変化の増減

選択:

変更なし

#### (7.10.1.3) 排出量 (割合)

0

#### (7.10.1.4) 計算を説明してください

*There are no relevant emission changes.*

特定していない

#### (7.10.1.1) 排出量の変化(CO2 換算トン)

0

#### (7.10.1.2) 排出量変化の増減

選択:

変更なし

### (7.10.1.3) 排出量（割合）

0

### (7.10.1.4) 計算を説明してください

*There are no relevant emission changes.*

その他

### (7.10.1.1) 排出量の変化(CO2 換算トン)

0

### (7.10.1.2) 排出量変化の増減

選択:

変更なし

### (7.10.1.3) 排出量（割合）

0

### (7.10.1.4) 計算を説明してください

*There are no relevant emission changes.*

[固定行]

**(7.10.2) 7.10 および 7.10.1 の排出量実績計算は、ロケーション基準のスコープ 2 排出量値もしくはマーケット基準のスコープ 2 排出量値のどちらに基づいていますか。**

選択:

マーケット基準

**(7.12)** 生物起源炭素由来の二酸化炭素排出は貴組織に関連しますか。

選択:

いいえ

**(7.15)** 貴組織では、スコープ 1 排出量の温室効果ガスの種類別の内訳を作成していますか。

選択:

はい

**(7.15.1)** スコープ 1 全世界総排出量の内訳を温室効果ガスの種類ごとに回答し、使用した地球温暖化係数 (GWP) それぞれの出典も記入してください。

## Row 1

### (7.15.1.1) GHG

選択:

CO2

### (7.15.1.2) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

289000

### (7.15.1.3) GWP 参照

選択:

その他、具体的にお答えください :Calculated based on the act on Promotion of Global Warming Countermeasures

## Row 2

### (7.15.1.1) GHG

選択:

HFCs

### (7.15.1.2) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

1203

### (7.15.1.3) GWP 参照

選択:

その他、具体的にお答えください :Calculated based on the act on Promotion of Global Warming Countermeasures

[行を追加]

(7.16) スコープ 1 および 2 の排出量の内訳を国/地域別で回答してください。

ベルギー

### (7.16.1) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

18032

### (7.16.2) スコープ 2、ロケーション基準(CO2 換算トン)

2821

### (7.16.3) スコープ 2、マーケット基準(CO2 換算トン)

0

ブラジル

(7.16.1) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

24

(7.16.2) スコープ 2、ロケーション基準(CO2 換算トン)

74

(7.16.3) スコープ 2、マーケット基準(CO2 換算トン)

74

中国

(7.16.1) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

22390

(7.16.2) スコープ 2、ロケーション基準(CO2 換算トン)

62982

(7.16.3) スコープ 2、マーケット基準(CO2 換算トン)

34942

チェコ

(7.16.1) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

0

(7.16.2) スコープ 2、ロケーション基準(CO2 換算トン)

622

**(7.16.3) スコープ 2、マーケット基準(CO2 換算トン)**

238

ドイツ

**(7.16.1) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)**

4957

**(7.16.2) スコープ 2、ロケーション基準(CO2 換算トン)**

21821

**(7.16.3) スコープ 2、マーケット基準(CO2 換算トン)**

30102

ハンガリー

**(7.16.1) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)**

75

**(7.16.2) スコープ 2、ロケーション基準(CO2 換算トン)**

123

**(7.16.3) スコープ 2、マーケット基準(CO2 換算トン)**

0

インド

(7.16.1) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

14

(7.16.2) スコープ 2、ロケーション基準(CO2 換算トン)

922

(7.16.3) スコープ 2、マーケット基準(CO2 換算トン)

0

インドネシア

(7.16.1) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

419

(7.16.2) スコープ 2、ロケーション基準(CO2 換算トン)

364

(7.16.3) スコープ 2、マーケット基準(CO2 換算トン)

0

日本

(7.16.1) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

187273

(7.16.2) スコープ 2、ロケーション基準(CO2 換算トン)

180005

**(7.16.3) スコープ 2、マーケット基準(CO2 換算トン)**

87914

マレーシア

**(7.16.1) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)**

751

**(7.16.2) スコープ 2、ロケーション基準(CO2 換算トン)**

4535

**(7.16.3) スコープ 2、マーケット基準(CO2 換算トン)**

0

メキシコ

**(7.16.1) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)**

7

**(7.16.2) スコープ 2、ロケーション基準(CO2 換算トン)**

126

**(7.16.3) スコープ 2、マーケット基準(CO2 換算トン)**

126

フィリピン

**(7.16.1) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)**

335

**(7.16.2) スコープ 2、ロケーション基準(CO2 換算トン)**

447

**(7.16.3) スコープ 2、マーケット基準(CO2 換算トン)**

0

大韓民国

**(7.16.1) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)**

13709

**(7.16.2) スコープ 2、ロケーション基準(CO2 換算トン)**

21041

**(7.16.3) スコープ 2、マーケット基準(CO2 換算トン)**

20332

台湾(中国)

**(7.16.1) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)**

22308

**(7.16.2) スコープ 2、ロケーション基準(CO2 換算トン)**

28508

**(7.16.3) スコープ 2、マーケット基準(CO2 換算トン)**

26576

タイ

**(7.16.1) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)**

2317

**(7.16.2) スコープ 2、ロケーション基準(CO2 換算トン)**

0

**(7.16.3) スコープ 2、マーケット基準(CO2 換算トン)**

0

トルコ

**(7.16.1) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)**

4095

**(7.16.2) スコープ 2、ロケーション基準(CO2 換算トン)**

6015

**(7.16.3) スコープ 2、マーケット基準(CO2 換算トン)**

0

アメリカ合衆国 (米国)

### (7.16.1) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

11417

### (7.16.2) スコープ 2、ロケーション基準(CO2 換算トン)

15872

### (7.16.3) スコープ 2、マーケット基準(CO2 換算トン)

13762

ベトナム

### (7.16.1) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

380

### (7.16.2) スコープ 2、ロケーション基準(CO2 換算トン)

25476

### (7.16.3) スコープ 2、マーケット基準(CO2 換算トン)

22300

[固定行]

(7.17) スコープ 1 世界総排出量の内訳のうちのどれを記入できるか示してください。

該当するすべてを選択

事業部門別

(7.17.1) 事業部門別にスコープ 1 全世界総排出量の内訳をお答えください。

	事業部門	スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)
Row 1	<i>Industrial tape</i>	161000
Row 2	<i>Optronics</i>	99000
Row 3	<i>Human Life</i>	28000
Row 4	<i>Others</i>	1000

[行を追加]

**(7.20) スコープ 2 世界総排出量の内訳のうちのどれを記入できるか示してください。**

該当するすべてを選択

事業部門別

**(7.20.1) 事業部門別にスコープ 2 全世界総排出量の内訳をお答えください。**

	事業部門	スコープ 2、ロケーション基準(CO2 換算トン)	スコープ 2、マーケット基準(CO2 換算トン)
Row 1	<i>Industrial tape</i>	112000	28000
Row 2	<i>Optronics</i>	210000	160000
Row 3	<i>Human Life</i>	50000	47000
Row 4	<i>Others</i>	5000	1000

[行を追加]

(7.22) 連結会計グループと回答に含まれる別の事業体間のスコープ 1 およびスコープ 2 総排出量の内訳をお答えください。

#### 連結会計グループ

##### (7.22.1) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

289000

##### (7.22.2) スコープ 2 排出量、ロケーション基準(CO2 換算トン)

377000

##### (7.22.3) スコープ 2、マーケット基準排出量(CO2 換算トン)

236000

##### (7.22.4) 説明してください

*We manage the emissions of our consolidated group companies, including those of our unconsolidated accounting group companies.*

#### その他すべての事業体

##### (7.22.1) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

0

##### (7.22.2) スコープ 2 排出量、ロケーション基準(CO2 換算トン)

0

##### (7.22.3) スコープ 2、マーケット基準排出量(CO2 換算トン)

0

#### (7.22.4) 説明してください

*We manage the emissions of our consolidated group companies, including those of our unconsolidated accounting group companies.*

[固定行]

(7.23) 貴組織の CDP 回答に含まれる子会社の排出量データの内訳を示すことはできますか。

選択:

はい

(7.23.1) スコープ 1 およびスコープ 2 の総排出量の内訳を子会社別にお答えください。

Row 1

#### (7.23.1.1) 子会社名

*Nitto Denko Corporation*

#### (7.23.1.2) 主な事業活動

選択:

プラスチック製品

(7.23.1.3) この子会社に対して貴組織が提示できる固有 ID を選択してください

該当するすべてを選択

ISIN コード - 株式

D-U-N-S 番号

#### (7.23.1.5) ISIN コード - 株式

*JP3684000007*

### (7.23.1.10) D-U-N-S 番号

690538913

### (7.23.1.12) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

172504

### (7.23.1.13) スコープ 2 排出量、ロケーション基準(CO2 換算トン)

88114

### (7.23.1.14) スコープ 2、マーケット基準排出量(CO2 換算トン)

85754

### (7.23.1.15) コメント

*Calculated per location/company*

## Row 2

### (7.23.1.1) 子会社名

NISSHO CORPORATION

### (7.23.1.2) 主な事業活動

選択:

プラスチック製品

### (7.23.1.3) この子会社に対して貴組織が提示できる固有 ID を選択してください

*該当するすべてを選択*

D-U-N-S 番号

#### (7.23.1.10) D-U-N-S 番号

691057574

#### (7.23.1.12) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

417

#### (7.23.1.13) スコープ 2 排出量、ロケーション基準(CO2 換算トン)

0

#### (7.23.1.14) スコープ 2、マーケット基準排出量(CO2 換算トン)

0.0

#### (7.23.1.15) コメント

*Calculated per location/company*

### Row 3

#### (7.23.1.1) 子会社名

NITTO, INC.

#### (7.23.1.2) 主な事業活動

選択:

プラスチック製品

#### (7.23.1.3) この子会社に対して貴組織が提示できる固有 ID を選択してください

該当するすべてを選択

D-U-N-S 番号

#### (7.23.1.10) D-U-N-S 番号

023256705

#### (7.23.1.12) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

4557

#### (7.23.1.13) スコープ 2 排出量、ロケーション基準(CO2 換算トン)

1964

#### (7.23.1.14) スコープ 2、マーケット基準排出量(CO2 換算トン)

1963

#### (7.23.1.15) コメント

*Calculated per location/company*

### Row 4

#### (7.23.1.1) 子会社名

*Nitto Advanced Nonwoven Ascania GmbH*

#### (7.23.1.2) 主な事業活動

選択:

プラスチック製品

**(7.23.1.3) この子会社に対して貴組織が提示できる固有 ID を選択してください**

該当するすべてを選択

固有 ID はありません

**(7.23.1.12) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)**

367

**(7.23.1.13) スコープ 2 排出量、ロケーション基準(CO2 換算トン)**

8646

**(7.23.1.14) スコープ 2、マーケット基準排出量(CO2 換算トン)**

18960

**(7.23.1.15) コメント**

*Calculated per location/company*

**Row 5**

**(7.23.1.1) 子会社名**

NITTO BELGIUM NV

**(7.23.1.2) 主な事業活動**

選択:

プラスチック製品

**(7.23.1.3) この子会社に対して貴組織が提示できる固有 ID を選択してください**

該当するすべてを選択

D-U-N-S 番号

#### (7.23.1.10) D-U-N-S 番号

370201394

#### (7.23.1.12) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

18032

#### (7.23.1.13) スコープ 2 排出量、ロケーション基準(CO2 換算トン)

0

#### (7.23.1.14) スコープ 2、マーケット基準排出量(CO2 換算トン)

0.0

#### (7.23.1.15) コメント

*Calculated per location/company*

### Row 6

#### (7.23.1.1) 子会社名

TAIWAN NITTO OPTICAL CO., LTD.

#### (7.23.1.2) 主な事業活動

選択:

プラスチック製品

### (7.23.1.3) この子会社に対して貴組織が提示できる固有 ID を選択してください

該当するすべてを選択

D-U-N-S 番号

### (7.23.1.10) D-U-N-S 番号

658460311

### (7.23.1.12) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

7632

### (7.23.1.13) スコープ 2 排出量、ロケーション基準(CO2 換算トン)

9451

### (7.23.1.14) スコープ 2、マーケット基準排出量(CO2 換算トン)

8810

### (7.23.1.15) コメント

*Calculated per location/company*

## Row 7

### (7.23.1.1) 子会社名

NITTO DENKO AVECIA INC.

### (7.23.1.2) 主な事業活動

選択:

医療用品

**(7.23.1.3) この子会社に対して貴組織が提示できる固有 ID を選択してください**

*該当するすべてを選択*

D-U-N-S 番号

**(7.23.1.10) D-U-N-S 番号**

958183808

**(7.23.1.12) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)**

2041

**(7.23.1.13) スコープ 2 排出量、ロケーション基準(CO2 換算トン)**

8242

**(7.23.1.14) スコープ 2、マーケット基準排出量(CO2 換算トン)**

8719

**(7.23.1.15) コメント**

*Calculated per location/company*

**Row 8**

**(7.23.1.1) 子会社名**

*Nitto Advanced Film Gronau GmbH*

**(7.23.1.2) 主な事業活動**

選択:

プラスチック製品

**(7.23.1.3) この子会社に対して貴組織が提示できる固有 ID を選択してください**

該当するすべてを選択

固有 ID はありません

**(7.23.1.12) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)**

4589

**(7.23.1.13) スコープ 2 排出量、ロケーション基準(CO2 換算トン)**

13455

**(7.23.1.14) スコープ 2、マーケット基準排出量(CO2 換算トン)**

11141

**(7.23.1.15) コメント**

*Calculated per location/company*

**Row 9**

**(7.23.1.1) 子会社名**

KOREA NITTO OPTICAL CO., LTD.

**(7.23.1.2) 主な事業活動**

選択:

プラスチック製品

**(7.23.1.3) この子会社に対して貴組織が提示できる固有 ID を選択してください**

該当するすべてを選択

D-U-N-S 番号

**(7.23.1.10) D-U-N-S 番号**

688776132

**(7.23.1.12) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)**

13709

**(7.23.1.13) スコープ 2 排出量、ロケーション基準(CO2 換算トン)**

20332

**(7.23.1.14) スコープ 2、マーケット基準排出量(CO2 換算トン)**

20332

**(7.23.1.15) コメント**

*Calculated per location/company*

**Row 10**

**(7.23.1.1) 子会社名**

SHENZHEN NITTO OPTICAL CO., LTD

**(7.23.1.2) 主な事業活動**

選択:

プラスチック製品

(7.23.1.3) この子会社に対して貴組織が提示できる固有 ID を選択してください

該当するすべてを選択

固有 ID はありません

(7.23.1.12) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

4243

(7.23.1.13) スコープ 2 排出量、ロケーション基準(CO2 換算トン)

8794

(7.23.1.14) スコープ 2、マーケット基準排出量(CO2 換算トン)

8794

(7.23.1.15) コメント

*Calculated per location/company*

**Row 11**

(7.23.1.1) 子会社名

HYDRANAUTICS

(7.23.1.2) 主な事業活動

選択:

プラスチック製品

### (7.23.1.3) この子会社に対して貴組織が提示できる固有 ID を選択してください

該当するすべてを選択

D-U-N-S 番号

### (7.23.1.10) D-U-N-S 番号

059231126

### (7.23.1.12) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

4721

### (7.23.1.13) スコープ 2 排出量、ロケーション基準(CO2 換算トン)

2248

### (7.23.1.14) スコープ 2、マーケット基準排出量(CO2 換算トン)

2248

### (7.23.1.15) コメント

*Calculated per location/company*

## Row 12

### (7.23.1.1) 子会社名

*NITTO OTOMOTIVE SAN. VE TIC. LTD. STI.*

### (7.23.1.2) 主な事業活動

選択:

プラスチック製品

(7.23.1.3) この子会社に対して貴組織が提示できる固有 ID を選択してください

該当するすべてを選択

固有 ID はありません

(7.23.1.12) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

77

(7.23.1.13) スコープ 2 排出量、ロケーション基準(CO2 換算トン)

0.0

(7.23.1.14) スコープ 2、マーケット基準排出量(CO2 換算トン)

0.0

(7.23.1.15) コメント

*Calculated per location/company*

**Row 13**

(7.23.1.1) 子会社名

NITTO DENKO AMERICA LATINA LTDA.

(7.23.1.2) 主な事業活動

選択:

プラスチック製品

### (7.23.1.3) この子会社に対して貴組織が提示できる固有 ID を選択してください

該当するすべてを選択

固有 ID はありません

### (7.23.1.12) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

24

### (7.23.1.13) スコープ 2 排出量、ロケーション基準(CO2 換算トン)

74

### (7.23.1.14) スコープ 2、マーケット基準排出量(CO2 換算トン)

74

### (7.23.1.15) コメント

*Calculated per location/company*

## Row 14

### (7.23.1.1) 子会社名

NITTO DENKO CZECH S.R.O.

### (7.23.1.2) 主な事業活動

選択:

プラスチック製品

### (7.23.1.3) この子会社に対して貴組織が提示できる固有 ID を選択してください

該当するすべてを選択

固有 ID はありません

#### (7.23.1.12) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

0.0

#### (7.23.1.13) スコープ 2 排出量、ロケーション基準(CO2 換算トン)

238

#### (7.23.1.14) スコープ 2、マーケット基準排出量(CO2 換算トン)

238

#### (7.23.1.15) コメント

*Calculated per location/company*

### Row 15

#### (7.23.1.1) 子会社名

NITTO DENKO MATERIALS (MALAYSIA) SDN. BHD.

#### (7.23.1.2) 主な事業活動

選択:

プラスチック製品

#### (7.23.1.3) この子会社に対して貴組織が提示できる固有 ID を選択してください

該当するすべてを選択

固有 ID はありません

### (7.23.1.12) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

695

### (7.23.1.13) スコープ 2 排出量、ロケーション基準(CO2 換算トン)

0

### (7.23.1.14) スコープ 2、マーケット基準排出量(CO2 換算トン)

0

### (7.23.1.15) コメント

*Calculated per location/company*

## Row 16

### (7.23.1.1) 子会社名

NITTO DENKO (TAIWAN) CORPORATION

### (7.23.1.2) 主な事業活動

選択:

プラスチック製品

### (7.23.1.3) この子会社に対して貴組織が提示できる固有 ID を選択してください

該当するすべてを選択

固有 ID はありません

### (7.23.1.12) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

14675

### (7.23.1.13) スコープ 2 排出量、ロケーション基準(CO2 換算トン)

19057

### (7.23.1.14) スコープ 2、マーケット基準排出量(CO2 換算トン)

17766

### (7.23.1.15) コメント

*Calculated per location/company*

## Row 17

### (7.23.1.1) 子会社名

*Nitto Bento Bantçilik San. ve Tic. A.Ş.*

### (7.23.1.2) 主な事業活動

選択:

プラスチック製品

### (7.23.1.3) この子会社に対して貴組織が提示できる固有 ID を選択してください

*該当するすべてを選択*

固有 ID はありません

### (7.23.1.12) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

4018

**(7.23.1.13) スコープ 2 排出量、ロケーション基準(CO2 換算トン)**

0

**(7.23.1.14) スコープ 2、マーケット基準排出量(CO2 換算トン)**

0

**(7.23.1.15) コメント**

*Calculated per location/company*

**Row 18**

**(7.23.1.1) 子会社名**

NITTO AVECIA PHARMA SERVICES INC.

**(7.23.1.2) 主な事業活動**

選択:

医療用品

**(7.23.1.3) この子会社に対して貴組織が提示できる固有 ID を選択してください**

*該当するすべてを選択*

固有 ID はありません

**(7.23.1.12) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)**

98

**(7.23.1.13) スコープ 2 排出量、ロケーション基準(CO2 換算トン)**

832

### (7.23.1.14) スコープ 2、マーケット基準排出量(CO2 換算トン)

832

### (7.23.1.15) コメント

*Calculated per location/company*

## Row 19

### (7.23.1.1) 子会社名

NITTO DENKO VIETNAM CO., LTD.

### (7.23.1.2) 主な事業活動

選択:

電子部品

### (7.23.1.3) この子会社に対して貴組織が提示できる固有 ID を選択してください

該当するすべてを選択

固有 ID はありません

### (7.23.1.12) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

380

### (7.23.1.13) スコープ 2 排出量、ロケーション基準(CO2 換算トン)

17430

#### (7.23.1.14) スコープ 2、マーケット基準排出量(CO2 換算トン)

22300

#### (7.23.1.15) コメント

*Calculated per location/company*

### Row 20

#### (7.23.1.1) 子会社名

NITTO DENKO (SHANGHAI SONGJIANG) CO., LTD.

#### (7.23.1.2) 主な事業活動

選択:

プラスチック製品

#### (7.23.1.3) この子会社に対して貴組織が提示できる固有 ID を選択してください

*該当するすべてを選択*

固有 ID はありません

#### (7.23.1.12) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

16002

#### (7.23.1.13) スコープ 2 排出量、ロケーション基準(CO2 換算トン)

0

#### (7.23.1.14) スコープ 2、マーケット基準排出量(CO2 換算トン)

**(7.23.1.15) コメント**

*Calculated per location/company*

**Row 21****(7.23.1.1) 子会社名**

NITTO DENKO FINE CIRCUIT TECHNOLOGY(SHENZHEN) CO.,LTD.

**(7.23.1.2) 主な事業活動**

選択:

電子部品

**(7.23.1.3) この子会社に対して貴組織が提示できる固有 ID を選択してください**

該当するすべてを選択

固有 ID はありません

**(7.23.1.12) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)**

212

**(7.23.1.13) スコープ 2 排出量、ロケーション基準(CO2 換算トン)**

14647

**(7.23.1.14) スコープ 2、マーケット基準排出量(CO2 換算トン)**

14647

### (7.23.1.15) コメント

*Calculated per location/company*

## Row 22

### (7.23.1.1) 子会社名

NITTO MATEX (THAILAND) CO.,LTD

### (7.23.1.2) 主な事業活動

*選択:*

プラスチック製品

### (7.23.1.3) この子会社に対して貴組織が提示できる固有 ID を選択してください

*該当するすべてを選択*

固有 ID はありません

### (7.23.1.12) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

2277

### (7.23.1.13) スコープ 2 排出量、ロケーション基準(CO2 換算トン)

0

### (7.23.1.14) スコープ 2、マーケット基準排出量(CO2 換算トン)

0

### (7.23.1.15) コメント

Calculated per location/company

## Row 29

### (7.23.1.1) 子会社名

NITTO DENKO (FOSHAN) CO., LTD.

### (7.23.1.2) 主な事業活動

選択:

プラスチック製品

### (7.23.1.3) この子会社に対して貴組織が提示できる固有 ID を選択してください

該当するすべてを選択

固有 ID はありません

### (7.23.1.12) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

1730

### (7.23.1.13) スコープ 2 排出量、ロケーション基準(CO2 換算トン)

2108

### (7.23.1.14) スコープ 2、マーケット基準排出量(CO2 換算トン)

2108

### (7.23.1.15) コメント

Calculated per location/company

## Row 31

### (7.23.1.1) 子会社名

NITTO DENKO INDIA PRIVATE LIMITED

### (7.23.1.2) 主な事業活動

選択:

プラスチック製品

### (7.23.1.3) この子会社に対して貴組織が提示できる固有 ID を選択してください

該当するすべてを選択

固有 ID はありません

### (7.23.1.12) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

14

### (7.23.1.13) スコープ 2 排出量、ロケーション基準(CO2 換算トン)

0

### (7.23.1.14) スコープ 2、マーケット基準排出量(CO2 換算トン)

0

### (7.23.1.15) コメント

*Calculated per location/company*

## Row 32

### (7.23.1.1) 子会社名

NITTO SHINKO CORPORATION

### (7.23.1.2) 主な事業活動

選択:

プラスチック製品

### (7.23.1.3) この子会社に対して貴組織が提示できる固有 ID を選択してください

該当するすべてを選択

固有 ID はありません

### (7.23.1.12) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

9617

### (7.23.1.13) スコープ 2 排出量、ロケーション基準(CO2 換算トン)

1473

### (7.23.1.14) スコープ 2、マーケット基準排出量(CO2 換算トン)

1500

### (7.23.1.15) コメント

*Calculated per location/company*

**Row 35**

### (7.23.1.1) 子会社名

### (7.23.1.2) 主な事業活動

選択:

パーソナルケア製品および家庭用品

### (7.23.1.3) この子会社に対して貴組織が提示できる固有 ID を選択してください

該当するすべてを選択

D-U-N-S 番号

### (7.23.1.10) D-U-N-S 番号

690969514

### (7.23.1.12) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

162

### (7.23.1.13) スコープ 2 排出量、ロケーション基準(CO2 換算トン)

2680

### (7.23.1.14) スコープ 2、マーケット基準排出量(CO2 換算トン)

1921

### (7.23.1.15) コメント

*Calculated per location/company*

**Row 36**

### (7.23.1.1) 子会社名

NITTO DENKO MATERIAL (THAILAND) CO., LTD.

### (7.23.1.2) 主な事業活動

選択:

電子部品

### (7.23.1.3) この子会社に対して貴組織が提示できる固有 ID を選択してください

該当するすべてを選択

固有 ID はありません

### (7.23.1.12) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

0.0

### (7.23.1.13) スコープ 2 排出量、ロケーション基準(CO2 換算トン)

0

### (7.23.1.14) スコープ 2、マーケット基準排出量(CO2 換算トン)

0

### (7.23.1.15) コメント

*Calculated per location/company*

**Row 37**

### (7.23.1.1) 子会社名

### (7.23.1.2) 主な事業活動

選択:

プラスチック製品

### (7.23.1.3) この子会社に対して貴組織が提示できる固有 ID を選択してください

該当するすべてを選択

固有 ID はありません

### (7.23.1.12) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

7

### (7.23.1.13) スコープ 2 排出量、ロケーション基準(CO2 換算トン)

126

### (7.23.1.14) スコープ 2、マーケット基準排出量(CO2 換算トン)

126

### (7.23.1.15) コメント

*Calculated per location/company*

### Row 38

### (7.23.1.1) 子会社名

NITTO DENKO PHILIPPINES CORPORATION

### (7.23.1.2) 主な事業活動

選択:

プラスチック製品

### (7.23.1.3) この子会社に対して貴組織が提示できる固有 ID を選択してください

該当するすべてを選択

固有 ID はありません

### (7.23.1.12) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

298

### (7.23.1.13) スコープ 2 排出量、ロケーション基準(CO2 換算トン)

0

### (7.23.1.14) スコープ 2、マーケット基準排出量(CO2 換算トン)

0

### (7.23.1.15) コメント

*Calculated per location/company*

### Row 39

### (7.23.1.1) 子会社名

NITTO DENKO TAPE MATERIALS (VIETNAM) CO., LTD.

### (7.23.1.2) 主な事業活動

選択:

プラスチック製品

**(7.23.1.3) この子会社に対して貴組織が提示できる固有 ID を選択してください**

該当するすべてを選択

固有 ID はありません

**(7.23.1.12) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)**

0.0

**(7.23.1.13) スコープ 2 排出量、ロケーション基準(CO2 換算トン)**

0

**(7.23.1.14) スコープ 2、マーケット基準排出量(CO2 換算トン)**

0

**(7.23.1.15) コメント**

*Calculated per location/company*

**Row 42**

**(7.23.1.1) 子会社名**

NITTO VIETNAM CO., LTD.

**(7.23.1.2) 主な事業活動**

選択:

プラスチック製品

(7.23.1.3) この子会社に対して貴組織が提示できる固有 ID を選択してください

該当するすべてを選択

固有 ID はありません

(7.23.1.12) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

0.0

(7.23.1.13) スコープ 2 排出量、ロケーション基準(CO2 換算トン)

0

(7.23.1.14) スコープ 2、マーケット基準排出量(CO2 換算トン)

0

(7.23.1.15) コメント

*Calculated per location/company*

**Row 44**

(7.23.1.1) 子会社名

*PT. NITTO MATERIALS INDONESIA*

(7.23.1.2) 主な事業活動

選択:

プラスチック製品

(7.23.1.3) この子会社に対して貴組織が提示できる固有 ID を選択してください

該当するすべてを選択

固有 ID はありません

### (7.23.1.12) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

419

### (7.23.1.13) スコープ 2 排出量、ロケーション基準(CO2 換算トン)

0

### (7.23.1.14) スコープ 2、マーケット基準排出量(CO2 換算トン)

0

### (7.23.1.15) コメント

*Calculated per location/company*

## Row 45

### (7.23.1.1) 子会社名

SHANGHAI NITTO OPTICAL CO., LTD.

### (7.23.1.2) 主な事業活動

選択:

プラスチック製品

### (7.23.1.3) この子会社に対して貴組織が提示できる固有 ID を選択してください

該当するすべてを選択

固有 ID はありません

**(7.23.1.12) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)**

0.0

**(7.23.1.13) スコープ 2 排出量、ロケーション基準(CO2 換算トン)**

6826

**(7.23.1.14) スコープ 2、マーケット基準排出量(CO2 換算トン)**

6826

**(7.23.1.15) コメント**

*Calculated per location/company*

[行を追加]

**(7.29) 報告年の事業支出のうち何%がエネルギー使用によるものでしたか。**

選択:

0%超、5%以下

**(7.30) 貴組織がどのエネルギー関連活動を行ったか選択してください。**

	貴社が報告年に次のエネルギー関連活動を実践したかどうかを示します。
燃料の消費(原料を除く)	選択: <input checked="" type="checkbox"/> はい

	貴社が報告年に次のエネルギー関連活動を実践したかどうかを示します。
購入または獲得した電力の消費	選択: <input checked="" type="checkbox"/> はい
購入または獲得した熱の消費	選択: <input checked="" type="checkbox"/> はい
購入または獲得した蒸気の消費	選択: <input checked="" type="checkbox"/> はい
購入または獲得した冷熱の消費	選択: <input checked="" type="checkbox"/> いいえ
電力、熱、蒸気、または冷熱の生成	選択: <input checked="" type="checkbox"/> はい

[固定行]

**(7.30.1) 貴組織のエネルギー消費量合計 (原料を除く) を MWh 単位で報告してください。**

燃料の消費(原材料を除く)

#### (7.30.1.1) 発熱量

選択:

HHV (高位発熱量)

#### (7.30.1.2) 再生可能エネルギー源からのエネルギー量 (単位 : MWh)

0

**(7.30.1.3) 非再生可能エネルギー源からのエネルギー量 (単位 : MWh)**

1158837

**(7.30.1.4) 総エネルギー量(再生可能と非再生可能) MWh**

1158837

購入または獲得した電力の消費

**(7.30.1.1) 発熱量**

選択:

HHV (高位発熱量)

**(7.30.1.2) 再生可能エネルギー源からのエネルギー量 (単位 : MWh)**

346563

**(7.30.1.3) 非再生可能エネルギー源からのエネルギー量 (単位 : MWh)**

560052

**(7.30.1.4) 総エネルギー量(再生可能と非再生可能) MWh**

906615

購入または獲得した熱の消費

**(7.30.1.1) 発熱量**

選択:

HHV (高位発熱量)

(7.30.1.2) 再生可能エネルギー源からのエネルギー量 (単位: MWh)

0

(7.30.1.3) 非再生可能エネルギー源からのエネルギー量 (単位: MWh)

851

(7.30.1.4) 総エネルギー量(再生可能と非再生可能) MWh

851

購入または獲得した蒸気の消費

(7.30.1.1) 発熱量

選択:

HHV (高位発熱量)

(7.30.1.2) 再生可能エネルギー源からのエネルギー量 (単位: MWh)

0

(7.30.1.3) 非再生可能エネルギー源からのエネルギー量 (単位: MWh)

19007

(7.30.1.4) 総エネルギー量(再生可能と非再生可能) MWh

19007

自家生成非燃料再生可能エネルギーの消費

### (7.30.1.1) 発熱量

選択:

HHV (高位発熱量)

### (7.30.1.2) 再生可能エネルギー源からのエネルギー量 (単位 : MWh)

17736

### (7.30.1.4) 総エネルギー量(再生可能と非再生可能) MWh

17736

合計エネルギー消費量

### (7.30.1.1) 発熱量

選択:

HHV (高位発熱量)

### (7.30.1.2) 再生可能エネルギー源からのエネルギー量 (単位 : MWh)

364299

### (7.30.1.3) 非再生可能エネルギー源からのエネルギー量 (単位 : MWh)

1738747

### (7.30.1.4) 総エネルギー量(再生可能と非再生可能) MWh

2103046

[固定行]

(7.30.6) 貴組織の燃料消費の用途を選択してください。

	貴社がこのエネルギー用途の活動を行うかどうかを示してください
発電のための燃料の消費量	選択: <input checked="" type="checkbox"/> いいえ
熱生成のための燃料の消費量	選択: <input checked="" type="checkbox"/> いいえ
蒸気生成のための燃料の消費量	選択: <input checked="" type="checkbox"/> はい
冷却生成のための燃料の消費量	選択: <input checked="" type="checkbox"/> いいえ
コージェネレーションまたはトリジェネレーションのための燃料の消費	選択: <input checked="" type="checkbox"/> はい

[固定行]

(7.30.7) 貴組織が消費した燃料の量 (原料を除く) を燃料の種類別に MWh 単位で示します。

持続可能なバイオマス

(7.30.7.1) 発熱量

選択:

HHV

(7.30.7.2) 組織によって消費された燃料合計(MWh)

0

(7.30.7.4) 熱の自家発生のために消費された燃料(MWh)

0

(7.30.7.5) 蒸気の自家発生のために消費された燃料(MWh)

0

(7.30.7.6) 冷却の自家発生のために消費された燃料(MWh)

0

(7.30.7.7) 自家コージェネ・トリジェネレーションのために消費された燃料(MWh)

0

(7.30.7.8) コメント

*We do not use this fuel.*

その他のバイオマス

(7.30.7.1) 発熱量

選択:

HHV

(7.30.7.2) 組織によって消費された燃料合計(MWh)

0

(7.30.7.4) 熱の自家発生のために消費された燃料(MWh)

0

(7.30.7.5) 蒸気の自家発生のために消費された燃料(MWh)

0

(7.30.7.6) 冷却の自家発生のために消費された燃料(MWh)

0

(7.30.7.7) 自家コージェネ・トリジェネレーションのために消費された燃料(MWh)

0

(7.30.7.8) コメント

*We do not use this fuel.*

その他の再生可能燃料(例えば、再生可能水素)

(7.30.7.1) 発熱量

選択:

HHV

(7.30.7.2) 組織によって消費された燃料合計(MWh)

0

(7.30.7.4) 熱の自家発生のために消費された燃料(MWh)

0

**(7.30.7.5) 蒸気の自家発生のために消費された燃料(MWh)**

0

**(7.30.7.6) 冷却の自家発生のために消費された燃料(MWh)**

0

**(7.30.7.7) 自家コージェネ・トリジェネレーションのために消費された燃料(MWh)**

0

**(7.30.7.8) コメント**

*We do not use this fuel.*

石炭

**(7.30.7.1) 発熱量**

選択:

HHV

**(7.30.7.2) 組織によって消費された燃料合計(MWh)**

0

**(7.30.7.4) 熱の自家発生のために消費された燃料(MWh)**

0

**(7.30.7.5) 蒸気の自家発生のために消費された燃料(MWh)**

0

**(7.30.7.6) 冷却の自家発生のために消費された燃料(MWh)**

0

**(7.30.7.7) 自家コージェネ・トリジェネレーションのために消費された燃料(MWh)**

0

**(7.30.7.8) コメント**

*We do not use this fuel.*

石油

**(7.30.7.1) 発熱量**

選択:

HHV

**(7.30.7.2) 組織によって消費された燃料合計(MWh)**

39449

**(7.30.7.4) 熱の自家発生のために消費された燃料(MWh)**

0

**(7.30.7.5) 蒸気の自家発生のために消費された燃料(MWh)**

29135

**(7.30.7.6) 冷却の自家発生のために消費された燃料(MWh)**

0

#### (7.30.7.7) 自家コージェネ・トリジェネレーションのために消費された燃料(MWh)

0

#### (7.30.7.8) コメント

*It is used as fuel for vehicles and boilers.*

天然ガス

#### (7.30.7.1) 発熱量

選択:

HHV

#### (7.30.7.2) 組織によって消費された燃料合計(MWh)

1119388

#### (7.30.7.4) 熱の自家発生のために消費された燃料(MWh)

0

#### (7.30.7.5) 蒸気の自家発生のために消費された燃料(MWh)

798373

#### (7.30.7.6) 冷却の自家発生のために消費された燃料(MWh)

0

#### (7.30.7.7) 自家コージェネ・トリジェネレーションのために消費された燃料(MWh)

302798

#### (7.30.7.8) コメント

*It is used primarily as fuel for boilers and cogeneration systems.*

その他の非再生可能燃料(例えば、再生不可水素)

#### (7.30.7.1) 発熱量

選択:

HHV

#### (7.30.7.2) 組織によって消費された燃料合計(MWh)

0

#### (7.30.7.4) 熱の自家発生のために消費された燃料(MWh)

0

#### (7.30.7.5) 蒸気の自家発生のために消費された燃料(MWh)

0

#### (7.30.7.6) 冷却の自家発生のために消費された燃料(MWh)

0

#### (7.30.7.7) 自家コージェネ・トリジェネレーションのために消費された燃料(MWh)

0

#### (7.30.7.8) コメント

*We do not use this fuel.*

## 燃料合計

### (7.30.7.1) 発熱量

選択:

HHV

### (7.30.7.2) 組織によって消費された燃料合計(MWh)

1158837

### (7.30.7.4) 熱の自家発生のために消費された燃料(MWh)

0

### (7.30.7.5) 蒸気の自家発生のために消費された燃料(MWh)

827508

### (7.30.7.6) 冷却の自家発生のために消費された燃料(MWh)

0

### (7.30.7.7) 自家コージェネ・トリジェネレーションのために消費された燃料(MWh)

302798

### (7.30.7.8) コメント

*This is total.*

[固定行]

**(7.30.9)** 貴組織が報告年に生成、消費した電力、熱、蒸気および冷熱に関する詳細をお答えください。

## 電力

### (7.30.9.1) 総生成量(MWh)

86638

### (7.30.9.2) 組織によって消費される生成量 (MWh)

86638

### (7.30.9.3) 再生可能エネルギー源からの総生成量 (MWh)

17736

### (7.30.9.4) 組織によって消費される再生可能エネルギー源からの生成量(MWh)

17736

## 熱

### (7.30.9.1) 総生成量(MWh)

0

### (7.30.9.2) 組織によって消費される生成量 (MWh)

0

### (7.30.9.3) 再生可能エネルギー源からの総生成量 (MWh)

0

### (7.30.9.4) 組織によって消費される再生可能エネルギー源からの生成量(MWh)

0

## 蒸気

### (7.30.9.1) 総生成量(MWh)

782406

### (7.30.9.2) 組織によって消費される生成量 (MWh)

782406

### (7.30.9.3) 再生可能エネルギー源からの総生成量 (MWh)

0

### (7.30.9.4) 組織によって消費される再生可能エネルギー源からの生成量(MWh)

0

## 冷熱

### (7.30.9.1) 総生成量(MWh)

0

### (7.30.9.2) 組織によって消費される生成量 (MWh)

0

### (7.30.9.3) 再生可能エネルギー源からの総生成量 (MWh)

0

### (7.30.9.4) 組織によって消費される再生可能エネルギー源からの生成量(MWh)

0

[固定行]

(7.30.14) 7.7 で報告したマーケット基準スコープ 2 の数値において、ゼロまたはゼロに近い排出係数を用いて計算された電力、熱、蒸気、冷熱量について、具体的にお答えください。

## Row 1

### (7.30.14.1) 国/地域

選択:

インド

### (7.30.14.2) 調達方法

選択:

電力サプライヤーとの小売供給契約(小売グリーン電力)

### (7.30.14.3) エネルギー担体

選択:

電力

### (7.30.14.4) 低炭素技術の種類

選択:

低炭素エネルギーミックス、具体的にお答えください :Solar, hydro, and wind power generation

### (7.30.14.5) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された低炭素エネルギー(MWh)

571.25

#### (7.30.14.6) トラッキング(追跡)手法

選択:

- 契約

#### (7.30.14.7) 低炭素エネルギーの供給源(生成)の国/地域またはエネルギー属性

選択:

- インド

#### (7.30.14.8) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。

選択:

- いいえ

### Row 2

#### (7.30.14.1) 国/地域

選択:

- インド

#### (7.30.14.2) 調達方法

選択:

- 電力と分離されたエネルギー属性証明(EACs)の調達

#### (7.30.14.3) エネルギー担体

選択:

- 電力

#### (7.30.14.4) 低炭素技術の種類

選択:

小規模水力発電(25 MW 未満)

#### (7.30.14.5) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された低炭素エネルギー(MWh)

765.88

#### (7.30.14.6) トラッキング(追跡)手法

選択:

I-REC

#### (7.30.14.7) 低炭素エネルギーの供給源(生成)の国/地域またはエネルギー属性

選択:

インド

#### (7.30.14.8) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。

選択:

はい

#### (7.30.14.9) 発電施設の運転開始年(例えば、最初の商業運転またはリパワリングの日付)

2010

### Row 3

#### (7.30.14.1) 国/地域

選択:

インドネシア

#### (7.30.14.2) 調達方法

選択:

電力と分離されたエネルギー属性証明(EACs)の調達

#### (7.30.14.3) エネルギー担体

選択:

電力

#### (7.30.14.4) 低炭素技術の種類

選択:

地熱

#### (7.30.14.5) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された低炭素エネルギー(MWh)

472.27

#### (7.30.14.6) トラッキング(追跡)手法

選択:

I-REC

#### (7.30.14.7) 低炭素エネルギーの供給源(生成)の国/地域またはエネルギー属性

選択:

インドネシア

(7.30.14.8) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。

選択:

はい

(7.30.14.9) 発電施設の運転開始年(例えば、最初の商業運転またはリパワリングの日付)

1997

Row 4

(7.30.14.1) 国/地域

選択:

タイ

(7.30.14.2) 調達方法

選択:

電力サプライヤーとの小売供給契約(小売グリーン電力)

(7.30.14.3) エネルギー担体

選択:

電力

(7.30.14.4) 低炭素技術の種類

選択:

低炭素エネルギーミックス、具体的にお答えください :Solar, hydro, and wind power generation

(7.30.14.5) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された低炭素エネルギー(MWh)

### (7.30.14.6) トラッキング(追跡)手法

選択:

契約

### (7.30.14.7) 低炭素エネルギーの供給源(生成)の国/地域またはエネルギー属性

選択:

タイ

### (7.30.14.8) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。

選択:

いいえ

## Row 5

### (7.30.14.1) 国/地域

選択:

タイ

### (7.30.14.2) 調達方法

選択:

電力と分離されたエネルギー属性証明(EACs)の調達

### (7.30.14.3) エネルギー担体

選択:

電力

#### (7.30.14.4) 低炭素技術の種類

選択:

風力

#### (7.30.14.5) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された低炭素エネルギー(MWh)

6552.25

#### (7.30.14.6) トラッキング(追跡)手法

選択:

I-REC

#### (7.30.14.7) 低炭素エネルギーの供給源(生成)の国/地域またはエネルギー属性

選択:

タイ

#### (7.30.14.8) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。

選択:

はい

#### (7.30.14.9) 発電施設の運転開始年(例えば、最初の商業運転またはリパワリングの日付)

2013

**Row 6**

#### (7.30.14.1) 国/地域

選択:

タイ

#### (7.30.14.2) 調達方法

選択:

その他、具体的にお答えください :Private solar power generation

#### (7.30.14.3) エネルギー担体

選択:

電力

#### (7.30.14.4) 低炭素技術の種類

選択:

太陽光

#### (7.30.14.5) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された低炭素エネルギー(MWh)

1631.31

#### (7.30.14.6) トラッキング(追跡)手法

選択:

その他、具体的にお答えください :private power generation

#### (7.30.14.7) 低炭素エネルギーの供給源(生成)の国/地域またはエネルギー属性

選択:

タイ

**(7.30.14.8) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。**

選択:

いいえ

## Row 7

**(7.30.14.1) 国/地域**

選択:

チェコ

**(7.30.14.2) 調達方法**

選択:

電力サプライヤーとの小売供給契約(小売グリーン電力)

**(7.30.14.3) エネルギー担体**

選択:

電力

**(7.30.14.4) 低炭素技術の種類**

選択:

風力

**(7.30.14.5) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された低炭素エネルギー(MWh)**

1519.15

#### (7.30.14.6) トラッキング(追跡)手法

選択:

契約

#### (7.30.14.7) 低炭素エネルギーの供給源(生成)の国/地域またはエネルギー属性

選択:

チェコ

#### (7.30.14.8) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。

選択:

いいえ

### Row 8

#### (7.30.14.1) 国/地域

選択:

トルコ

#### (7.30.14.2) 調達方法

選択:

電力サプライヤーとの小売供給契約(小売グリーン電力)

#### (7.30.14.3) エネルギー担体

選択:

電力

#### (7.30.14.4) 低炭素技術の種類

選択:

低炭素エネルギーミックス、具体的にお答えください :Solar, hydro, and wind power generation

#### (7.30.14.5) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された低炭素エネルギー(MWh)

14320.71

#### (7.30.14.6) トラッキング(追跡)手法

選択:

契約

#### (7.30.14.7) 低炭素エネルギーの供給源(生成)の国/地域またはエネルギー属性

選択:

トルコ

#### (7.30.14.8) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。

選択:

いいえ

### Row 9

#### (7.30.14.1) 国/地域

選択:

トルコ

#### (7.30.14.2) 調達方法

選択:

- 電力と分離されたエネルギー属性証明(EACs)の調達

### (7.30.14.3) エネルギー担体

選択:

- 電力

### (7.30.14.4) 低炭素技術の種類

選択:

- 小規模水力発電(25 MW 未満)

### (7.30.14.5) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された低炭素エネルギー(MWh)

279.58

### (7.30.14.6) トラッキング(追跡)手法

選択:

- I-REC

### (7.30.14.7) 低炭素エネルギーの供給源(生成)の国/地域またはエネルギー属性

選択:

- トルコ

### (7.30.14.8) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。

選択:

- はい

### (7.30.14.9) 発電施設の運転開始年(例えば、最初の商業運転またはリパwリングの日付)

2015

### Row 10

### (7.30.14.1) 国/地域

選択:

トルコ

### (7.30.14.2) 調達方法

選択:

その他、具体的にお答えください :Private solar power generation

### (7.30.14.3) エネルギー担体

選択:

電力

### (7.30.14.4) 低炭素技術の種類

選択:

太陽光

### (7.30.14.5) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された低炭素エネルギー(MWh)

1199.7

### (7.30.14.6) トラッキング(追跡)手法

選択:

その他、具体的にお答えください :private power generation

#### (7.30.14.7) 低炭素エネルギーの供給源(生成)の国/地域またはエネルギー属性

選択:

トルコ

#### (7.30.14.8) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。

選択:

いいえ

### Row 11

#### (7.30.14.1) 国/地域

選択:

ハンガリー

#### (7.30.14.2) 調達方法

選択:

電力サプライヤーとの小売供給契約(小売グリーン電力)

#### (7.30.14.3) エネルギー担体

選択:

電力

#### (7.30.14.4) 低炭素技術の種類

選択:

低炭素エネルギーミックス、具体的にお答えください :Solar, hydro, and wind power generation

#### (7.30.14.5) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された低炭素エネルギー(MWh)

558.19

#### (7.30.14.6) トラッキング(追跡)手法

選択:

契約

#### (7.30.14.7) 低炭素エネルギーの供給源(生成)の国/地域またはエネルギー属性

選択:

ハンガリー

#### (7.30.14.8) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。

選択:

いいえ

### Row 12

#### (7.30.14.1) 国/地域

選択:

ハンガリー

#### (7.30.14.2) 調達方法

選択:

その他、具体的にお答えください :Private solar power generation

### (7.30.14.3) エネルギー担体

選択:

電力

### (7.30.14.4) 低炭素技術の種類

選択:

太陽光

### (7.30.14.5) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された低炭素エネルギー(MWh)

116.31

### (7.30.14.6) トラッキング(追跡)手法

選択:

その他、具体的にお答えください :private power generation

### (7.30.14.7) 低炭素エネルギーの供給源(生成)の国/地域またはエネルギー属性

選択:

ハンガリー

### (7.30.14.8) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。

選択:

いいえ

**Row 13**

#### (7.30.14.1) 国/地域

選択:

- フィリピン

#### (7.30.14.2) 調達方法

選択:

- 電力サプライヤーとの小売供給契約(小売グリーン電力)

#### (7.30.14.3) エネルギー担体

選択:

- 電力

#### (7.30.14.4) 低炭素技術の種類

選択:

- 低炭素エネルギーミックス、具体的にお答えください :Solar, hydro, and wind power generation

#### (7.30.14.5) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された低炭素エネルギー(MWh)

631.25

#### (7.30.14.6) トラッキング(追跡)手法

選択:

- 契約

#### (7.30.14.7) 低炭素エネルギーの供給源(生成)の国/地域またはエネルギー属性

選択:

フィリピン

**(7.30.14.8) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。**

選択:

いいえ

## Row 14

**(7.30.14.1) 国/地域**

選択:

ベトナム

**(7.30.14.2) 調達方法**

選択:

電力サプライヤーとの小売供給契約(小売グリーン電力)

**(7.30.14.3) エネルギー担体**

選択:

電力

**(7.30.14.4) 低炭素技術の種類**

選択:

低炭素エネルギーミックス、具体的にお答えください :Solar, hydro, and wind power generation

**(7.30.14.5) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された低炭素エネルギー(MWh)**

3166.11

#### (7.30.14.6) トラッキング(追跡)手法

選択:

- 契約

#### (7.30.14.7) 低炭素エネルギーの供給源(生成)の国/地域またはエネルギー属性

選択:

- ベトナム

#### (7.30.14.8) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。

選択:

- いいえ

### Row 15

#### (7.30.14.1) 国/地域

選択:

- ベトナム

#### (7.30.14.2) 調達方法

選択:

- 電力と分離されたエネルギー属性証明(EACs)の調達

#### (7.30.14.3) エネルギー担体

選択:

- 電力

#### (7.30.14.4) 低炭素技術の種類

選択:

太陽光

#### (7.30.14.5) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された低炭素エネルギー(MWh)

9637.82

#### (7.30.14.6) トラッキング(追跡)手法

選択:

I-REC

#### (7.30.14.7) 低炭素エネルギーの供給源(生成)の国/地域またはエネルギー属性

選択:

ベトナム

#### (7.30.14.8) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。

選択:

はい

#### (7.30.14.9) 発電施設の運転開始年(例えば、最初の商業運転またはリパワリングの日付)

2020

**Row 16**

#### (7.30.14.1) 国/地域

選択:

ベルギー

#### (7.30.14.2) 調達方法

選択:

電力サプライヤーとの小売供給契約(小売グリーン電力)

#### (7.30.14.3) エネルギー担体

選択:

電力

#### (7.30.14.4) 低炭素技術の種類

選択:

風力

#### (7.30.14.5) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された低炭素エネルギー(MWh)

17212.31

#### (7.30.14.6) トラッキング(追跡)手法

選択:

契約

#### (7.30.14.7) 低炭素エネルギーの供給源(生成)の国/地域またはエネルギー属性

選択:

ベルギー

**(7.30.14.8) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。**

選択:

いいえ

**Row 17**

**(7.30.14.1) 国/地域**

選択:

ベルギー

**(7.30.14.2) 調達方法**

選択:

その他、具体的にお答えください :Private solar power generation

**(7.30.14.3) エネルギー担体**

選択:

電力

**(7.30.14.4) 低炭素技術の種類**

選択:

太陽光

**(7.30.14.5) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された低炭素エネルギー(MWh)**

1253.24

**(7.30.14.6) トラッキング(追跡)手法**

選択:

その他、具体的にお答えください :private power generation

#### (7.30.14.7) 低炭素エネルギーの供給源(生成)の国/地域またはエネルギー属性

選択:

ベルギー

#### (7.30.14.8) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。

選択:

いいえ

### Row 18

#### (7.30.14.1) 国/地域

選択:

マレーシア

#### (7.30.14.2) 調達方法

選択:

電力サプライヤーとの小売供給契約(小売グリーン電力)

#### (7.30.14.3) エネルギー担体

選択:

電力

#### (7.30.14.4) 低炭素技術の種類

選択:

低炭素エネルギーミックス、具体的にお答えください :Solar, hydro, and wind power generation

#### (7.30.14.5) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された低炭素エネルギー(MWh)

1720

#### (7.30.14.6) トラッキング(追跡)手法

選択:

契約

#### (7.30.14.7) 低炭素エネルギーの供給源(生成)の国/地域またはエネルギー属性

選択:

マレーシア

#### (7.30.14.8) 発電施設の運転開始あるいはリパワーリングの年を報告できますか。

選択:

いいえ

### Row 19

#### (7.30.14.1) 国/地域

選択:

マレーシア

#### (7.30.14.2) 調達方法

選択:

電力と分離されたエネルギー属性証明(EACs)の調達

#### (7.30.14.3) エネルギー担体

選択:

電力

#### (7.30.14.4) 低炭素技術の種類

選択:

大規模水力発電(25 MW 超)

#### (7.30.14.5) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された低炭素エネルギー(MWh)

5246.08

#### (7.30.14.6) トラッキング(追跡)手法

選択:

I-REC

#### (7.30.14.7) 低炭素エネルギーの供給源(生成)の国/地域またはエネルギー属性

選択:

マレーシア

#### (7.30.14.8) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。

選択:

はい

#### (7.30.14.9) 発電施設の運転開始年(例えば、最初の商業運転またはリパワリングの日付)

## Row 20

### (7.30.14.1) 国/地域

選択:

- マレーシア

### (7.30.14.2) 調達方法

選択:

- その他、具体的にお答えください :Private solar power generation

### (7.30.14.3) エネルギー担体

選択:

- 電力

### (7.30.14.4) 低炭素技術の種類

選択:

- 太陽光

### (7.30.14.5) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された低炭素エネルギー(MWh)

184.63

### (7.30.14.6) トラッキング(追跡)手法

選択:

- その他、具体的にお答えください :private power generation

#### (7.30.14.7) 低炭素エネルギーの供給源(生成)の国/地域またはエネルギー属性

選択:

- マレーシア

#### (7.30.14.8) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。

選択:

- いいえ

### Row 21

#### (7.30.14.1) 国/地域

選択:

- 大韓民国

#### (7.30.14.2) 調達方法

選択:

- 電力サプライヤーとの小売供給契約(小売グリーン電力)

#### (7.30.14.3) エネルギー担体

選択:

- 電力

#### (7.30.14.4) 低炭素技術の種類

選択:

- 低炭素エネルギーミックス、具体的にお答えください :Solar, hydro, and wind power generation

### (7.30.14.5) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された低炭素エネルギー(MWh)

1524.9

### (7.30.14.6) トラッキング(追跡)手法

選択:

契約

### (7.30.14.7) 低炭素エネルギーの供給源(生成)の国/地域またはエネルギー属性

選択:

大韓民国

### (7.30.14.8) 発電施設の運転開始あるいはリパワーリングの年を報告できますか。

選択:

いいえ

## Row 22

### (7.30.14.1) 国/地域

選択:

大韓民国

### (7.30.14.2) 調達方法

選択:

その他、具体的にお答えください :Private solar power generation

### (7.30.14.3) エネルギー担体

選択:

電力

#### (7.30.14.4) 低炭素技術の種類

選択:

太陽光

#### (7.30.14.5) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された低炭素エネルギー(MWh)

2059.39

#### (7.30.14.6) トラッキング(追跡)手法

選択:

その他、具体的にお答えください :private power generation

#### (7.30.14.7) 低炭素エネルギーの供給源(生成)の国/地域またはエネルギー属性

選択:

大韓民国

#### (7.30.14.8) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。

選択:

いいえ

### Row 23

#### (7.30.14.1) 国/地域

選択:

台湾(中国)

#### (7.30.14.2) 調達方法

選択:

その他、具体的にお答えください :Private solar power generation

#### (7.30.14.3) エネルギー担体

選択:

電力

#### (7.30.14.4) 低炭素技術の種類

選択:

太陽光

#### (7.30.14.5) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された低炭素エネルギー(MWh)

450.6

#### (7.30.14.6) トラッキング(追跡)手法

選択:

その他、具体的にお答えください :private power generation

#### (7.30.14.7) 低炭素エネルギーの供給源(生成)の国/地域またはエネルギー属性

選択:

台湾(中国)

#### (7.30.14.8) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。

選択:

いいえ

## Row 24

### (7.30.14.1) 国/地域

選択:

中国

### (7.30.14.2) 調達方法

選択:

電力サプライヤーとの小売供給契約(小売グリーン電力)

### (7.30.14.3) エネルギー担体

選択:

電力

### (7.30.14.4) 低炭素技術の種類

選択:

低炭素エネルギーミックス、具体的にお答えください :Solar, hydro, and wind power generation

### (7.30.14.5) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された低炭素エネルギー(MWh)

14313.04

### (7.30.14.6) トラッキング(追跡)手法

選択:

契約

#### (7.30.14.7) 低炭素エネルギーの供給源(生成)の国/地域またはエネルギー属性

選択:

中国

#### (7.30.14.8) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。

選択:

いいえ

### Row 25

#### (7.30.14.1) 国/地域

選択:

中国

#### (7.30.14.2) 調達方法

選択:

電力と分離されたエネルギー属性証明(EACs)の調達

#### (7.30.14.3) エネルギー担体

選択:

電力

#### (7.30.14.4) 低炭素技術の種類

選択:

太陽光

#### (7.30.14.5) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された低炭素エネルギー(MWh)

31902.99

#### (7.30.14.6) トラッキング(追跡)手法

選択:

GEC

#### (7.30.14.7) 低炭素エネルギーの供給源(生成)の国/地域またはエネルギー属性

選択:

中国

#### (7.30.14.8) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。

選択:

はい

#### (7.30.14.9) 発電施設の運転開始年(例えば、最初の商業運転またはリパワリングの日付)

2023

### Row 26

#### (7.30.14.1) 国/地域

選択:

中国

#### (7.30.14.2) 調達方法

選択:

- その他、具体的にお答えください :Private solar power generation

#### (7.30.14.3) エネルギー担体

選択:

- 電力

#### (7.30.14.4) 低炭素技術の種類

選択:

- 太陽光

#### (7.30.14.5) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された低炭素エネルギー(MWh)

2154.5

#### (7.30.14.6) トラッキング(追跡)手法

選択:

- その他、具体的にお答えください :private power generation

#### (7.30.14.7) 低炭素エネルギーの供給源(生成)の国/地域またはエネルギー属性

選択:

- 中国

#### (7.30.14.8) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。

選択:

いいえ

## Row 27

### (7.30.14.1) 国/地域

選択:

日本

### (7.30.14.2) 調達方法

選択:

電力サプライヤーとの小売供給契約(小売グリーン電力)

### (7.30.14.3) エネルギー担体

選択:

電力

### (7.30.14.4) 低炭素技術の種類

選択:

低炭素エネルギーミックス、具体的にお答えください :Solar, hydro, and wind power generation

### (7.30.14.5) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された低炭素エネルギー(MWh)

137358.91

### (7.30.14.6) トラッキング(追跡)手法

選択:

契約

#### (7.30.14.7) 低炭素エネルギーの供給源(生成)の国/地域またはエネルギー属性

選択:

日本

#### (7.30.14.8) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。

選択:

いいえ

### Row 28

#### (7.30.14.1) 国/地域

選択:

日本

#### (7.30.14.2) 調達方法

選択:

電力と分離されたエネルギー属性証明(EACs)の調達

#### (7.30.14.3) エネルギー担体

選択:

電力

#### (7.30.14.4) 低炭素技術の種類

選択:

太陽光

### (7.30.14.5) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された低炭素エネルギー(MWh)

67707.78

### (7.30.14.6) トラッキング(追跡)手法

選択:

J-クレジット(再生可能)

### (7.30.14.7) 低炭素エネルギーの供給源(生成)の国/地域またはエネルギー属性

選択:

日本

### (7.30.14.8) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。

選択:

いいえ

## Row 29

### (7.30.14.1) 国/地域

選択:

日本

### (7.30.14.2) 調達方法

選択:

その他、具体的にお答えください :Private solar power generation

### (7.30.14.3) エネルギー担体

選択:

電力

#### (7.30.14.4) 低炭素技術の種類

選択:

太陽光

#### (7.30.14.5) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された低炭素エネルギー(MWh)

7478.71

#### (7.30.14.6) トラッキング(追跡)手法

選択:

その他、具体的にお答えください :private power generation

#### (7.30.14.7) 低炭素エネルギーの供給源(生成)の国/地域またはエネルギー属性

選択:

日本

#### (7.30.14.8) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。

選択:

いいえ

### Row 30

#### (7.30.14.1) 国/地域

選択:

アメリカ合衆国（米国）

#### (7.30.14.2) 調達方法

選択:

電力サプライヤーとの小売供給契約(小売グリーン電力)

#### (7.30.14.3) エネルギー担体

選択:

電力

#### (7.30.14.4) 低炭素技術の種類

選択:

低炭素エネルギーミックス、具体的にお答えください :Solar, hydro, and wind power generation

#### (7.30.14.5) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された低炭素エネルギー(MWh)

8511.53

#### (7.30.14.6) トラッキング(追跡)手法

選択:

契約

#### (7.30.14.7) 低炭素エネルギーの供給源(生成)の国/地域またはエネルギー属性

選択:

アメリカ合衆国（米国）

#### (7.30.14.8) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。

選択:

いいえ

## Row 31

### (7.30.14.1) 国/地域

選択:

アメリカ合衆国（米国）

### (7.30.14.2) 調達方法

選択:

電力と分離されたエネルギー属性証明(EACs)の調達

### (7.30.14.3) エネルギー担体

選択:

電力

### (7.30.14.4) 低炭素技術の種類

選択:

再生可能エネルギーミックス、具体的にお答えください :Solar and wind power generation

### (7.30.14.5) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された低炭素エネルギー(MWh)

1620

### (7.30.14.6) トラッキング(追跡)手法

選択:

US-REC

#### (7.30.14.7) 低炭素エネルギーの供給源(生成)の国/地域またはエネルギー属性

選択:

アメリカ合衆国 (米国)

#### (7.30.14.8) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。

選択:

いいえ

### Row 32

#### (7.30.14.1) 国/地域

選択:

アメリカ合衆国 (米国)

#### (7.30.14.2) 調達方法

選択:

その他、具体的にお答えください :Private solar power generation

#### (7.30.14.3) エネルギー担体

選択:

電力

#### (7.30.14.4) 低炭素技術の種類

選択:

太陽光

#### (7.30.14.5) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された低炭素エネルギー(MWh)

1207.31

#### (7.30.14.6) トラッキング(追跡)手法

選択:

その他、具体的にお答えください :private power generation

#### (7.30.14.7) 低炭素エネルギーの供給源(生成)の国/地域またはエネルギー属性

選択:

アメリカ合衆国 (米国)

#### (7.30.14.8) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。

選択:

いいえ

[行を追加]

#### (7.30.16) 報告年における電力/熱/蒸気/冷熱の消費量の国/地域別の内訳を示してください。

ベルギー

#### (7.30.16.1) 購入した電力の消費量(MWh)

17212

#### (7.30.16.2) 自家発電した電力の消費量(MWh)

**(7.30.16.4) 購入した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)**

0

**(7.30.16.5) 自家生成した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)**

0

**(7.30.16.6) 電気/蒸気/冷熱エネルギー総消費量 (MWh)**

21419.00

ブラジル

**(7.30.16.1) 購入した電力の消費量(MWh)**

794

**(7.30.16.2) 自家発電した電力の消費量(MWh)**

0

**(7.30.16.4) 購入した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)**

0

**(7.30.16.5) 自家生成した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)**

0

**(7.30.16.6) 電気/蒸気/冷熱エネルギー総消費量 (MWh)**

794.00

中国

(7.30.16.1) 購入した電力の消費量(MWh)

102510

(7.30.16.2) 自家発電した電力の消費量(MWh)

2155

(7.30.16.4) 購入した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)

1642

(7.30.16.5) 自家生成した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)

0

(7.30.16.6) 電気/蒸気/冷熱エネルギー総消費量 (MWh)

106307.00

チェコ

(7.30.16.1) 購入した電力の消費量(MWh)

1519

(7.30.16.2) 自家発電した電力の消費量(MWh)

0

(7.30.16.4) 購入した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)

851

**(7.30.16.5) 自家生成した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)**

0

**(7.30.16.6) 電気/蒸気/冷熱エネルギー総消費量 (MWh)**

2370.00

ドイツ

**(7.30.16.1) 購入した電力の消費量(MWh)**

70165

**(7.30.16.2) 自家発電した電力の消費量(MWh)**

0

**(7.30.16.4) 購入した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)**

0

**(7.30.16.5) 自家生成した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)**

0

**(7.30.16.6) 電気/蒸気/冷熱エネルギー総消費量 (MWh)**

70165.00

ハンガリー

**(7.30.16.1) 購入した電力の消費量(MWh)**

558

**(7.30.16.2) 自家発電した電力の消費量(MWh)**

116

**(7.30.16.4) 購入した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)**

0

**(7.30.16.5) 自家生成した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)**

0

**(7.30.16.6) 電気/蒸気/冷熱エネルギー総消費量 (MWh)**

674.00

インド

**(7.30.16.1) 購入した電力の消費量(MWh)**

1337

**(7.30.16.2) 自家発電した電力の消費量(MWh)**

0

**(7.30.16.4) 購入した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)**

0

**(7.30.16.5) 自家生成した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)**

0

**(7.30.16.6) 電気/蒸気/冷熱エネルギー総消費量 (MWh)**

1337.00

インドネシア

**(7.30.16.1) 購入した電力の消費量(MWh)**

472

**(7.30.16.2) 自家発電した電力の消費量(MWh)**

0

**(7.30.16.4) 購入した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)**

0

**(7.30.16.5) 自家生成した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)**

0

**(7.30.16.6) 電気/蒸気/冷熱エネルギー総消費量 (MWh)**

472.00

日本

**(7.30.16.1) 購入した電力の消費量(MWh)**

414759

**(7.30.16.2) 自家発電した電力の消費量(MWh)**

73427

**(7.30.16.4) 購入した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)**

0

**(7.30.16.5) 自家生成した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)**

0

**(7.30.16.6) 電気/蒸気/冷熱エネルギー総消費量 (MWh)**

488186.00

マレーシア

**(7.30.16.1) 購入した電力の消費量(MWh)**

6966

**(7.30.16.2) 自家発電した電力の消費量(MWh)**

185

**(7.30.16.4) 購入した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)**

0

**(7.30.16.5) 自家生成した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)**

0

**(7.30.16.6) 電気/蒸気/冷熱エネルギー総消費量 (MWh)**

7151.00

メキシコ

**(7.30.16.1) 購入した電力の消費量(MWh)**

**(7.30.16.2) 自家発電した電力の消費量(MWh)**

0

**(7.30.16.4) 購入した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)**

0

**(7.30.16.5) 自家生成した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)**

0

**(7.30.16.6) 電気/蒸気/冷熱エネルギー総消費量 (MWh)**

315.00

フィリピン

**(7.30.16.1) 購入した電力の消費量(MWh)**

631

**(7.30.16.2) 自家発電した電力の消費量(MWh)**

0

**(7.30.16.4) 購入した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)**

0

**(7.30.16.5) 自家生成した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)**

0

**(7.30.16.6) 電気/蒸気/冷熱エネルギー総消費量 (MWh)**

631.00

大韓民国

**(7.30.16.1) 購入した電力の消費量(MWh)**

45222

**(7.30.16.2) 自家発電した電力の消費量(MWh)**

2059

**(7.30.16.4) 購入した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)**

0

**(7.30.16.5) 自家生成した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)**

0

**(7.30.16.6) 電気/蒸気/冷熱エネルギー総消費量 (MWh)**

47281.00

台湾(中国)

**(7.30.16.1) 購入した電力の消費量(MWh)**

52212

**(7.30.16.2) 自家発電した電力の消費量(MWh)**

451

(7.30.16.4) 購入した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)

0

(7.30.16.5) 自家生成した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)

0

(7.30.16.6) 電気/蒸気/冷熱エネルギー総消費量 (MWh)

52663.00

タイ

(7.30.16.1) 購入した電力の消費量(MWh)

9788

(7.30.16.2) 自家発電した電力の消費量(MWh)

1631

(7.30.16.4) 購入した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)

0

(7.30.16.5) 自家生成した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)

0

(7.30.16.6) 電気/蒸気/冷熱エネルギー総消費量 (MWh)

11419.00

トルコ

**(7.30.16.1) 購入した電力の消費量(MWh)**

14600

**(7.30.16.2) 自家発電した電力の消費量(MWh)**

1200

**(7.30.16.4) 購入した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)**

0

**(7.30.16.5) 自家生成した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)**

0

**(7.30.16.6) 電気/蒸気/冷熱エネルギー総消費量 (MWh)**

15800.00

アメリカ合衆国（米国）

**(7.30.16.1) 購入した電力の消費量(MWh)**

40375

**(7.30.16.2) 自家発電した電力の消費量(MWh)**

1207

**(7.30.16.4) 購入した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)**

17364

**(7.30.16.5) 自家生成した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)**

0

(7.30.16.6) 電気/蒸気/冷熱エネルギー総消費量 (MWh)

58946.00

ベトナム

(7.30.16.1) 購入した電力の消費量(MWh)

40541

(7.30.16.2) 自家発電した電力の消費量(MWh)

0

(7.30.16.4) 購入した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)

0

(7.30.16.5) 自家生成した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)

0

(7.30.16.6) 電気/蒸気/冷熱エネルギー総消費量 (MWh)

40541.00

[固定行]

(7.45) 報告年のスコープ 1 と 2 の全世界総排出量について、単位通貨総売上あたりの CO2 換算トン単位で詳細を説明し、貴組織の事業に当てはまる追加の原単位指標を記入します。

Row 1

### (7.45.1) 原単位数値

0.57

### (7.45.2) 指標分子(スコープ 1 および 2 の組み合わせ全世界総排出量、CO2 換算トン)

525000

### (7.45.3) 指標の分母

選択:

売上額合計

### (7.45.4) 指標の分母:単位あたりの総量

915139000000

### (7.45.5) 使用したスコープ 2 の値

選択:

マーケット基準

### (7.45.6) 前年からの変化率

7

### (7.45.7) 変化の増減

選択:

減少

### (7.45.8) 変化の理由

該当するすべてを選択

- 再生可能エネルギー消費の変化
- その他の排出量削減活動
- 生産量の変化
- 売上の変化

### (7.45.9) 説明してください

*In FY2023, the ratio of renewable electricity was increased from 38% to 41%, and energy-saving measures were implemented to further decarbonize energy use. Strong sales and greater production efficiency lead to an improvement in our intensity figure.*

[行を追加]

**(7.52) 貴組織の事業に関連がある、追加の気候関連指標を記入してください。**

### Row 1

#### (7.52.1) 詳細

選択:

- その他、具体的にお答えください :Waste Plastics Recycling Ratio

#### (7.52.2) 指標値

47

#### (7.52.3) 指標分子

*Total amount of plastic waste recycled*

#### (7.52.4) 指標分母 (原単位のみ)

*Total amount of plastic waste generated*

## (7.52.5) 前年からの変化率

1

## (7.52.6) 変化の増減

選択:

増加

## (7.52.7) 説明してください

*This increase is attributed to enhanced internal and external usage driven by improved sorted garbage collection practices. To accelerate recycling, it is important to separate waste plastics into single material units (mono-materials) within the company. To separate products into mono-materials, the Nitto Group is currently working on material recycling technology. This initiative has resulted in a 1% increase in the recycling rate.*

[行を追加]

## (7.53) 報告年に有効な排出量目標はありましたか。

該当するすべてを選択

総量目標

### (7.53.1) 排出の総量目標とその目標に対する進捗状況の詳細を記入してください。

#### Row 1

### (7.53.1.1) 目標参照番号

選択:

Abs 1

### (7.53.1.2) これは科学に基づく目標ですか

選択:

はい、これは科学に基づく目標と認識していますが、今後 2 年以内の SBT イニシアチブによるこの目標の審査の申請はコミットしていません

#### (7.53.1.4) 目標の野心度

選択:

1.5°C目標に整合済み

#### (7.53.1.5) 目標設定日

02/26/2024

#### (7.53.1.6) 目標の対象範囲

選択:

組織全体

#### (7.53.1.7) 目標の対象となる温室効果ガス

該当するすべてを選択

メタン(CH<sub>4</sub>)

二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)

亜酸化窒素(N<sub>2</sub>O)

六フッ化硫黄(SF<sub>6</sub>)

三フッ化窒素(NF<sub>3</sub>)

ペルフルオロカーボン (PFC)

ハイドロフルオロカーボン (HFC)

#### (7.53.1.8) スコープ

該当するすべてを選択

スコープ 1

スコープ 2

### (7.53.1.9) スコープ 2 算定方法

選択:

マーケット基準

### (7.53.1.11) 基準年の終了日

03/31/2021

### (7.53.1.12) 目標の対象となる基準年スコープ 1 排出量 (CO2 換算トン)

363488

### (7.53.1.13) 目標の対象となる基準年スコープ 2 排出量 (CO2 換算トン)

382241

### (7.53.1.31) 目標の対象となる基準年のスコープ 3 総排出量 (CO2 換算トン)

0.000

### (7.53.1.32) すべての選択したスコープの目標の対象となる基準年総排出量 (CO2 換算トン)

745729.000

### (7.53.1.33) スコープ 1 の基準年総排出量のうち、目標の対象となる基準年スコープ 1 排出量の割合

100

### (7.53.1.34) スコープ 2 の基準年総排出量のうち、目標の対象となる基準年スコープ 2 排出量の割合

100

### (7.53.1.53) 選択した全スコープの基準年総排出量のうち、選択した全スコープの目標の対象となる基準年排出量の割合

**(7.53.1.54) 目標の終了日**

03/31/2031

**(7.53.1.55) 基準年からの目標削減率 (%)**

46

**(7.53.1.56) 選択した全スコープの目標で対象とする目標の終了日における総排出量 (CO2 換算トン)**

402693.660

**(7.53.1.57) 目標の対象となる報告年のスコープ 1 排出量 (CO2 換算トン)**

289000

**(7.53.1.58) 目標の対象となる報告年のスコープ 2 排出量 (CO2 換算トン)**

236000

**(7.53.1.77) すべての選択したスコープの目標の対象となる報告年の総排出量 (CO2 換算トン)**

525000.000

**(7.53.1.78) 目標の対象となる土地関連の排出量**

選択:

 いいえ、土地関連の排出量を対象としていません (例: 非 FLAG SBT)**(7.53.1.79) 基準年に対して達成された目標の割合**

64.35

### (7.53.1.80) 報告年の目標の状況

選択:

新規

### (7.53.1.82) 目標対象範囲を説明し、除外事項を教えてください

*GHG target gases excluding CO2 are excluded because they account for less than 1% of total emissions.*

### (7.53.1.83) 目標の目的

*No manufacturing business can avoid impacting the environment through the use of energy and resources or the emission of CO2 and waste. Meanwhile, climate change and other environmental challenges are rapidly emerging. Working to reduce environmental impact is a social mission for businesses and, as such, we must constantly apply originality and ingenuity. The Nitto Group laid out in the Basic Policy on Environment its intention to aim at zero environmental impact by expanding the scope of its activities from within the Group to cover the entire supply chain and contribute to the realization of a sustainable society as it taps into its proprietary technologies and knowledge thus far accumulated.*

### (7.53.1.84) 目標を達成するための計画、および報告年の終わりに達成された進捗状況

*In fiscal 2023, the Nitto Group's CO2 emissions (Scope 1 + 2) amounted to 525,000 tons, which is far lower than the target amount of 550,000 tons. This impressive achievement is attributable to greater use of electricity generated from renewable energy sources, as well as ongoing efforts toward energy conservation and deployment of solvent-free solutions at production processes. For these initiatives, we spent approximately 8.6 billion yen in fiscal 2023. In 2024 and beyond, we will continue our initiatives to promote energy conservation and conversion to renewable energy globally. Our efforts here include converting products that contain solvents, which require significant energy for drying and recovery, to solvent-free alternatives, and conserving energy by utilizing waste heat and optimizing production control and planning.*

### (7.53.1.85) セクター別脱炭素化アプローチを用いて設定された目標

選択:

いいえ

## Row 2

### (7.53.1.1) 目標参照番号

選択:

Abs 2

### (7.53.1.2) これは科学に基づく目標ですか

選択:

はい、これは科学に基づく目標と認識していますが、今後 2 年以内の SBT イニシアチブによるこの目標の審査の申請はコミットしていません

### (7.53.1.4) 目標の野心度

選択:

2°Cを大きく下回る目標に整合済み

### (7.53.1.5) 目標設定日

02/26/2024

### (7.53.1.6) 目標の対象範囲

選択:

組織全体

### (7.53.1.7) 目標の対象となる温室効果ガス

該当するすべてを選択

メタン(CH<sub>4</sub>)

二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)

亜酸化窒素(N<sub>2</sub>O)

六フッ化硫黄(SF<sub>6</sub>)

三フッ化窒素(NF<sub>3</sub>)

ペルフルオロカーボン (PFC)

ハイドロフルオロカーボン (HFC)

### (7.53.1.8) スコープ

該当するすべてを選択

スコープ 3

### (7.53.1.10) スコープ 3 カテゴリー

該当するすべてを選択

- スコープ 3、カテゴリー1-購入した商品・サービス
- スコープ 3、カテゴリー3-燃料およびエネルギー関連活動 (スコープ 1 または 2 に含まれない)
- スコープ 3、カテゴリー4-上流の輸送および物流
- スコープ 3、カテゴリー5-事業で発生した廃棄物
- スコープ 3、カテゴリー12-販売製品の廃棄処理

### (7.53.1.11) 基準年の終了日

03/31/2023

### (7.53.1.14) スコープ 3 カテゴリー1 の基準年:目標の対象となる購入した商品・サービスによる排出量 (CO2 換算トン)

1268000

### (7.53.1.16) スコープ 3 カテゴリー3 の基準年:目標の対象となる、燃料およびエネルギー関連活動 (スコープ 1,2 に含まれない) による排出量 (CO2 換算トン)

76000

### (7.53.1.17) スコープ 3 カテゴリー4 の基準年:目標の対象となる上流の物流による排出量 (CO2 換算トン)

74000

### (7.53.1.18) スコープ 3 カテゴリー5 の基準年:目標の対象となる操業で出た廃棄物による排出量 (CO2 換算トン)

21000

**(7.53.1.25) スコープ 3 カテゴリー12 の基準年:目標の対象となる販売製品の廃棄時の処理による排出量 (CO2 換算トン)**

510000

**(7.53.1.31) 目標の対象となる基準年のスコープ 3 総排出量 (CO2 換算トン)**

1949000.000

**(7.53.1.32) すべての選択したスコープの目標の対象となる基準年総排出量 (CO2 換算トン)**

1949000.000

**(7.53.1.35) スコープ 3 カテゴリー1 の基準年:スコープ 3 カテゴリー1 の基準年の総排出量のうち、目標の対象となる購入した商品・サービスによる排出量の割合:購入した商品・サービス(CO2 換算トン)**

100

**(7.53.1.37) スコープ 3 カテゴリー3 の基準年:スコープ 3 カテゴリー3 の基準年の総排出量のうち、目標の対象となる燃料およびエネルギー関連活動 (スコープ 1,2 に含まれない) による排出量:燃料およびエネルギー関連活動 (スコープ 1,2 に含まれない) (CO2 換算トン)**

100

**(7.53.1.38) スコープ 3 カテゴリー4 の基準年:スコープ 3 カテゴリー4 の基準年総排出量のうち、目標の対象となる上流の物流による排出量:上流の物流(CO2 換算トン)**

100

**(7.53.1.39) スコープ 3 カテゴリー5 の基準年:スコープ 3 カテゴリー5 の基準年の総排出量のうち、目標の対象となる操業で出た廃棄物による排出量による排出量の割合:操業で発生した廃棄物(CO2 換算トン)**

100

**(7.53.1.46) スコープ 3 カテゴリー12 の基準年:スコープ 3 カテゴリー12 の基準年の総排出量のうち、目標の対象となる販売製品の廃棄時の処理による排出量の割合:販売製品の廃棄 (CO2 換算トン)**

100

**(7.53.1.52) スコープ 3 の基準年総排出量のうち、目標で対象とする基準年スコープ 3 排出量の割合 (全スコープ 3 カテゴリー)**

79

**(7.53.1.53) 選択した全スコープの基準年総排出量のうち、選択した全スコープの目標の対象となる基準年排出量の割合**

100

**(7.53.1.54) 目標の終了日**

03/31/2031

**(7.53.1.55) 基準年からの目標削減率 (%)**

25

**(7.53.1.56) 選択した全スコープの目標で対象とする目標の終了日における総排出量 (CO2 換算トン)**

1461750.000

**(7.53.1.59) スコープ 3 カテゴリー1:目標の対象となる報告年の購入した商品・サービスによる排出量 (CO2 換算トン)**

1510000

**(7.53.1.61) スコープ 3 カテゴリー3:目標の対象となる報告年の燃料およびエネルギー関連活動 (スコープ 1,2 に含まれない)による排出量 (CO2 換算トン)**

78000

**(7.53.1.62) スコープ 3 カテゴリー4:目標の対象となる報告年の上流の物流による排出量 (CO2 換算トン)**

101000

**(7.53.1.63) スコープ 3 カテゴリー5:目標の対象となる報告年の操業で出た廃棄物による排出量 (CO2 換算トン)**

130000

**(7.53.1.70) スコープ 3 カテゴリー12:目標の対象となる報告年の販売製品の廃棄時の処理による排出量 (CO2 換算トン)**

527000

**(7.53.1.76) 目標の対象となる報告年のスコープ 3 排出量 (CO2 換算トン)**

2346000.000

**(7.53.1.77) すべての選択したスコープの目標の対象となる報告年の総排出量 (CO2 換算トン)**

2346000.000

**(7.53.1.78) 目標の対象となる土地関連の排出量**

選択:

いいえ、土地関連の排出量を対象としていません (例: 非 FLAG SBT)

**(7.53.1.79) 基準年に対して達成された目標の割合**

-81.48

**(7.53.1.80) 報告年の目標の状況**

選択:

新規

#### (7.53.1.82) 目標対象範囲を説明し、除外事項を教えてください

*Categories 1, 3, 4, 5, and 12 were selected as categories related to business activities. These combined emissions account for 79% of the total Scope 3 emissions and meet the SBT criteria.*

#### (7.53.1.83) 目標の目的

*No manufacturing business can avoid impacting the environment through the use of energy and resources or the emission of CO2 and waste. Meanwhile, climate change and other environmental challenges are rapidly emerging. Working to reduce environmental impact is a social mission for businesses and, as such, we must constantly apply originality and ingenuity. The Nitto Group laid out in the Basic Policy on Environment its intention to aim at zero environmental impact by expanding the scope of its activities from within the Group to cover the entire supply chain and contribute to the realization of a sustainable society as it taps into its proprietary technologies and knowledge thus far accumulated.*

#### (7.53.1.84) 目標を達成するための計画、および報告年の終わりに達成された進捗状況

*To achieve carbon neutrality for the entire society, it is vital to manage and reduce CO2 emissions throughout the supply chain, as well as within the Group. To reduce Scope 3 emissions, we must collect comprehensive data spanning from the procurement of raw materials through transportation, and on to the use and disposal by customers. Because of this, with input from outside experts, we calculated our Scope3 CO2 emissions on a global basis in 2023, to get hold of actual amounts. Our Scope 3 CO2 emissions for fiscal 2022 were found to be 2,622,000 tons, with emissions from the production of raw materials constituting the largest portion at 40%. Our next step is to select categories, such as raw material production, inhouse waste disposal, transportation of raw materials and products, and disposal of products, and proceed with reduction activities.*

#### (7.53.1.85) セクター別脱炭素化アプローチを用いて設定された目標

選択:

いいえ

[行を追加]

#### (7.54) 報告年に有効なその他の気候関連目標がありましたか。

該当するすべてを選択

その他の気候関連目標

#### (7.54.2) メタン削減目標を含むその他の気候関連目標の詳細をお答えください。

## Row 1

### (7.54.2.1) 目標参照番号

選択:

Oth 1

### (7.54.2.2) 目標設定日

05/19/2022

### (7.54.2.3) 目標の対象範囲

選択:

組織全体

### (7.54.2.4) 目標の種類: 総量または原単位

選択:

総量

### (7.54.2.5) 目標の種類: カテゴリーと指標(原単位目標を報告する場合は目標の分子)

正味排出量目標

正味 CO2 換算トン

### (7.54.2.7) 基準年の終了日

03/31/2021

### (7.54.2.8) 基準年の数値または比率

746000

#### (7.54.2.9) 目標の終了日

03/31/2051

#### (7.54.2.10) 目標終了日の数値または比率

0

#### (7.54.2.11) 報告年の数値または比率

525000

#### (7.54.2.12) 基準年に対して達成された目標の割合

29.6246648794

#### (7.54.2.13) 報告年の目標の状況

選択:

進行中

#### (7.54.2.15) この目標は排出量目標の一部ですか

Yes, some of them.

#### (7.54.2.16) この目標は包括的なイニシアチブの一部ですか

該当するすべてを選択

いいえ、包括的なイニシアチブの一部ではありません

#### (7.54.2.18) 目標対象範囲を説明し、除外事項を明確にしてください

The target scope covers Scope 1 and Scope 2 for all manufacturing and processing sites belonging to the Nitto Group. As such, Scope 1, 2 and Scope 3 for sites that do not engage in manufacturing and processing are excluded items.

### (7.54.2.19) 目標の目的

Climate change caused by global warming is a major issue for all humankind, which needs to be resolved in order to pass on a better global environment to future generations. Reducing CO2 emissions is essential for the Nitto Group to achieve sustainable growth and for the realization of a sustainable environment and society, which we consider to be an important social responsibility.

### (7.54.2.20) 目標を達成するための計画、および報告年の終わりに達成された進捗状況

We aim to achieve effective zero CO2 emissions (Scope 12) by 2050, and have set an interim target of 400,000 tons of CO2 emissions for 2030. CO2 emissions in 2023 were 525,000 tons, a reduction of approximately 30% relative to the base year, and emissions reductions are proceeding ahead of schedule.

[行を追加]

(7.55) 報告年内に有効であった排出量削減イニシアチブがありましたか。これには、計画段階及び実行段階のものを含みます。

選択:

はい

(7.55.1) 各段階のイニシアチブの総数を示し、実施段階のイニシアチブについては推定排出削減量 (CO2 換算) もお答えください。

	イニシアチブの数	CO2 換算トン単位での年間 CO2 換算の推定排出削減総量(*の付いた行のみ)
調査中	40	数値入力

	イニシアチブの数	CO2 換算トン単位での年間 CO2 換算の推定排出削減総量(*の付いた行のみ)
実施予定	49	11119
実施開始	49	11119
実施中	10	9760
実施できず	0	数値入力

[固定行]

(7.55.2) 報告年に実施されたイニシアチブの詳細を以下の表に記入してください。

### Row 1

#### (7.55.2.1) イニシアチブのカテゴリーとイニシアチブの種類

非エネルギー工業プロセス排出量削減

プロセス用設備の置き換え

#### (7.55.2.2) 推定年間 CO2e 排出削減量(CO2 換算トン)

3160

#### (7.55.2.3) 排出量低減が起こっているスコープまたはスコープ 3 カテゴリー

該当するすべてを選択

スコープ 1

#### (7.55.2.4) 自発的/義務的

選択:

自主的

#### (7.55.2.5) 年間経費節減額 (単位通貨 – C0.4 で指定の通り)

196000000

#### (7.55.2.6) 必要投資額 (単位通貨 –C0.4 で指定の通り)

7400000000

#### (7.55.2.7) 投資回収期間

選択:

4～10 年

#### (7.55.2.8) イニシアチブの推定活動期間

選択:

3～5 年

#### (7.55.2.9) コメント

*We describe the effects of installing desolventing facilities.*

### Row 2

#### (7.55.2.1) イニシアチブのカテゴリーとイニシアチブの種類

生産プロセスにおけるエネルギー効率

廃熱回収

### (7.55.2.2) 推定年間 CO2e 排出削減量(CO2 換算トン)

3056

### (7.55.2.3) 排出量低減が起こっているスコープまたはスコープ 3 カテゴリー

該当するすべてを選択

スコープ 1

### (7.55.2.4) 自発的/義務的

選択:

自主的

### (7.55.2.5) 年間経費節減額 (単位通貨 - C0.4 で指定の通り)

118000000

### (7.55.2.6) 必要投資額 (単位通貨 -C0.4 で指定の通り)

317000000

### (7.55.2.7) 投資回収期間

選択:

4~10 年

### (7.55.2.8) イニシアチブの推定活動期間

選択:

1~2 年

## (7.55.2.9) コメント

*We describe the effects of installing waste heat recovery equipment.*

### Row 4

## (7.55.2.1) イニシアチブのカテゴリーとイニシアチブの種類

低炭素エネルギー消費

太陽光発電

## (7.55.2.2) 推定年間 CO2e 排出削減量(CO2 換算トン)

3085

## (7.55.2.3) 排出量低減が起こっているスコープまたはスコープ 3 カテゴリー

*該当するすべてを選択*

スコープ 2(ロケーション基準)

## (7.55.2.4) 自発的/義務的

*選択:*

自主的

## (7.55.2.5) 年間経費節減額 (単位通貨 – C0.4 で指定の通り)

100000000

## (7.55.2.6) 必要投資額 (単位通貨 –C0.4 で指定の通り)

1086000000

### (7.55.2.7) 投資回収期間

選択:

4～10 年

### (7.55.2.8) イニシアチブの推定活動期間

選択:

1～2 年

### (7.55.2.9) コメント

*We describe the effects of installing solar power generation equipment.*

## Row 5

### (7.55.2.1) イニシアチブのカテゴリーとイニシアチブの種類

生産プロセスにおけるエネルギー効率

圧縮空気

### (7.55.2.2) 推定年間 CO2e 排出削減量(CO2 換算トン)

319

### (7.55.2.3) 排出量低減が起こっているスコープまたはスコープ 3 カテゴリー

該当するすべてを選択

スコープ 2(ロケーション基準)

### (7.55.2.4) 自発的/義務的

選択:

自主的

#### (7.55.2.5) 年間経費節減額 (単位通貨 – C0.4 で指定の通り)

11000000

#### (7.55.2.6) 必要投資額 (単位通貨 –C0.4 で指定の通り)

31000000

#### (7.55.2.7) 投資回収期間

選択:

4～10 年

#### (7.55.2.8) イニシアチブの推定活動期間

選択:

1～2 年

#### (7.55.2.9) コメント

*We describe the effects of update of compressor*

[行を追加]

(7.55.3) 排出削減活動への投資を促進するために貴社ほどのような方法を使っていますか。

#### Row 1

#### (7.55.3.1) 方法

選択:

省エネの専用予算

### (7.55.3.2) コメント

*It was against this backdrop that in fiscal 2022 the Nitto Group made the Carbon Neutrality Declaration to accelerate its drive to reduce CO2 emissions. Toward the self-set goal of achieving carbon neutrality by 2050, we have updated our 2030 target to 400,000 tons/year, which represents a 46% reduction from fiscal 2020 for the entire Group. Working toward this ambitious target, we will take a more strategic approach to making a decarbonized society a reality. To realize our carbon neutral initiative, we have set aside a total of 80.0 billion yen for investments in social and environmental sustainability by fiscal 2030. For example, we are implementing a variety of programs, including the promotion of energy conservation in various manufacturing processes, the elimination of CO2 emitted while combusting solvent gases by making such processes solvent-free, and the introduction of solar power generation systems.*

## Row 2

### (7.55.3.1) 方法

選択:

その他の排出量削減活動の専用予算

### (7.55.3.2) コメント

*It was against this backdrop that in fiscal 2022 the Nitto Group made the Carbon Neutrality Declaration to accelerate its drive to reduce CO2 emissions. Toward the self-set goal of achieving carbon neutrality by 2050, we have updated our 2030 target to 400,000 tons/year, which represents a 46% reduction from fiscal 2020 for the entire Group. Working toward this ambitious target, we will take a more strategic approach to making a decarbonized society a reality. To realize our carbon neutral initiative, we have set aside a total of 80.0 billion yen for investments in social and environmental sustainability by fiscal 2030. For example, we are implementing a variety of programs, including the promotion of energy conservation in various manufacturing processes, the elimination of CO2 emitted while combusting solvent gases by making such processes solvent-free, and the introduction of solar power generation systems.*

[行を追加]

**(7.73) 貴組織では、自社製品またはサービスに関する製品レベルのデータを提供していますか。**

選択:

はい、CDP x CO2 AI Product Ecosystem ツールを通じてデータを提供します

(7.74) 貴組織の製品やサービスを低炭素製品に分類していますか。

選択:

はい

(7.74.1) 低炭素製品に分類している貴組織の製品やサービスを具体的にお答えください。

Row 1

(7.74.1.1) 集合のレベル

選択:

製品またはサービス

(7.74.1.2) 製品またはサービスを低炭素に分類するために使用されタクソノミー

選択:

その他、具体的にお答えください :simple-LCA (Cradle to Grave), Classified based on our own standards which are based on existing standards

(7.74.1.3) 製品またはサービスの種類

電力

その他、具体的にお答えください :Products for the circulation of water resources

(7.74.1.4) 製品またはサービスの内容

*Energy-saving RO membranes for wastewater treatment*

(7.74.1.5) この低炭素製品またはサービスの削減貢献量を推定しましたか

選択:

はい

#### (7.74.1.6) 削減貢献量を計算するために使用された方法

選択:

その他、具体的にお答えください :s-LCA

#### (7.74.1.7) 低炭素製品またはサービスの対象となるライフサイクルの段階

選択:

使用段階

#### (7.74.1.8) 使用された機能単位

*CO2 emissions (ton)*

#### (7.74.1.9) 使用された基準となる製品/サービスまたはベースラインシナリオ

*RO membranes for wastewater treatment*

#### (7.74.1.10) 基準製品/サービスまたはベースラインシナリオの対象となるライフサイクルの段階

選択:

使用段階

#### (7.74.1.11) 基準製品/サービスまたはベースラインシナリオに対する推定削減貢献量 (機能単位あたりの CO2 換算トン)

126

#### (7.74.1.12) 仮定した内容を含め、貴組織の削減貢献量の計算について、説明してください

*Use of low-carbon products can reduce CO2 emissions by 126 tons per year compared to existing products.*

[行を追加]

(7.79) 貴組織は報告年中にプロジェクト由来の炭素クレジットをキャンセル (償却) しましたか。

選択:

いいえ

## C9. 環境実績 - 水セキュリティ

(9.1) 水関連データの中で開示対象から除外されるものはありますか。

選択:

はい

(9.1.1) 除外項目についての詳細を記載してください。

### Row 1

#### (9.1.1.1) 除外

選択:

施設

#### (9.1.1.2) 除外の詳細

*We exclude domestic and overseas group companies that do not involve manufacturing, such as sales and marketing offices.*

#### (9.1.1.3) 除外理由

選択:

量が少ない [雨水]

#### (9.1.1.7) 除外対象となった水の量が全体に占める割合

選択:

1%未満

### (9.1.1.8) 説明してください

*We exclude domestic and overseas group companies that do not involve manufacturing, such as sales and marketing offices, because their water use is infinitely small.*  
[行を追加]

(9.2) 貴組織の事業活動全体で、次の水アスペクトのどの程度の割合を定期的に測定・モニタリングしていますか。

取水量 - 総量

### (9.2.1) 拠点/施設/事業活動に占める割合 (%)

選択:

76~99

### (9.2.2) 測定頻度

選択:

毎月

### (9.2.3) 測定方法

*We obtain data once a month by instruments.*

### (9.2.4) 説明してください

*We ascertain the volume of water withdrawal at our main production facilities. [Frequency] Third party sources: Data obtained once a month Ground water: Measurements taken in real-time, aggregated by environmental departments once a month.*

取水量 - 水源別の量

### (9.2.1) 拠点/施設/事業活動に占める割合 (%)

選択:

76～99

### (9.2.2) 測定頻度

選択:

毎月

### (9.2.3) 測定方法

*We obtain data once a month by instruments.*

### (9.2.4) 説明してください

*We ascertain water withdrawal volumes by source at our main production facilities. [Frequency] Third party sources: Data obtained once a month Ground water: Measurements taken in real-time, aggregated by environmental departments once a month.*

## 取水の水質

### (9.2.1) 拠点/施設/事業活動に占める割合 (%)

選択:

76～99

### (9.2.2) 測定頻度

選択:

四半期に1回

### (9.2.3) 測定方法

*We measure water quality such as CaCO<sub>3</sub> once every two months using analytical equipment and test kits.*

#### (9.2.4) 説明してください

*We confirm water quality before use in equipment at our main production facilities. [Frequency] Ground water: once per day to once per year or more Frequency varies based on purpose, water quality, and process.*

#### 排水量 - 総量

#### (9.2.1) 拠点/施設/事業活動に占める割合 (%)

選択:

76~99

#### (9.2.2) 測定頻度

選択:

毎月

#### (9.2.3) 測定方法

*We use a scale to measure the volume of wastewater once an hour. In addition, the amount of wastewater discharged is counted monthly.*

#### (9.2.4) 説明してください

*We measure discharge volumes by destination at our main production facilities. [Frequency] Every hour for internal measurements For measurements by other companies, we receive data once a month.*

#### 排水量 - 放流先別排水量

#### (9.2.1) 拠点/施設/事業活動に占める割合 (%)

選択:

76~99

## (9.2.2) 測定頻度

選択:

毎月

## (9.2.3) 測定方法

*We use a scale to measure the volume of wastewater once an hour. In addition, the amount of wastewater discharged is counted monthly.*

## (9.2.4) 説明してください

*We measure discharge volumes by destination at our main production facilities. [Frequency] Every hour for internal measurements For measurements by other companies, we receive data once a month.*

## 排水量 - 処理方法別排水量

## (9.2.1) 拠点/施設/事業活動に占める割合 (%)

選択:

76～99

## (9.2.2) 測定頻度

選択:

毎月

## (9.2.3) 測定方法

*We use a scale to measure the volume of wastewater once an hour. In addition, the amount of wastewater discharged is counted monthly.*

## (9.2.4) 説明してください

*We measure discharge volumes by destination at our main production facilities. [Frequency] Every hour for internal measurements For measurements by other*

companies, we receive data once a month.

## 排水水質 - 標準廃水パラメータ別

### (9.2.1) 拠点/施設/事業活動に占める割合 (%)

選択:

76~99

### (9.2.2) 測定頻度

選択:

常時

### (9.2.3) 測定方法

We constantly measure key water quality parameters such as pH and temperature using instruments.

### (9.2.4) 説明してください

Measurements are taken at facilities where measuring is legally prescribed. [Frequency] Hourly to annually, depending on item inspected According to statutory requirements in each country: Main production facilities meet effluent parameters requirements mandated by relevant countries' laws and regulations.

## 排水の質 - 水への排出(硝酸塩、リン酸塩、殺虫剤、その他の優先有害物質)

### (9.2.1) 拠点/施設/事業活動に占める割合 (%)

選択:

76~99

### (9.2.2) 測定頻度

選択:

毎月

### (9.2.3) 測定方法

*We measure water quality about nitrogen and phosphorus content, once every three months using analytical equipment and test kits.*

### (9.2.4) 説明してください

*Measurements are taken at facilities where measuring is legally prescribed. [Frequency] Hourly to annually, depending on item inspected According to statutory requirements in each country: Main production facilities meet effluent parameters requirements mandated by relevant countries' laws and regulations.*

## 排水水質 - 温度

### (9.2.1) 拠点/施設/事業活動に占める割合 (%)

選択:

76~99

### (9.2.2) 測定頻度

選択:

常時

### (9.2.3) 測定方法

*We constantly measure key water quality parameters such as pH and temperature using instruments.*

### (9.2.4) 説明してください

*Measurements are taken at facilities where measuring is legally prescribed. [Frequency] Hourly to annually, depending on item inspected According to statutory requirements in each country: Main production facilities meet effluent parameters requirements mandated by relevant countries' laws and regulations.*

## 水消費量 - 総量

### (9.2.1) 拠点/施設/事業活動に占める割合 (%)

選択:

76～99

### (9.2.2) 測定頻度

選択:

毎月

### (9.2.3) 測定方法

*Calculate by subtracting water discharge from water withdrawals.*

### (9.2.4) 説明してください

*We ascertain water consumption at our main production facilities. Since water is not used as a raw material, consumption refers to evaporation in the production process.*

リサイクル水/再利用水

### (9.2.1) 拠点/施設/事業活動に占める割合 (%)

選択:

76～99

### (9.2.2) 測定頻度

選択:

毎月

### (9.2.3) 測定方法

*We measure the amount of water recycled each month using a scale.*

#### (9.2.4) 説明してください

*At main our production facilities, we engage in water recycling and ascertain the volume of recycled water. Measurements taken in real-time, aggregated by environmental departments once a month.*

完全に管理された上下水道・衛生（WASH）サービスを全従業員に提供

#### (9.2.1) 拠点/施設/事業活動に占める割合 (%)

選択:

100%

#### (9.2.2) 測定頻度

選択:

毎年

#### (9.2.3) 測定方法

*We measure the quality of the water provided to our employees annually.*

#### (9.2.4) 説明してください

*Occupational health initiatives are implemented at all facilities, providing all employees with safe water and amenities. Once a year; in some cases, once every 2 to 3 years.*

[固定行]

(9.2.2) 貴組織の事業全体で、取水、排水、消費した水の合計量と、前報告年比、また今後予測される変化についてご記載ください。

総取水量

### (9.2.2.1) 量(メガリットル/年)

5806

### (9.2.2.2) 前報告年との比較

選択:

少ない

### (9.2.2.3) 前報告年との変化/無変化の主な理由

選択:

事業活動の拡大/縮小

### (9.2.2.4) 5年間の予測

選択:

少ない

### (9.2.2.5) 将来予測の主な根拠

選択:

効率的な水利用ができる技術/プロセスへの投資

### (9.2.2.6) 説明してください

*We evaluate as "much higher/lower" in cases which the change is more than 10%. We evaluate as "higher/lower" in cases which the change is 2%~10%. If the change is less than 2%, we evaluate as "about the same." The amount in fiscal 2022 were 6,034 megaliters. The amount in fiscal 2023 was 2.5% lower than last year, so we choose "lower". Water withdrawal will be reduced by promoting water recycling and implementing measures to reduce water consumption at sites that use a large amount of water. This will result in a reduction in wastewater discharge and consumption.*

総排水量

### (9.2.2.1) 量(メガリットル/年)

5149

### (9.2.2.2) 前報告年との比較

選択:

ほぼ同じ

### (9.2.2.3) 前報告年との変化/無変化の主な理由

選択:

事業活動の拡大/縮小

### (9.2.2.4) 5年間の予測

選択:

少ない

### (9.2.2.5) 将来予測の主な根拠

選択:

効率的な水利用ができる技術/プロセスへの投資

### (9.2.2.6) 説明してください

*We evaluate as "much higher/lower" in cases which the change is more than 10%. We evaluate as "higher/lower" in cases which the change is 2%10%. If the change is less than 2%, we evaluate as "about the same." The amount in fiscal 2022 were 5,147 megaliters, so we choose "about the same". Water withdrawal will be reduced by promoting water recycling and implementing measures to reduce water consumption at sites that use a large amount of water. This will result in a reduction in wastewater discharge and consumption.*

総消費量

### (9.2.2.1) 量(メガリットル/年)

657

### (9.2.2.2) 前報告年との比較

選択:

- 大幅に少ない

### (9.2.2.3) 前報告年との変化/無変化の主な理由

選択:

- 事業活動の拡大/縮小

### (9.2.2.4) 5年間の予測

選択:

- 少ない

### (9.2.2.5) 将来予測の主な根拠

選択:

- 効率的な水利用ができる技術/プロセスへの投資

### (9.2.2.6) 説明してください

*We evaluate as "much higher/lower" in cases which the change is more than 10%. We evaluate as "higher/lower" in cases which the change is 2%10%. If the change is less than 2%, we evaluate as "about the same." The amount in fiscal 2022 were 887 megaliters. The amount in fiscal 2023 was 26% lower than last year, so we choose "much lower". Water withdrawal will be reduced by promoting water recycling and implementing measures to reduce water consumption at sites that use a large amount of water. This will result in a reduction in wastewater discharge and consumption.*

[固定行]

(9.2.4) 水ストレス下にある地域から取水を行っていますか。また、その量、前報告年比、今後予測される変化はどのようなものですか。

#### (9.2.4.1) 取水は水ストレス下にある地域からのものです

選択:

はい

#### (9.2.4.2) 水ストレス下にある地域からの取水量 (メガリットル)

908

#### (9.2.4.3) 前報告年との比較

選択:

大幅に少ない

#### (9.2.4.4) 前報告年との変化/無変化の主な理由

選択:

事業活動の拡大/縮小

#### (9.2.4.5) 5年間の予測

選択:

少ない

#### (9.2.4.6) 将来予測の主な根拠

選択:

- 効率的な水利用ができる技術/プロセスへの投資

#### (9.2.4.7) 水ストレス化にある地域からの取水量の全体における割合

15.64

#### (9.2.4.8) 確認に使ったツール

該当するすべてを選択

- WRI Aqueduct

#### (9.2.4.9) 説明してください

*We evaluate as "much higher/lower" in cases which the change is more than 10%. We evaluate as "higher/lower" in cases which the change is 2%10%. If the change is less than 2%, we evaluate as "about the same." The amount in fiscal 2022 were 1,045 megaliters. The amount in fiscal 2023 was 15% lower than last year, so we choose "much lower". We reduce water withdrawal by promoting water recycling at sites in water-stressed areas and implementing measures to reduce water consumption.*

[固定行]

#### (9.2.7) 水源別の総取水量をお答えください。

淡水の地表水(雨水、湿地帯の水、河川、湖水を含む)

#### (9.2.7.1) 事業への関連性(relevance)

選択:

- 関連性がない

#### (9.2.7.5) 説明してください

*None of our facilities use fresh surface water, including rainwater, water from wetlands, rivers, and lakes. The reason is that none of our factories have been constructed in a location that enables withdrawals from fresh surface water, including rainwater, water from wetlands, rivers, and lakes. Our factories use utility water or groundwater.*

## 汽水の地表水/海水

### (9.2.7.1) 事業への関連性(relevance)

選択:

関連性がない

### (9.2.7.5) 説明してください

*None of our facilities use brackish surface water/seawater. The reason is that none of our factories have been constructed in a location that enables withdrawals from brackish surface water/seawater. Our factories use utility water or groundwater.*

## 地下水 - 再生可能

### (9.2.7.1) 事業への関連性(relevance)

選択:

関連性がある

### (9.2.7.2) 量(メガリットル/年)

2318

### (9.2.7.3) 前報告年との比較

選択:

少ない

### (9.2.7.4) 前報告年との変化/無変化の主な理由

選択:

事業活動の拡大/縮小

### (9.2.7.5) 説明してください

We evaluate as "much higher/lower" in cases which the change is more than 10%. We evaluate as "higher/lower" in cases which the change is 2%10%. If the change is less than 2%, we evaluate as "about the same." The amount in fiscal 2022 were 2,394 megaliters. The amount in fiscal 2023 was 3% lower than last year, so we choose "lower". Groundwater (renewable) is an important source of freshwater used mainly for cooling purposes by domestic group companies, especially in production plants located inland. In these areas, groundwater (renewable) is used due to the limited amount of water that can be supplied by third parties.

#### 地下水 - 非再生可能

### (9.2.7.1) 事業への関連性(relevance)

選択:

関連性がない

### (9.2.7.5) 説明してください

None of our facilities use groundwater – non-renewable. The reason is that we are not part of the oil and natural gas sector, and do not have an oil and natural gas extraction business, therefore we do not carry out withdrawals of groundwater (non-renewable). This category thus is not relevant to our business. We have no plans to carry out withdrawals in the future.

#### 随伴水/混入水

### (9.2.7.1) 事業への関連性(relevance)

選択:

関連性がない

### (9.2.7.5) 説明してください

None of our facilities use produced water. The reason is that there is no possibility that group companies in Japan and other countries will ever extract or use produced water since such water cannot adequately provide the water quality and volume that would satisfy our required standards. This category is thus not relevant to our business. We have no plans to carry out withdrawals in the future.

#### 第三者の水源

### (9.2.7.1) 事業への関連性(relevance)

選択:

関連性がある

### (9.2.7.2) 量(メガリットル/年)

3488

### (9.2.7.3) 前報告年との比較

選択:

少ない

### (9.2.7.4) 前報告年との変化/無変化の主な理由

選択:

事業活動の拡大/縮小

### (9.2.7.5) 説明してください

*We evaluate as "much higher/lower" in cases which the change is more than 10%. We evaluate as "higher/lower" in cases which the change is 2%10%. If the change is less than 2%, we evaluate as "about the same." The amount in fiscal 2022 were 3,640 megaliters. The amount in fiscal 2023 was 4% lower than last year, so we choose "lower". Along with groundwater (renewable), third-party water sources are an important source of freshwater for domestic and overseas group companies. Third-party water sources are supplied by public agencies contracted by local governments. Water supplied by third parties is used as washing water, rinsing water, steam, and cooling water during product manufacturing, and as a raw material for pure water and other substances used in the manufacturing process.*

[固定行]

### (9.2.8) 放流先別の総排水量をお答えください。

淡水の地表水

### (9.2.8.1) 事業への関連性(relevance)

選択:

関連性がある

### (9.2.8.2) 量(メガリットル/年)

3358

### (9.2.8.3) 前報告年との比較

選択:

ほぼ同じ

### (9.2.8.4) 前報告年との変化/無変化の主な理由

選択:

事業活動の拡大/縮小

### (9.2.8.5) 説明してください

*We evaluate as "much higher/lower" in cases which the change is more than 10%. We evaluate as "higher/lower" in cases which the change is 2%10%. If the change is less than 2%, we evaluate as "about the same." The amount in fiscal 2022 were 3,364 megaliters, so we choose "about the same". At production sites with large volumes of freshwater withdrawal, mainly group companies in Japan, wastewater treatment facilities are installed on site, and wastewater is discharged into public waters after treatment. At these production sites, the water quality of the discharged water is controlled and the amount of water discharged is measured in accordance with the Water Pollution Prevention Act, a piece of Japanese environmental legislation.*

汽水の地表水/海水

### (9.2.8.1) 事業への関連性(relevance)

選択:

関連性がない

#### (9.2.8.5) 説明してください

None of our facilities discharge brackish surface water/seawater. This is because discharges are only to fresh surface water and third-party discharges.

地下水

#### (9.2.8.1) 事業への関連性(relevance)

選択:

関連性がない

#### (9.2.8.5) 説明してください

None of our facilities discharge groundwater. This is because discharges are only to brackish surface water/seawater and third-party discharges.

第三者の放流先

#### (9.2.8.1) 事業への関連性(relevance)

選択:

関連性がある

#### (9.2.8.2) 量(メガリットル/年)

1791

#### (9.2.8.3) 前報告年との比較

選択:

ほぼ同じ

#### (9.2.8.4) 前報告年との変化/無変化の主な理由

選択:

事業活動の拡大/縮小

#### (9.2.8.5) 説明してください

*We evaluate as "much higher/lower" in cases which the change is more than 10%. We evaluate as "higher/lower" in cases which the change is 2%10%. If the change is less than 2%, we evaluate as "about the same." The amount in fiscal 2022 were 1,784 megaliters, so we choose "about the same". At production sites in Japan and other countries where production volume is relatively small and freshwater withdrawal volume is low, water is discharged to third-party discharge locations operated by local governments and other bodies. The volume of water discharged is measured for use when calculating water treatment charges.*

[固定行]

(9.2.9) 貴組織の自社事業内でのどの程度まで排水処理を行うかをお答えください。

三次処理(高度処理)

#### (9.2.9.1) 排水処理レベルの事業への関連性

選択:

関連性がない

#### (9.2.9.6) 説明してください

*We treat our wastewater to secondary treatment. After checking the water quality, we have determined that tertiary treatment is not necessary.*

二次処理

#### (9.2.9.1) 排水処理レベルの事業への関連性

選択:

関連性がある

#### (9.2.9.2) 量(メガリットル/年)

### (9.2.9.3) 前報告年との処理済み量の比較

選択:

- ほぼ同じ

### (9.2.9.4) 前報告年との変化/無変化の主な理由

選択:

- その他、具体的にお答えください :Due to no change in water use conditions

### (9.2.9.5) この量が適用される操業地/施設/操業の割合(%)

選択:

- 91~99

### (9.2.9.6) 説明してください

*We discharge the water used in the manufacturing and processing of our products to a secondary treatment before discharging it into the river. The reason for discharging water at this level of treatment is to meet local regulatory requirements. In addition, we adhere to internal voluntary regulations regarding wastewater treatment, which are stricter than local government regulations. The discharge of secondary-treated water for the reporting year was 3,358 megaliters, largely unchanged from the previous fiscal year's discharge of 3,363 megaliters.*

一次処理のみ

### (9.2.9.1) 排水処理レベルの事業への関連性

選択:

- 関連性がない

### (9.2.9.6) 説明してください

*We treat all wastewater after primary treatment to secondary. Therefore, there is no wastewater after primary treatment.*

未処理のまま自然環境に排水

#### (9.2.9.1) 排水処理レベルの事業への関連性

選択:

関連性がない

#### (9.2.9.6) 説明してください

*We do not discharge untreated water into the natural environment.*

未処理のまま第三者に排水

#### (9.2.9.1) 排水処理レベルの事業への関連性

選択:

関連性がある

#### (9.2.9.2) 量(メガリットル/年)

1791

#### (9.2.9.3) 前報告年との処理済み量の比較

選択:

ほぼ同じ

#### (9.2.9.4) 前報告年との変化/無変化の主な理由

選択:

その他、具体的にお答えください :Due to no change in water use conditions

### (9.2.9.5) この量が適用される操業地/施設/操業の割合(%)

選択:

91～99

### (9.2.9.6) 説明してください

*We use water for drinking water and sanitation services. Water used for drinking water and sanitation services is discharged to third party water utility without treatment. The reason for discharging at this level of treatment is to meet regulatory requirements. In addition, the Company adheres to internal self-imposed regulations regarding wastewater treatment, which are more stringent than the regulatory requirements. The amount of water discharged untreated to third parties was 1,791 megaliters, largely unchanged from the previous fiscal year's discharge of 1,784 megaliters. This is because there has been no significant change in water usage.*

その他

### (9.2.9.1) 排水処理レベルの事業への関連性

選択:

関連性がない

### (9.2.9.6) 説明してください

*We have no other drainage.*

[固定行]

**(9.2.10) 報告年における硝酸塩、リン酸塩、殺虫剤、およびその他の優先有害物質の水域への貴組織の排出量について具体的にお答えください。**

### (9.2.10.1) 報告年の水域への排出量(メートルトン)

0

## (9.2.10.2) 含まれる物質のカテゴリー

該当するすべてを選択

- 硝酸塩
- リン酸塩

## (9.2.10.4) 説明してください

*In compliance with laws and regulations, levels of nitrogen and phosphorus content, COD, etc. are controlled, and all wastewater is treated appropriately. Therefore, there is no wastewater containing nitrates and phosphates above the standard values.*

[固定行]

**(9.3) 自社事業およびバリューチェーン上流において、水に関連する重大な依存、影響、リスク、機会を特定した施設の数はいくつですか。**

直接操業

## (9.3.1) バリューチェーン上の段階における施設の特定

選択:

- いいえ、このバリューチェーン上の段階を評価しましたが、水関連の依存、影響、リスク、機会のある施設は特定されませんでした。

## (9.3.4) 説明してください

*Risks include damage to the company's buildings, facilities, infrastructure, plant shutdowns due to flood or high tides, as well as plant shutdowns due to damage to major suppliers. In addition, revenues are expected to decline due to lost opportunities. However, the financial impact in 2030 is considered to be moderate, and while environmental risks exist, there are none with the potential to have a substantial effect on our organization. Therefore, no facility has identified substantial water-related dependencies, impacts, risks, or opportunities.*

バリューチェーン上流

## (9.3.1) バリューチェーン上の段階における施設の特定

選択:

いいえ、このバリューチェーン上の段階を評価しましたが、水関連の依存、影響、リスク、機会のある施設は特定されませんでした。

#### (9.3.4) 説明してください

*Risks include damage to the company's buildings, facilities, infrastructure, plant shutdowns due to flood or high tides, as well as plant shutdowns due to damage to major suppliers. In addition, revenues are expected to decline due to lost opportunities. However, the financial impact in 2030 is considered to be moderate, and while environmental risks exist, there are none with the potential to have a substantial effect on our organization. Therefore, no facility has identified substantial water-related dependencies, impacts, risks, or opportunities.*

[固定行]

(9.5) 貴組織の総取水効率の数値を記入してください。

#### (9.5.1) 売上 (通貨)

915139000000

#### (9.5.2) 総取水量効率

157619531.52

#### (9.5.3) 予測される将来の傾向

*Water withdrawal will be reduced by promoting water recycling at sites that use large volumes of water and by implementing measures to reduce water consumption. Accordingly, total water withdrawal efficiency can be expected to increase.*

[固定行]

(9.13) 規制当局により有害と分類される物質を含んだ貴組織製品はありますか。

	製品が有害物質を含む
	選択: <input checked="" type="checkbox"/> はい

[固定行]

(9.13.1) 規制当局により有害と分類される物質を含んだ貴組織製品が売上に占める割合を教えてください。

Row 1

#### (9.13.1.1) 規制当局による有害物質指定

選択:

Candidate List of Substances of Very High Concern for Authorisation above 0.1% by weight(EU 規制)

#### (9.13.1.2) このリストにある物質を含んだ製品が売上に占める割合

選択:

不明

#### (9.13.1.3) 説明してください

*Some of the products of the Nitto Group contain substances classified as hazardous by regulatory authorities. We are managing these substances in accordance with laws and regulations. Due to confidentiality, we have selected "Don't know" in "% of revenue associated with products containing substances in this list".*

Row 2

#### (9.13.1.1) 規制当局による有害物質指定

選択:

UK REACH 規則附属書 XIV

### (9.13.1.2) このリストにある物質を含んだ製品が売上に占める割合

選択:

不明

### (9.13.1.3) 説明してください

*Some of the products of the Nitto Group contain substances classified as hazardous by regulatory authorities. We are managing these substances in accordance with laws and regulations. Due to confidentiality, we have selected "Don't know" in "% of revenue associated with products containing substances in this list".*

## Row 3

### (9.13.1.1) 規制当局による有害物質指定

選択:

Official Mexican Standards (NOMs) / National Inventory of Chemical Substances

### (9.13.1.2) このリストにある物質を含んだ製品が売上に占める割合

選択:

不明

### (9.13.1.3) 説明してください

*Some of the products of the Nitto Group contain substances classified as hazardous by regulatory authorities. We are managing these substances in accordance with laws and regulations. Due to confidentiality, we have selected "Don't know" in "% of revenue associated with products containing substances in this list".*

## Row 4

### (9.13.1.1) 規制当局による有害物質指定

選択:

水質汚濁防止法 (日本規制)

### (9.13.1.2) このリストにある物質を含んだ製品が売上に占める割合

選択:

不明

### (9.13.1.3) 説明してください

*Some of the products of the Nitto Group contain substances classified as hazardous by regulatory authorities. We are managing these substances in accordance with laws and regulations. Due to confidentiality, we have selected "Don't know" in "% of revenue associated with products containing substances in this list".*

## Row 5

### (9.13.1.1) 規制当局による有害物質指定

選択:

物質リスト(カナダ環境保護法)

### (9.13.1.2) このリストにある物質を含んだ製品が売上に占める割合

選択:

不明

### (9.13.1.3) 説明してください

*Some of the products of the Nitto Group contain substances classified as hazardous by regulatory authorities. We are managing these substances in accordance with laws and regulations. Due to confidentiality, we have selected "Don't know" in "% of revenue associated with products containing substances in this list".*

## Row 6

### (9.13.1.1) 規制当局による有害物質指定

選択:

EU REACH 規則の附属書 XVII

### (9.13.1.2) このリストにある物質を含んだ製品が売上に占める割合

選択:

不明

### (9.13.1.3) 説明してください

*Some of the products of the Nitto Group contain substances classified as hazardous by regulatory authorities. We are managing these substances in accordance with laws and regulations. Due to confidentiality, we have selected "Don't know" in "% of revenue associated with products containing substances in this list".*

## Row 7

### (9.13.1.1) 規制当局による有害物質指定

選択:

Brazilian Regulatory Standards

### (9.13.1.2) このリストにある物質を含んだ製品が売上に占める割合

選択:

不明

### (9.13.1.3) 説明してください

*Some of the products of the Nitto Group contain substances classified as hazardous by regulatory authorities. We are managing these substances in accordance with laws and regulations. Due to confidentiality, we have selected "Don't know" in "% of revenue associated with products containing substances in this list".*

## Row 8

### (9.13.1.1) 規制当局による有害物質指定

選択:

Guidelines for Controlling the Use of Key Chemical Substances in Consumer Products(中国規制)

### (9.13.1.2) このリストにある物質を含んだ製品が売上に占める割合

選択:

不明

### (9.13.1.3) 説明してください

*Some of the products of the Nitto Group contain substances classified as hazardous by regulatory authorities. We are managing these substances in accordance with laws and regulations. Due to confidentiality, we have selected "Don't know" in "% of revenue associated with products containing substances in this list".*

## Row 9

### (9.13.1.1) 規制当局による有害物質指定

選択:

EU 残留性有機汚染物質 (POPs)規制

### (9.13.1.2) このリストにある物質を含んだ製品が売上に占める割合

選択:

不明

### (9.13.1.3) 説明してください

*Some of the products of the Nitto Group contain substances classified as hazardous by regulatory authorities. We are managing these substances in accordance with laws and regulations. Due to confidentiality, we have selected "Don't know" in "% of revenue associated with products containing substances in this list".*

## Row 10

### (9.13.1.1) 規制当局による有害物質指定

選択:

Federal Water Pollution Control Act / Clean Water Act (米国規制)

### (9.13.1.2) このリストにある物質を含んだ製品が売上に占める割合

選択:

不明

### (9.13.1.3) 説明してください

*Some of the products of the Nitto Group contain substances classified as hazardous by regulatory authorities. We are managing these substances in accordance with laws and regulations. Due to confidentiality, we have selected "Don't know" in "% of revenue associated with products containing substances in this list".*

## Row 11

### (9.13.1.1) 規制当局による有害物質指定

選択:

Candidate List of Substances of Very High Concern(英国規制)

### (9.13.1.2) このリストにある物質を含んだ製品が売上に占める割合

選択:

不明

### (9.13.1.3) 説明してください

*Some of the products of the Nitto Group contain substances classified as hazardous by regulatory authorities. We are managing these substances in accordance with laws and regulations. Due to confidentiality, we have selected "Don't know" in "% of revenue associated with products containing substances in this list".*

[行を追加]

**(9.14) 貴組織が現在製造や提供をしている製品やサービスの中で、水の影響を少なく抑えているものはありますか。**

#### (9.14.1) 水資源の影響が少ないと分類した製品および/またはサービス

選択:

はい

#### (9.14.2) 水に対する影響が少ないと分類するために使用した定義

*We are materializing our efforts to address key sustainability issues by visualizing the contributions that the products and services produced by the Nitto Group make to the Earth and humanity, and identifying the products and services that make a particularly significant contribution as PlanetFlags/HumanFlags certified products. We have defined our key sustainability issues relating to water as the promotion of water recycling, prevention of water pollution, and efficient use of water, and have confirmed through the LCA assessment that these products have a low impact on water resources compared to existing products.*

#### (9.14.4) 説明してください

*RO membranes for ZLD (Zero Liquid Discharge) are certified PlanetFlags product. The Nitto Group's RO (reverse osmosis) membranes are being adopted for a wide range of applications due to their ability to recycle wastewater at lower costs and with less energy and fewer CO2 emissions than the traditional evaporation method. As effluents from plants increase throughout the world, particularly in recent years, causing pollution and drought, some countries and regions are setting effluent limits or tightening relevant laws and regulations. Much is expected in this regard from the ZLD wastewater recycling system, which uses RO membranes to recover all effluents without discharging it to external eco-systems. RO membranes designed for ZLD are superior to standard RO membranes in terms of resistance to contamination and high-pressure treatment, and thus provide an optimal membrane technology solution for effluent treatment as it becomes increasingly difficult and diversified.*

[固定行]

#### (9.15) 貴組織には水関連の定量的目標がありますか。

選択:

いいえ、しかし今後 2 年以内に行う予定です

#### (9.15.3) 貴組織に水関連の定量的目標がない理由と、今後策定する予定があるものがあればその内容をお答えください。

### (9.15.3.1) 主な理由

選択:

今後 2 年以内に定量的目標を導入する予定

### (9.15.3.2) 説明してください

*Concerning water risks, we understand the business opportunities, but operation risks are not significant based on our risk assessment processes. However, we may identify additional water-related risks as we conduct analysis. If we find any risks, we will set new goals in order to deal with them.*

[固定行]

## C13. 追加情報および最終承認

(13.1) CDP への回答に含まれる環境情報 (質問 7.9.1/2/3、8.9.1/2/3/4、および 9.3.2 で報告されていないもの) が第三者によって検証または保証されているかどうかをお答えください。

	CDP への回答に含まれるその他の環境情報は、第三者によって検証または保証されている
	選択: <input checked="" type="checkbox"/> はい

[固定行]

(13.1.1) CDP 質問書への回答のどのデータ・ポイントが第三者によって検証または保証されており、どの基準が使用されていますか。

### Row 1

#### (13.1.1.1) データが検証/保証されている環境課題

該当するすべてを選択

気候変動

#### (13.1.1.2) 検証または保証を受けた開示モジュールとデータ

環境パフォーマンス - 気候変動

廃棄物データ

### (13.1.1.3) 検証/保証基準

一般的な基準

- ISAE 3000
- ISAE 3410、温室効果ガス報告書に関する保証業務

### (13.1.1.4) 第三者検証/保証プロセスの詳細

*Interviewing the Company's responsible personnel to obtain an understanding of its policy for preparing the Databook and reviewing the Company's reporting criteria. Inquiring about the design of the systems and methods used to collect and process the Indicators. Performing analytical procedures on the Indicators. Examining, on a test basis, evidence supporting the generation, aggregation and reporting of the Indicators in conformity with the Company's reporting criteria, and recalculating the Indicators. Visiting one of the Company's subsidiaries selected on the basis of a risk analysis. Evaluating the overall presentation of the Indicators.*

### (13.1.1.5) 検証/保証のエビデンス/レポートを添付する (任意)

*CDP Letter 1.pdf*

## Row 2

### (13.1.1.1) データが検証/保証されている環境課題

*該当するすべてを選択*

- 水

### (13.1.1.2) 検証または保証を受けた開示モジュールとデータ

環境パフォーマンス - 水セキュリティ

- 水消費 - 総消費量
- 排水 - 総排水量
- 排水量 - 放流先別排水量
- 取水 - 総取水量

### (13.1.1.3) 検証/保証基準

一般的な基準

ISAE 3000

### (13.1.1.4) 第三者検証/保証プロセスの詳細

*Interviewing the Company's responsible personnel to obtain an understanding of its policy for preparing the Databook and reviewing the Company's reporting criteria. Inquiring about the design of the systems and methods used to collect and process the Indicators. Performing analytical procedures on the Indicators. Examining, on a test basis, evidence supporting the generation, aggregation and reporting of the Indicators in conformity with the Company's reporting criteria, and recalculating the Indicators. Visiting one of the Company's subsidiaries selected on the basis of a risk analysis. Evaluating the overall presentation of the Indicators.*

### (13.1.1.5) 検証/保証のエビデンス/レポートを添付する (任意)

*CDP Letter 1.pdf*

[行を追加]

**(13.3) CDP 質問書への回答を最終承認した人物に関する以下の情報を記入します。**

### (13.3.1) 役職

*Vice President Director-Corporate Strategy & ESG Management Division*

### (13.3.2) 職種

選択:

その他の最高経営層

[固定行]

**(13.4) [ウォーターアクションハブ]**ウェブサイトのコンテンツをサポートするため、**CDP** がパシフィック・インスティテュートと連絡先情報を共有することに同意してください。

選択:

いいえ

